



ANNUAL  
REPORT  
REVIEW  
2023  
事業報告書・年誌

# 青 嶽

～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～

# The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning and  
purpose to human life ;  
That the brotherhood of man transcends  
the sovereignty of nations ;  
That economic justice can best be  
won by free men through free enterprise ;  
That government should be of laws  
rather than of men ;  
That earth's great treasure lies in  
human personality ; and  
That service to humanity is the best  
work of life.

【日本語訳】

## JCI綱領

我々はかく信じる  
真理は人生に意義と目的を与え  
人類の同胞愛は国家による統治を超越し  
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ  
政府には人治ではなく法治が必要であり  
人間の個性はこの世の至宝であり  
人類への奉仕が人生最大の使命である

1946年 原案作成  
1947年 アメリカ青年商工会議所採択・JCI世界会議総会採択  
1950年 全文完成・JCI細則に制定  
1951年 文言一部追加  
1953年 JCI定款に制定

## JCI MISSION

To provide leadership development opportunities  
that empower young people  
to create positive change.

【日本語訳】

## JCIのミッション (使命)

青年会議所は、青年が社会に  
より良い変化をもたらすために  
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する

## JCI Vision

To be the foremost global network of  
young leaders.

【日本語訳】

## JCIのビジョン

青年会議所が、若きリーダーの  
国際的ネットワークを先導する組織となる

## JC宣言文

日本の青年会議所は  
希望をもたらす変革の起点として  
輝く個性が調和する未来を描き  
社会の課題を解決することで  
持続可能な地域を創ることを誓う

(2020年11月5日 公益社団法人日本青年会議所 第165回総会にて決議)

## 綱 領

われわれ Jaycee は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者 相集い 力を合わせ  
青年としての英知と勇気と情熱をもって  
明るく豊かな社会を築き上げよう

(1960年12月18日 社団法人日本青年会議所 第19回定時総会 決定)

## CONTENTS

理事長所信 .....	6
スローガン・事業基本方針 .....	12
組織図 .....	14
挨拶・総評 .....	16
定時総会・理事予定者会議・定例理事会・臨時理事会報告 ..	29
委員長・理事報告 .....	36
委員会事業報告 .....	44
出向者名簿 .....	95
出向者レポート .....	96
卒業会員JCメモリー .....	106
管理者・会計責任者・規則責任者・事務局長所見 .....	111
年間事業ダイアリー .....	113
監事意見書 .....	116
出席点数報告 .....	117
メンバーマトリクス .....	118
事業史チャート .....	119
LOM年表 .....	131

## 理事長所信



公益社団法人長野青年会議所  
2023年度  
理事長 加藤 昇平

### 青瞬

～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～

### はじめに

創始から受け継ぐ熱い情熱の「青」を胸に、どんな時代であろうとも、輝かしいこのまちの未来を願い、限られたこの「瞬間」を共に駆け抜けよう。

我々には、このまちを変える力がある。

私が長野青年会議所に入会したのは2015年。言われるがままにこの組織の常識を叩き込まれた頃を懐かしく感じる。あれから8年間、先輩方のまちづくりに対する強い志と溢れんばかりの情熱に触れ、様々な機会の提供によりリーダーとしての在り方を学ばせていただいた。それは、どんな時代であろうとも新規事業の立ち上げや事業のブラッシュアップ、その中で必要となる組織改革を止めず、様々な環境変化に対応することで一つひとつの事業がこのまちを前進させるものであった。時には厳しく、時には優しく、自らの行動で伝承していただいたこの想いを次の世代へと確実に繋いでいかなければならない。

長野青年会議所は1953年7月22日25名の志高き先人達により発足され、このまちを想い、時代と共に変わりゆく地域社会の課題を的確に捉え、社会開発と指導力開発を実践し続けた先達の積み重ねた弛まぬ努力によって本年70周年を迎える。地域に必要とされる団体として70年もの長きに亘り活動し、運動を発信し続けてこられたのも偏に先達のご尽力の賜物である。時代の変化は大きいものの「明るい豊かな社会の実現」に向けて運動を進める根源には、今も尚創始の精神があ

る。我々は創始の想いを未来に対し敬意を持って継承していかなければならない。

長野青年会議所の始まりから約70年、突如として現れた新型コロナウイルス感染症の流行は、我が国の経済社会全体にとどまらず、人と人とのコミュニケーションにも深刻な影響を及ぼした。経済環境の変化や企業の競争環境の変化、雇用・働き方の変化など当たり前だと思われてきた常識が激変し、対面や移動を避ける生活様式は、人間が本来持つ社会的な繋がりをも奪う状況となっている。長野青年会議所でも2020年から2022年までの運動は様々な変更を余儀なくされたものの、我々の運動が時代に対応できる力があることを証明しただけにとどまらず、新たな価値観をもたらし、結果としてその新たな価値観は今後の青年会議所運動の可能性を生み出したと言える。時代の転換期はこうして半ば強制的に訪れるのかもしれない。我々は、囫圇らずも訪れたこの状況を千載一遇のチャンスと捉え、柔軟に対策と戦略を立てた上で転換期を活かす必要があると強く考える。

時代が変われば世の中が求めるものも変わり、このまちや組織の在り方が変わる。それでも長野青年会議所の創始の精神は変わらない。我々一人ひとりが現状の課題だけでなく、未来の課題をも見据えて、まずは曇りない目でこのまちを、さらには自分自身を見つめ直そう。そして、弛まぬ好奇心と情熱で最適な解決策を模索し、新しい価値を創造するために先達がこれまでひたむきに創り上げたまちづくりを積み上げよう。汗を流し、時にはぶつかり合い、心打ちひしがれる時もあるだろう。それでも動きを止めてはいけない。輝かしいこのまちの未来のために。

### 組織の根幹

長野青年会議所は公益社団法人として、常に健全且つ公正な組織でなければならない。無論、長野青年会議所が地域から信頼され、ここまで継続できたのも日々の活動において公益性の追求、財政の透明性はもとより、法令を遵守した組織であるからであり、我々が日々新たな発想で自由に事業を展開していくことができるのは紛れもなく、この盤石な組織運営があつてこそだと言える。裏を返せば社会的良識を逸脱した行動を取ることで組織のイメージは即座に失墜し、今後

の運動に大きく悪影響を与えてしまう。定款や各種規定を遵守することはもちろん、倫理、道徳を守り社会に貢献することが大前提であることを忘れてはならない。長野青年会議所は2010年の第3回定時総会にて「公益社団法人格取得の件」が全会一致で可決され、組織の進化を前提に社会的信用の高まりや説得力を持ち合わせた真の公を実践できる組織として活動しているが、近年会員数は減少傾向にあり、公益事業比率の維持や事業費が遊休資産額を上回ることが困難になりつつある。本年は2021年から議論が始まった現状の運動推進に適した法人格についての議論を深めたい。会員一人ひとりが責任を持ってこの組織について考え、時流に合わせて柔軟に変更していくことが持続可能な組織となっていくためには必要不可欠である。また、近年は新型コロナウイルス感染症の流行による環境の変化に伴い、我々の組織運営、事業内容の変化は過去に無いほど著しく、会員一人ひとりの組織への携わり方にも大きな変化が生まれている。それにより「会いたい人に会えない。行きたい場所へ行けない。」状況は継続しており、在籍年数が短くなりつつある状況も相まって会員同士の関わり合いの希薄化を招いている。人から人へ文化、伝統、想いが伝承されるこの組織にとって一人でも多くの人との関わり合いが70周年を迎える組織として改めて重要だと考える。今後も、この運動が地域から支持され、継続的に事業の推進力を維持し続けるためにも会員一人ひとりが良識を持ち、互いの想いを分かち合うことで信頼に根ざした成長を目指す持続可能な組織運営を進めよう。

### 発信と挑戦

近年、長野青年会議所に対するイメージは固定化されており、我々が日々推進している運動とは異なった印象を持つ市民は少なくない。入会当時から本気で社会開発と指導力開発に携わる姿を目の当たりにした私にとって、この現実を快くは思わないが、まだまだ我々の運動を正しく発信する相手や手法があることは明確であり、事業発信の伸び代を感じる。本年は、より効果的に全世代へ我々の運動を正しく伝播していきたい。そのためには近年主流となったSNSだけでは不十分であり、様々な媒体の検討、さらには青年会議所の考え方や理念を直接伝えることで、写真や文章では伝

わらない運動の魅力や魅力を存分に伝えられるのではないだろうか。また、実際に事業を行う際にも行政、協力団体・企業、メディアを巻き込むとともに、実施組織が長野青年会議所であることを認知していただくことが何より有効である。コロナ禍において社会全体で急速なまでに進展したデジタル化情報化社会において、イメージの伝達はこの組織の存亡にかかわる重要な部分と捉えなければいけない。

青年会議所には出向という文化があり、長野青年会議所においても新たな自己成長の場を求め出向に挑戦するメンバーが数多くいる。特に長野青年会議所は出向の文化が根強く、過去を見ても様々な要職を務め上げられた先達の輝かしい歴史がある。出向先には志を同じくする多くの仲間たちが世界中に存在し「明るい豊かな社会」の実現に向け日々活動している。我々はこの素晴らしい機会に巡り合える新たな環境への挑戦をしっかりと後押しできる組織でなければならない。今後の組織の在り方や実施事業を作り上げる過程においても、様々な組織での経験値は大いに有効であり、特に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会情勢の大きな変動がある今、事業の在り方・効果に対する知見を深めることはこの組織の発展にも大きく寄与すると考える。我々はこれからも組織全体として出向という文化を尊重し、新たな成長の機会への挑戦を後押しできる支援体制を確固たるものにしよう。新たな機会への挑戦は必ずや人を成長させ、未来を担うリーダーを生み出すだろう。どのような時代になっても世の中を創るのは人である。急速に変化する時代を迎える現代において、このまちの未来を創り出す人の成長無くして地域の成長は見込めない。出向という成長の機会を契機とし、組織としての推進力をさらに増していこう。

### 知識、知見から見識へ

青年会議所には月に一回例会があり、運営規則には全員が例会に出席するものと記載されている。夫々の委員会が情報を共有し、長野青年会議所の目指す方向性を確認するだけでなく、友情を育んでいく重要な場である。近年は会員の平均在籍年数が4年2カ月と短く、入会間もない会員が基礎知識を得ることに特化した例会の開催も余儀なくされているが、本来例会は各

委員会が準備期間を含め多くの時間を事業構築に費やし、英知の結集として伝える場でなければならない。例会を任された委員会はどの委員会よりもその分野における事実に基づく「知識」を蓄え、準備段階から机上の情報だけに頼らず、実際に見ることや聴くことで「知見」を得てほしい。そして、物事を深く見直し、本質を捉える力、さらには優れた判断力を持った「見識」として全メンバーへの共有を図ることが重要である。例会を青年経済人としての知識や見識を高める場とすることで、個人の修練や次代を担うメンバーを成長させるとともに、得た見識を基に新たなことに対する想いを育む場としてほしい。そのような例会には開始時間の厳守や服装、聴く態度など聴く側も発表する側に対する敬意を持ち、最高の聞き手として例会に参加する必要がある。発表する側も参加する側も共に有意義な時間となれば自然と出席率も上がり、その出席率はきっと委員会としての結束に繋がるだろう。そして、このまちの問題点を各委員会が懸命に探り、その解決策を的確に示すことで、このまちが抱える問題とその解決への道のりを伝えてほしい。「知識」から「見識」まで昇華した情報の発信は、今後の運動推進、さらにはこのまちの発展に向け無限の可能性を秘めているだろう。全メンバーが互いに敬意を持って「知識」でも「知見」でもない「見識」を強く発信し、組織の方向性を全メンバーで共有することのできる例会としよう。

## 攻めへの転換

人口減少社会かつ急速な高齢化社会に突入した我が国では、戦後の基調であった右肩を上を前提とした社会システムの疲弊が表面化しており、我が長野市においても例外ではない。長野市の人口は2000年の(38.7万人)をピークに一貫して減少しており、人口が減少するなかで高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、現在の高齢化率は30.4%となり、高齢者の割合が増加する「高齢化」と、出生率の低下により若年者人口が減少する「少子化」が同時に進行する少子高齢化社会の波が押し寄せている。それに伴い、地方は経済の縮小、商業施設の開発が進む中で中心市街地の衰退化も課題として挙げられ、シャッターの下ろされた空き店舗や廃店跡地、空地の増加、様々な施設は郊

外の広大な敷地を求めて移転していることも相まって、中心商店街は疲弊し、地域のコミュニティも崩壊と言える状況である。本年は、中心市街地が地域の経済及び社会の発展に果たす役割の重要性を鑑み、中心市街地の活性化・再生に焦点を合わせ、地域全体の解決すべき根本的な課題として捉えたい。中心市街地の活性化・再生は必ずや地域の経済を牽引し、中心から盛り上がりを創出することで、このまち全体が活気で包まれる起点となるのではないだろうか。中心市街地が有する利便性と豊かさの両面を最大限に活用し、インパクトのある事業展開を通じて地域活性化の起点を創り、長野青年会議所の存在感を示そう。そして、中心市街地が再び存在感を示すことは必ずや地域経済全体への好影響を生み出すとともに、地域との連携を深め、さらにはこのまちの発展にも寄与するだろう。このまちの魅力は、このまちで日々活動している我々が一番理解している自負がある。今こそ、新たな視点から長野市を創造する一年としよう。

## 平和への想い

世界中から集まったアスリートの活躍に心を高揚させられた長野オリンピック、パラリンピックから25年の月日が経ち、その感動は今も尚多くの人々の記憶に刻まれている。その長野オリンピック、パラリンピックに招致運動から参画したのが我々長野青年会議所であり、改めて先達の偉業に対し敬意を表さなければならない。その長野オリンピック、パラリンピックの平和を願う精神を後世に遺し、長野から世界に向けた平和の灯りを発信していくことを目的に開催されたのが長野灯明まつりである。第十九回長野灯明まつりは惜しくも新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となったが、毎年多くの来場者を魅了し長野の冬を代表する祭りとして定着している。本年は第二十回を迎えるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から長野灯明まつりのコンパクト化を図るなど様々な対策を講じなければならない状況が続いている。長野灯明まつりの継続開催については長年議論されてきた歴史があるが、2021年の第2回定時総会にて「長野灯明まつりの継続開催及び運営組織承認の件」が全会一致で承認され、今後の長野灯明まつりの道筋が示された。しかし、運営面や財政面などの課題に対

し、解決に向けた取り組みは継続中であり、依然として新たな長野灯明まつりの在り方に対する試行錯誤は続いている段階と言える。本年は改めて長野灯明まつりの在り方を考えるとともに、抜本的な案を提示することで新たな長野灯明まつりを創造し、長野灯明まつりに対する議論を大きく前進させたい。長野市民に愛されているだけでなく県外からの参加者も多く、長野の冬の祭りとして定着している長野灯明まつりであるからこそ我々自身がどの様に向き合うのかを今一度真剣に考え、長野市を代表する平和を願う五色の光を未来に繋げよう。

## 未来の宝のために

子どもは次代の担い手であり、未来への希望を託す貴重な存在である。そして、子どもたちの健全な育成は親世代である我々が重要な務めとして果たさなければならない。2023年の、子どもの貧困対策を進めるにあたり、課題や施策の効果等を確認するため「長野市子どもの生活状況に関する実態調査」が行われた。約11人に1人の子どもが、低所得の家庭に該当。約9人に1人の子どもが経済的な理由で経験の機会が失われている状況であり、国の水準の相対的な貧困の状況に該当する(子どものいる家庭の9.0%が「困窮家庭」に該当、国の貧困線を下回る水準で生活している子どもの割合が11.2%)。家庭の所得水準の低さや、ひとり親家庭であることにより、子どもの学習や経験など生活の様々な場面で機会が奪われていることや、心理面にも負の影響を及ぼし、将来、子どもから大人へ成長した際に貧困に陥る「貧困の連鎖」へ導かれてしまう可能性が高くなっていることが把握できる。我々は、このデータを重く受け止め、最優先課題として行政機関とともに解決に乗り出す必要がある。また、近年ネグレクトと呼ばれるセルフケアができない育児放棄、育児怠慢が増えており、全国220か所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は過去最多となっている。ネグレクトを受けた子どもは愛情不足により成長ホルモンが抑えられることで成長不全を引き起こし、身体的発育への悪影響のほか、保護者の監督不十分により子どもが事故に巻き込まれる可能性が上がることや、保護者の関心あるいは知識不足によって治療すべきケガ・病気が放置され悪化するなど正しい子ど

もの育成とは正反対ともいえる環境となる。ネグレクトは支援が得られない家庭環境やストレスの多い生活環境など、複数の要因が組み合わさって生じるものであり、親世代である我々が早急に対策を講じることで、健全な子どもの育成環境を整える足掛かりを創り出さなければならない。これからも地域の大人として、地域の子どもの健全な育成に貢献し、次代を担う子どもたちが健やかにたくましく育ち、子どもの笑顔が溢れる社会を目指そう。

## 平和に向けた国際交流

2021年新型コロナウイルス感染症の影響で1年の延期を経て開催された東京オリンピック・パラリンピックは緊急事態宣言下での開催ではあったものの、大きな盛り上がりを見せ全世界に感動を届けた。この長野市でも1998年の長野冬季オリンピック・パラリンピックが行われ、当時小学生の私もビッグハットでアイスホッケーを観戦し、各国を代表するアスリートのプレーに熱狂したことを思い出す。それから25年が経ち、誰が昨今の新型コロナウイルス感染症の歴史的なパンデミックを予想できただろうか。最新の調査では、新型コロナウイルス感染症の流行前は外国人宿泊者数が11.7万人であったのに対し、24万人まで落ち込んでおり、壊滅的状況と言える。長野市は東京からのアクセスも良く歴史が紡いだ伝統と美しい文化を有している。我々は今を準備期間と捉え、Withコロナ、Afterコロナにおけるインバウンドの再開に向け、地域や市民の国際意識の高揚を促すことで、市民と協働した国際化推進事業を継続的に実施し、このまちの魅力を発信し続けることに加え、並行して外国人観光客を受け入れる環境を整える必要がある。また、長野青年会議所は、姉妹青年会議所のソウル江北青年会議所、友好青年会議所の台中国際青年商會と長年友好関係にあるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面による交流はこの3年間叶っていない。創立70周年を迎える本年は交流の歴史に敬意を表すとともに、さらなる友好関係を育み、この国際交流という機会を有効に活用すべきであると考えている。世界情勢は2022年2月24日ロシアによるウクライナでの軍事作戦開始をはじめ、台湾問題による米中の関係悪化など解決の糸口が見えない状況が続いている。我々は、これから先を

担っていく青年として今何ができるだろうか。国家の統治を超越した同胞愛を目指す組織であることを今一度強く認識しなければならない。こんな時だからこそ我々青年会議所が民間外交の担い手として国際交流を推進し、友情と対話の架け橋を通じて今まで以上に相互理解を深めよう。

## 同志の獲得

青年会議所において重要な運動の一つに会員拡大運動がある。1953年にわずか25名で創立された長野青年会議所は、2010年に267名まで増え、全国でも有数のビッグLOMであった。しかし近年、全国的に各種団体の会員減少問題が取り上げられており、青年会議所においても各所で統廃合が行われ、会員数が減少傾向にある長野青年会議所としても危機感を抱かずにはいられない状況である。10年後も力強く青年会議所運動を推進するべく、未来に向けてさらなる会員拡大運動が必須であることは間違いない。私たち一人ひとりが団体としての存在意義や使命を理解し、的確に伝播していかなければ「JCがある時代からJCもある時代」の波に飲み込まれ、他団体との差別化が図れず組織は弱体化し、未来に向け運動を永続することは出来ないだろう。本年は「想いを繋ぎ、未来を仕掛ける」とスローガンで謳っている。未来に向け先達の想いを繋いでいく、そしてこの先より良い未来に向け仕組みを創り出すためにもこの先を担う次代のリーダーが必要だ。会員拡大は「質」なのか「数」なのかとよく議論されるが、青年会議所は様々な機会の提供によりメンバーを成長へと導き、素晴らしい人財へと昇華することで質の向上を図ることができる団体であるべきだ。つまり、「数」から「質」への転換が最も重要と言える。そして、意識変革を促す最大の機会である会員拡大活動を成功させることは、我々青年会議所が維持・発展し、地域に必要とされる組織として存在し続けることになる。私たちがまちづくり運動の最前線に立ち、未来永劫まちに好影響を与え続けるためにもまちへの想いを共有し、共に行動する同志を一人でも多く迎え入れよう。

## まつりのちから

創設時より受け継がれた「市民総和楽・総参加」を基本理念とした長野青年会議所の代名詞ともいえる夏の風物詩長野びんずる。善光寺本堂において約1400年燃え続けている不滅の常灯明よりご法灯を頂戴した火釜を設け、解放された中心街路上で市民が躍る様子はまち全体が祭の雰囲気にも包まれ、市民の心を躍らせる。第50回、第51回は新型コロナウイルス感染拡大により奇しくも中止を余儀なくされたが、昨年は徹底した対策を取った上で3年ぶりの開催となり、本年は第53回を迎える。長野びんずるが掲げる「市民総和楽・総参加」とは、多くの市民が総出で参加し、市民が互いに打ち解け合い楽しむという意味があり、躍り手や観客、運営側などこの祭りに関わる全ての人々が共にびんずるまつりに想いを寄せ一緒に楽しむことがこのまつりの基本理念である。改めて運営側はもちろん、まつりの参加者や担い手など、祭りを取り巻くあらゆる関係者は長きに亘る長野の大切な文化を毎年一年に一度の大切な日と捉え、この文化や想いを受け継ぎ守っていく必要がある。市民にとってかけがえのないこの祭りは、地域との絆を深めるものなのではないだろうか。その絆は人々の心に永く残り、必ずやこのまちへの愛に変わると信じている。こんな時だからこそ市民と一体感をもって第53回長野びんずるを成功させ、新型コロナウイルス感染症という未知なる疫病の終息を祈願するとともに、祭りの火を絶やすことなく未来へ継承しよう。

## 歴史への感謝

長野青年会議所は本年、先達の志高い行動の積み重ねにより70周年を迎える。これまで多くの困難に直面し、それでもこのまちのために青年として英知と勇気と情熱をもって、走り続けて来た確かな証である。現役である我々は、創立時からこのまちの先頭を走り続け、青年会議所の灯を絶やすことなく運動を推進してきた先達へ感謝と敬意を表さなければならない。時代は常に変化するが、ひとの想いや志は決して変わることはなく、先達から受け継いできた伝統ある「櫻」を次代へ繋いでいくことが私たちの使命である。本年は長野青年会議所のこれまでの70年の歩みを振り返り原

点帰帰を図るだけでなく、最大の敬意と感謝の意を表すとともに、長野青年会議所のアイデンティティを確立することで今後のさらなる発展への礎としたい。また、我々の日々の運動は行政、市民、民間企業、各諸団体の協力があつてこそ力強く推進できていることは言うまでもない。感謝の心を胸に我々の「今」、すなわち、この時代のまちづくり、人財育成、組織改革の在り方を各方面に強く伝播することで、互いに意識共有を図ることが重要だと考える。未来を見据えたこの時代の長野青年会議所を示すことは我々にとって未来への大きな糧となるだろう。先達が70年間築き上げてこられた歴史に敬意を示すとともに、さらなる発展、成長を求めこれからもこのまちにとってかけがえのない存在となろう。

## 未来への布石

長野青年会議所には長野電鉄地下鉄化に始まり、少年サッカースクール、長野びんずる、長野灯明まつりの創設、長野オリンピック・パラリンピックの誘致参画、第45回全国大会主管、2009JCI-ASPAC長野大会主管などこのまちの発展を心から願ひ先駆者として数々の運動を推進してきた歴史がある。これは、我々一人ひとりの使命である明るい豊かな社会の実現という壮大な目標の達成に向け、このまちの課題を懸命に探り、その解決策として実行した歴史と言える。そこには我々の考えるこのまちの目指すべき姿があり、常に変化していく時代や社会情勢に応じて中長期的にビジョンを掲げてきた。ビジョンは我々が推進する運動の道標として、この組織の目的・価値観、組織が活動するための方向性を示す北極星であり、全ての活動の根拠となる。60周年時には先10年を見据えた「光あふれる我がまち長野」が長期ビジョンとして示され、65周年時には「Progress」が中期ビジョンとして示された。まずはこの10年を振り返り徹底的な検証をもとに、時代の変革期を迎える今、変えていくもの、変えてはいけないものを明確にすることが重要だと考える。そして70周年を迎える長野青年会議所は先10年間の未来を見据えた確かな一歩を踏み出す道標を示すため、時代の潮流を的確に読み、地域やこのまちに住まう人々が何を求めているのかを把握し、地域社会に潜む課題を模索することで、この時代に合ったビジョンを全メ

ンバーで創り上げ市民へと伝播することが必要だ。そして力強く運動を推進し、若者らしい大胆な視点としなやかな行動をもって未来を指し示す必要がある。確実な検証を基に、我々の持つ溢れんばかりの情熱と冷静な思考、そして力強い実行力をこのまちにどう活かすのか。全メンバーが共に考え、このまちの目指すべき姿と長野青年会議所の未来を共に描こう。

## 結びに

人生には想像もしないことが起こる。私にとって青年会議所への入会も想像もしなかったことの一つだろう。私が入会した頃とは時代も大きく変わり、その時代や分野で当然と考えられてきた常識や価値観は、ある意味「リスク」に変わりつつあると言っても過言ではない。激動の時代の中で多くの先輩方との出会いが私を成長させ、多くの仲間にも巡り会えた。幸いにも様々な役職や運動を経験させていただくことができ、数々の失敗も今となっては私の大きな財産である。「あの時もっとこうしておけば」その連続だ。そんな時、いつも隣で支えてくれたのは仲間であり、仲間との思い出の共有こそ私たちの人生においてかけがえのないものであると確信している。いつの日か必ずこの「瞬間」を振り返る時が来る。情熱を持って仲間と過ごした時間は、眩しく輝いて見えることだろう。そして、本気でこのまちを想い、仲間と共に過ごした時間、経験が人生の宝物となるのではないだろうか。今この瞬間がこのまちの未来を変えると信じ、まずは自らを変え、周りを変え、このまちを前進させよう。輝かしいこのまちの未来を信じて。

我々には、このまちを変える力がある。

青嶽

～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～

# 公益社団法人長野青年会議所 2023年度 事業計画（抜粋）

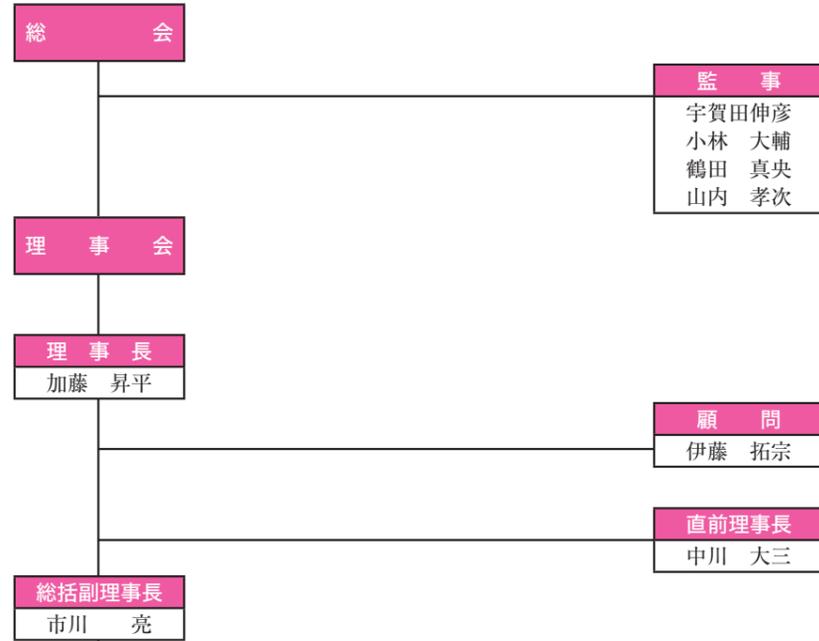
## スローガン



## 事業基本方針

- 1 健全且つ公正な組織運営を目指し、揺るぎない結束を深めることで、誰からも信頼される一致団結した組織へと昇華させよう。
- 2 地域との信頼関係を築く効果的な発信と新たな挑戦を支援できる組織づくり、そして互いの見識を深め合える機会の共有によって、我々の存在感を力強く響かせよう。
- 3 地域を牽引してきた我々があらゆる団体と結び付きを強め、地域の魅力と観光資源を最大限に活用することで、共に栄える未来を実現しよう。
- 4 子どもたちの健全な育成を推進するとともに、伝統ある国際交流の歴史を継承し発展させることで、未来に夢や希望が溢れる我がまち長野を創造しよう。
- 5 まちの未来を熱く語り合える仲間を迎え入れ、活気溢れるまつりをLOM全体で創り上げることで、まちに情熱の火を灯そう。
- 6 創立70周年を迎える今、先達の築き上げた歴史に敬意を表すとともに、赫々たる未来に向けたビジョンを掲げ、すべての人を導こう。

管理者	福島 勇太
管理者補佐	小林 徹哉
会計責任者	増子 桂介
会計担当者	若林 裕士
規則責任者	唐木沢正晃
規則担当者	勝野 照章
事務局長	橋本 大介



室	根結室	交響室		共栄室	
室長 (理事)	橋本 大介	唐木沢正晃		田上 直寿	
委員会	総務財務	広報渉外	例会	地域創生	灯明
委員長 (理事)	長田 雄介	横川 歩	中村 律王	宮尾 龍介	町田 孝幸
副委員長	神林 茂雄 西澤 孝仁 松原 一平	中野 大輔 西川 豪 山崎 義明	飯塚 大 町田 信也 松野 功	今井 昌実 鈴木 剛 武内 祐磨	小布施達也 峯村 侑弥 宵野問宏秋
委員 (○顧問) (○理事)	小澤 太郎 北田 大己 小山 美喜 松澤 隆司 ○若林 裕士 秋山 英範	落合 拓 ○勝野 照章 佐藤 廉 永戸 貴大 山田 洋輔	小林 芳恵 佐藤 太一 白土巴瑠香 袖山 大和 中島 秀朗	五十嵐康雅 鶴野 裕基 大島 裕太 中川 広三 水野 宏樹	石坂 将人 荻原 功吉 小森 穂高 三村 拓人 山中 雅紀
2023年 前期準会員	内田 昂 太田 和希	竹内 進 宮澤 卓也	内間 亘太 荻原 和	小林 巧 西宮 大士 和田 凌弥	小泉 湊 田中 裕之 林部 祐也

2023年 後期準会員	片平 大地 堀内 清文 川橋 哲平 室賀 直	武野 成哉 吉池 悠汰 轟 敬輔
----------------	---------------------------------	------------------------

流成室		情熱室		伝導室		理事
村田 雄介		福島 勇太		若麻績憲義		
希望育成	国際交流	会員拡大	びんずる	70周年 レガシー	70周年 ビジョン	勝野 照章 日下部好治 窪 智敬 宮澤 拓也 若林 裕士
宮澤 遥	倉島 盛朗	小林 徹哉	竹内 友哉	有吉 隆	磯 宏典	
金丸 望美 田中 裕樹 出沢 寛崇	池田 竜一 浦野 健司 干川 龍馬	小林 涉 小山 宙軌 平野 敦彦	北島 謙治 増田 年晴 柳澤 龍志	清水 努 塚田 翠 和田 卓也	福岡 正芳 松本 拓城	
加藤大太郎 ○日下部好治 寺澤みゆき 戸谷 保明 原山 大樹	青木 源 小野 重勝 川村 真也 小林 優輔 徳竹恵里香 横田 将	青木 裕 ○伊藤 拓宗 高野 裕也 西澤 準 宮沢 洋平 田中 義一	岩井 勇樹 長田 竜樹 桜井 啓介 島津 恵子 両角 絵美	伊藤 陵輔 海野 良瑛 徳永虎千代 峯村 直樹 ○宮澤 拓也 山口 正登 大工原遼太	伊藤 新祐 春日光雪 チャールズバーチ ○窪 智敬 黒岩 龍 小渕 哲 西村 奈美	
小林妃世希 小林 圭 多田 了	鈴木 晴海 丸山 陽平 渡辺 大輔			清水 亮 長澤 瑞樹	笠井 尚樹 関原 司	

※2023年12月31日現在

## 理事長所感「未来が変わる瞬間」

理事長  
加藤 昇平



「青瞬」～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～のスローガンのもと、一年間青年会議所運動に邁進していただきました全会員に感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の試練を経て、変革と再生の時を迎え、経済環境は厳しく尚且つ不確かな中で運動に尽力された皆様に心から敬意を表します。そして我々の活動に深いご理解をいただきました行政関係者、賛助会員の皆様、物心とともにご支援ご指導いただきました長野青年会議所シニアクラブの皆様にご心から感謝を申し上げます。

本年は2020年4月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する緊急事態宣言が発出されてから3年が経過し、世界的な物価高と金融引き締めによる内需の下振れに加え、中国経済の一時的な失速など新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から回復するには時間がかかり、その過程で経済的な課題が浮き彫りとなりました。制約や不確実性に対処する中で、社会全体が変容し、新たな局面へと向かっています。

そのような時代の転換期とも言える本年、長野青年会議所は創立70周年を迎え、現役会員は改めて長野青年会議所の歴史を深堀することに加え、創立80周年に向けた強い決意の一年になったと感じております。この組織の設立当初、発起人全員の同意のもと定められた原始定款第一章第一項にはこのように書かれています。「本会議所は、青年の努力を結集し、積極的建設的計画によって社会に奉仕し、又会員の修練と相互の親睦を図り、且つ国際青年会議所の機構を通じて、全世界の青年と提携し、人類の幸福、世界平和達成の原動力となることを目的とする。」この文言は今も尚、色あせることは無く、現代の運動にもこの精神が色濃く宿っていることは間違いありません。

2023年を振り返る中で、数々の「未来が変わる瞬間」に立ち会うことができました。青年会議所運動そのものと呼ばれる会員拡大運動の中で、入会を決意し青年がJayceeとなった瞬間。創立70周

年を機に5年後10年後のメンバーが力強く青年会議所運動を推進するために多くの変革を起こした瞬間。そして、会員一人ひとりがこのまち、この組織のことを真剣に考え創り上げたこの先10年間の運動指針となる70周年未来ビジョンが決議された瞬間。挙げれば沢山ありますが、このような個人や組織の大きな決断に立ち会えたことを嬉しく思います。そして、この一つひとつの決断がこの組織の未来を変え、将来あの時の決断が正しかったと思える日が来ることを願うばかりです。

今、改めて我々が生きる環境を生み出し、創り上げたのは先達だということをお忘れはならないと感じています。輝かしい未来を願った先達の、身を粉にした努力と献身的な運動がなければ、今日の社会は築かれていないでしょう。そして、我々も同じようにこの先の未来をいかにして明るいものにしていくのかを考え、長野青年会議所がいつの時代も地域社会への深い愛と新しい挑戦の機会を提供し続け、まちの未来を切り拓いていかなければならないと私は考えています。

結びに、2024年度は「不易流行」～誰かの為に、新たな一歩を共に歩もう～のスローガンを掲げ、70周年未来ビジョンの達成に向けた一年目となります。有吉理事長の強靱なリーダーシップのもと素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げますとともに、これからも長野青年会議所がより一層の発展を遂げ、メンバー一人ひとりが輝ける場になることを心より願っております。

2023年度、長野青年会議所の活動にご尽力、ご協力いただきました皆様に重ねて御礼を申し上げます。

## 直前理事長所感

直前理事長  
中川 大三



はじめに、卒業してからの直前理事長という立場でありましたが、加藤理事長はじめ、メンバーの皆様にご多くの機会をつくっていただき、

この一年素晴らしい経験をさせていただいたことに心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の脅威から多くの社会行動が制限されていた時間が過ぎ、社会的にも人々の心情的にもコロナに制限がなされることなく行動できる、2023年度はまさにポストコロナ時代のエポックイヤーでありました。多くのことがコロナ以前に戻り、またコロナ以前よりも活発に物事が進んだのが本年であったのではないのでしょうか。そのような中で、本年度、加藤理事長の卓越したリーダーシップの下、「青瞬～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～」というスローガンを掲げ、長野青年会議所70周年という節目に長野青年会議所として新たな未来ビジョンを示し、数々の地域に影響をもたらす事業を推進し再び呼び興した2023年度長野青年会議所メンバーの皆様にご心からの敬意と感謝を申し上げます。コロナという言葉が存在しなかったのはもう4年も前に遡ります。現在のメンバー構成を見ると、青年会議所活動の大半はコロナ禍にあり、その期間に過去や歴史を知るメンバーも多く卒業を迎えていきました。コロナ禍以前の事例や歴史を知ることが容易でない環境での事業推進の中、或いはさらに高いものを創り上げることを求められたこの一年、加藤理事長の言葉を借りるとするならば、この70周年という節目にふさわしく、会員一人ひとりが自らの手で新たな「未来を仕掛け」、長野青年会議所の新たな出発点を築いた一年間であったのではないかと思います。

本年度は前述のとおり、コロナ禍では実施できなかった歴史と伝統ある事業も再び実施することが叶った年でもありました。とりわけ国際交流事業においては3年間の時を経て、姉妹青年会議所

であるソウル江北青年会議所、友好青年会議所である台中国際青年商會との対面交流がなされ、これまで以上の強い絆が紡がれました。この言葉も、生い立ちも、価値観も、すべての環境が違うもの同士が心を通わせ、心を動かすというこの国際交流にコロナ禍で少し希薄にならざるを得なかった人と人とのつながりというJC運動の本質、社会の本質を見たような気がします。青年会議所運動に照らし合わせれば、地域に対する事業でも、青年会議所組織であっても、このような人の心を動かすことが運動を起こす原点であると改めて感じた次第です。

現在、日本国内は急激な為替相場の変動、物価高騰、そして加速化する人手不足など、社会の根底を揺るがす問題に多くの困難に直面し、国力の低下が叫ばれ、未来を憂慮する不安感も抱くような声も少なくありません。しかしながら、いつの時代も今現在起きている問題の最終的な答えは時間を経て現れるものです。そしてその時代に辿り着いたとき、その結果に直面し自分たちがどう感じるかです。だからこそ今、若者たちが今、心を通わせ、行動し声を上げ、自らの未来を切り拓いていくべきであると思います。そして長野青年会議所はそのような志高き若者たちが集い、現在により良い変化を与え、未来により良い変化をもたらす力を持っていると思います。

2023年度、加藤理事長が放った元氣玉を受けとり、71年目という新たな一歩を踏み出す有吉次年度理事長とともに2024年度メンバーが駆け抜けるとともに、多くの想いを胸に持つ若者たちが活躍していく長野青年会議所が続いていきますことを心よりご期待申し上げます。

## ご挨拶

顧問

伊藤 拓宗



まずは70周年と言う記念すべき年度を締めくくられた加藤理事長をはじめとする役員の皆様とメンバーの皆様に敬意と感謝を申し上げます。

「周年は特別な年だ」と予定者段階から皆様に伝え続けておりましたが、私自身も前回の60周年当時は準会員であり全く経験もないと言うのが事実でした。しかしながら、単年度制である青年会議所運動の長期的ビジョンを打ち出し、我々の存在を強く発信できる節目の年であることは言うまでもないことであり、予算を含め計画的に多くのリソースを集中させている意味でも特別な年と言う位置づけになります。またアフターコロナで行動規制も緩和され100%の青年会議所運動ができる環境も整った年でありました。

そのような中で「青瞬」～想いを繋ぎ未来を仕掛ける～と掲げたスローガンのとおり、加藤理事長の卓越したリーダーシップと役員、メンバーの皆様の努力により周年事業では対外に「長野青年会議所ここにあり」と言う姿を力強く発信され、対内的にもこの先10年の羅針盤となる未来ビジョンの策定や組織としての制度や方針の見直しなど周年に相応しい成果を残されたことに改めて感謝を申し上げます。これまでの10年は非常に変化の激しい時代でしたが今後はそれ以上に変化が激しく、不透明で不確かな時代が続くと想像されます。その中において未来ビジョンはLOMにとってこれまで以上の重要性を持つと考えています。

私個人としては昨年に引き続きいただいている「顧問」と言う立場のあり方を模索しながらも十分にお役に立てなかったことを反省しております。一方で委員会配属をいただき歴の浅い若いメンバーと交流を図りながら私が思う青年会議所についての考えを伝えられたことは大変貴重なありがたい機会となりました。私自身残された年数をでき得る形で少しでもLOMに恩返しできるよう努めてまいりたいと思います。

結びになりますが、来る2024年度が「不易流行」～誰かの為に、新たな一歩を共に歩もう～のス

ローガンのもと、皆さまにとって素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げ、御礼と総評とさせていただきます。一年間、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

## 総評

監事

鶴田 真央



はじめに、70周年を迎えた2024年度の長野青年会議所をまとめ上げていただきました正副理事長会議の皆様にご挨拶申し上げます。青瞬～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～のスローガンの基9名の正副理事長会議の皆様が団結し、正副の団結する姿を見て、委員長、理事の皆様が委員会をまとめて様々な困難を乗り越えてきた1年だったのではないのでしょうか。70周年とコロナが明けた2024年度を駆け抜けていただいた皆様に感謝申し上げます。

監事職をお受けするにあたり、自分がいままで先輩に教わってきたことを次につなぐために、そして長野青年会議所が持つ人と人とのつながり「機微」を私なりに伝えよう、そして事業に向き合う仲間の背中を支えられる監事であろうと本年努めさせていただきました。監事とは理事長や三役に意見することはありますが、委員会には配属されず直接事業に関わることはありません。そんな役職だからこそ一年間メンバーの皆さんの活動や運動を客観的に拝見させていただき、LOM全体を見させていただきました。理事予定者会議において委員長の皆さんに「担当される委員会事業に関して、他のメンバーの誰よりも詳しくあってほしい」とお伝えしましたが、まさに体现され、それぞれが予定者段階から委員会方針のもと悩み、もがき、苦勞された一年半だったと思います。青年会議所はやはり委員長の存在が大きく、その存在感がまちにインパクトを与えると改めて実感しました。今年度の事業を振り返ると、青年会議所としてスターターであり、多角的な視点で運動を展開し、その運動がまちに伝播され、継続した未来につながる運動を推進されたのではないのでしょうか。一方で、長野青年会議所の未来に少なからず不安もあります。どれだけの会員が成長の機会と真摯に向き合い、能動的に運動しているのでしょうか。どれだけの会員が誰かのために、仲間のため、そして青年会議所での活動に理解を示し支えてくれる会社、家族のために成長の機会を掴んでいるのでしょうか。ただ集まって飲んでるだけ

ならJCじゃなくてもいい。青年会議所は最後の学び舎とよく言われます。昨日より今日、今日より明日、そして明日より明後日と、誰かと比べるのではなく、自身の成長のため挑戦を続けてください。その成長がご自身の仕事や家族、大切なひとの未来、そして我々が住まう長野の未来につながります。時代のせいにはせず、ひたむきな挑戦と一人ひとりの成長が今後80年、90年、100年と未来永劫続く長野青年会議所のさらなる発展につながると信じます。結びに、私のつたない監事講評に毎回服装を整え、心を向けていただきましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。多くの仲間を支えられ成長の一年を過ごせました。現役メンバーの皆さん、JAYCEEらしく全力で向き合い、全力で楽しんでください。一年間ありがとうございました。

## 監事総評

監事

### 山内 孝次

本年70周年目を迎える公益社団法人長野青年会議所に、監事という責任ある役職をお預かりするにあたり、支えてくださった多くの皆様に心から感謝申し上げます。加藤昇平理事長が掲げられました「青瞬～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける」の下、力強く運動を展開されましたこの一年について、監事総評を述べさせていただきます。

まず、当青年会議所における監事の職務は、理事の職務執行、業務並びに財務及び会計の状況を監査することであり、また理事が不正の行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実、若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、その旨を理事会に報告する権限を与えられています。当該職務の關係上、委員会に配属されず、有志として参加させていただいた長野びんずる以外は、直接事業に関わることはありませんでしたが、本年は全委員会に例会（8月は70周年記念講演会・式典）の場があったことで、各委員会の掲げる青年会議所運動や委員会活動を詳らかに拝見させていただきました。

加藤理事長をはじめとする正副理事長の類まれなるリーダーシップの下、余人をもって代えがたき優秀な委員長・理事の個性が十二分に発揮されたことで、新型コロナウイルスの猛威によって疲弊したまちが活気づき、市民に希望を与えることのできた一年とすることができました。一年間運動に邁進して頂いた正副理事長の皆様、委員会メンバーの成長を導いてくださった委員長・理事・副委員長の皆様、加藤理事長のビジョンを信じて青年会議所運動に邁進してくださったすべてのメンバーの皆様に、心より感謝申し上げます。

さて本年は、2013年に策定された60周年未来ビジョンの10年間の運動を振り返ると共に、次の10年に向けた70周年未来ビジョン「GAME CHANGE～常識を超え、未来の地平線を鮮やかに切り拓く～」を策定致しました。

私たちは、ボランティアの団体でも、営利を目



的とした団体でもありません。圧倒的なリーダーシップを磨くために学び舎として活動を行っております。誰しもが、プライベートや仕事の中で自分の役割をもっている中、日々の青年会議所運動で得た経験を自らの成長に生かし、社業を進展させ、地域に還元していく。縁ある人の幸せを自分たちの手で満たしていく。私たちはその志を持った団体です。長野青年会議所の目的は、このまちを進展させていくこと。その責任が、我々青年に課せられた使命です。長野青年会議所は、社会を変える、パワーを持っている、そう信じています。

80周年、90周年に向けて、自らの枠をとり超えて、今までにないチャレンジをしまいましょう。GAME CHANGERであるとの決意がわがまち長野を益々輝かしいものにしていくものと確信しています。現役メンバーの皆様の今後のご活躍を祈念しております。

素晴らしい1年をありがとうございました。

## 総括副理事長としての所感

総括副理事長

### 市川 亮



まずは、2023年度を無事締めくくることができたことについて、本年度様々な場面において長野青年会議所の運動にご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りました皆さまに心より御礼を申し上げます。そして、一年間事業に邁進していただいたメンバー全員に感謝申し上げます。

2023年度は加藤理事長が掲げる、「青瞬～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～」のスローガンのもと、一年間運動を推進して参りました。本年度は創立70周年という記念すべき年であり、8月に実施しました70周年記念講演会・式典・祝賀会を始め、これまで経験したことのない事業に多く携わらせていただきました。加えて、新型コロナウイルスが収束したことにより、姉妹友好JCとの国際交流事業、日本国内外の各種大会など様々な事業が約3年振りに全て実施できたことを踏まえると、JC運動を十二分に推進できた一年であったと感じております。

各事業を振り返りますと、対外に対しては、長野灯明まつり、長野びんずる、70周年記念事業、9月公開例会、10月公開例会の事業を実施しました。対外事業については一般市民を対象者としておりますが、全てにおいて多くの市民に会場していただくことができ、市民に対して長野青年会議所の認知度を高めていただくことができたと思います。これもひとえに、これまで長きに亘り築き上げてきた長野青年会議所のブランドがあってからこそだと言えますが、全てにおいて運営については、一からの企画が必要となり、前例がある訳でもありません。全メンバーに自分の役割を全うする責任の高さがあったからこそ成功することができたと言え、改めて長野青年会議所の組織力の高さ、そして在籍するメンバーの結束力を感じることができました。

組織内においては、新しい取り組みに挑戦した一年でありました。「議案」という事業の軸となる部分について重きを置きつつも、できる限り簡略化することで各委員会事業に費やせる時間を設

けるとともに、継続して実施してきた事業においても「続けるべきもの」「変えるもの」の明確化を図りました。また、今後の組織の在り方について課題提起の機会を設けるとともに、遊休資産の活用方法を再考するなど、次代のメンバーが今後より発展的に運動を展開できるようにするべく、組織体制の変革を行いました。

青年会議所という組織は単年度ごとの運営になるため、変化が難しい組織形態であります。しかしながら、一般企業においても現状維持では存続すら難しい時代であることを踏まえると、これまで築き上げてきた歴史と伝統を重んじつつも、法人格を有する長野青年会議所という組織においても常に変化していくことが必要であり、常に成長する組織で在り続けることが必要であると考えます。そのため、今後も前例踏襲に縛られるのではなく、時代の先駆者となるべく斬新なアイデアを持って、地域の課題解決、組織の課題解決、メンバーの人材育成に取り組んでいただければ幸いです。

最後になりますが、2024年度が有吉理事長のもと最高の1年になりますこと、そして長野青年会議所が益々発展していくことを祈念申し上げます。総括副理事長の所感とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

## 挨拶・総評

副理事長兼交響室室長  
唐木沢正晃



アフターコロナ一年目となった2023年。社会全体がパンデミックを乗り越え、社会変革を経て新たな歩みを進めようとする本年、長野青年会議所は創立70周年という大きな節目を迎えることができました。例年以上に当会議所を日頃よりお支えいただいている皆さまとお会いし、直接感謝を伝えられる機会をいただくことができました。そして、その感謝を形とさせていただいた「70周年記念事業」を無事開催できたことにつきましても、当該事業をお支えいただいたすべての皆さまに厚く御礼申し上げます。

2024年度からは、本年度策定した「70周年未来ビジョン」とともに次の10年に向けて新たな歩みを進めていくこととなります。70年分の想いが込められたバトンを次の世代へと確かな形で渡すことができるよう、そして何よりも長野のまちの明るい未来のためにさらなる運動に邁進することができるよう、組織としても個人としても益々成長してまいり所存です。

さて、私が担当した交響室では、70年に亘り築き上げてきた当会議所の運動の推進力をより一層高めるべく、組織内外で多様な「声」が響き交わる、闊達な組織づくりに取り組んでまいりました。

広報渉外委員会では、Instagramに特化した積極的な対外への情報発信とマスメディアとの積極的な連携の二本柱で広報活動に邁進いたしました。Instagramでは、掲げていた「フォロワー10,000」という数値目標には及ばなかったものの、フォロワー獲得に向けた積極的行動と情報発信を行うことで、これまで我々の声が届かなかったところまで当会議所の存在と運動を知っていただき、運動の裾野を広げることができました。また、例会のパネリストとしてマスメディア関係各位をお招きし当会議所の広報活動に必要なノウハウ等につきパネルディスカッションを行っていただくなど「日本一広報が強い青年会議所」を目指した取り組みも実施しました。一方、渉外分野では、第72回全国大会東京大会への会員全員登録を推進

し、これを達成することが叶いました。

また、闊達な組織づくりのためには、会員が一堂に会する機会をより多く創出することが必須であります。例年委員会ではその機会創出のため、例会参加率の向上に特に力を入れてまいりました。具体的には、2ヶ月前から開始する各委員会への出欠確認と毎回の理事会での出席の促し、担当委員会が例会を構築する様子を会員へ周知する「例会構築VTR」の制作・配信などを実施し、例会参加率の向上に一定の成果を残すことができました。さらに、全例会についてアーカイブ動画を制作し、これを各例会の報告議案に添付し資料化したことで、未来の会員の例会構築に帯する足掛かりを残すことができました。

青年会議所では「ミッション」と「ビジョン」にリーダーシップが明記されるなどの大きな変更もありましたが、会員のリーダーシップ向上に資する仕掛けづくりの一端を、当室では実行することができたのではないのでしょうか。

結びとなりますが、組織を力強く先導していただいた加藤理事長はじめ多くの皆様のお支えがあり「青瞬～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～」のスローガンのもと一年間運動を推進することが叶いました。

一年間、誠にありがとうございました。

## 副理事長兼共栄室室長 所感

副理事長兼共栄室室長  
田上 直寿



早いもので全74回の正副理事長会議も残りわずかとなり、2023年度も終わりを迎えるようとしています。昨年6月に加藤理事長よりお声をいただき、不安と期待を胸に走り出したことを昨日のこのように思い出します。創立70周年の記念すべき年に正副理事長会議として運動を推進できたこと、そして笑いあり苦悩ありの濃密な時間を共有し積み重ねてきた経験と思い出は人生の宝物です。

私は共栄室室長として、地域創生委員会と灯明委員会を担当させていただきました。両委員会はまちの課題を解決するために、他団体と連携することで相乗効果を生み出し、今まで以上に活力溢れるまちを次世代へ繋げるべく、運動を推進してまいりました。

地域創生委員会では、まちに賑わいを創出し、市民に活気を与えることを目的として10月公開例会の企画運営を行いました。長野市ではまだ馴染みが薄いハロウィンをテーマに、新型コロナウイルス感染症で失われた「子どもたちが楽しむ機会」とするべく構築しました。当日は多くの来場者に恵まれ、まちに賑わいを創出することができました。この事業が大盛況に終わったのも、委員会メンバーが一丸となってまちを想い事業を構築してきたからです。

そんな地域創生委員会を牽引したのが、宮尾委員長です。予定者の段階から事業について苦勞を掛けてしまいましたが、最後まで逃げずに委員長職を全うしてくれました。青年会議所は義務で活動しているわけではありませんが、苦手なことでも立ち向かう大きな背中には委員会メンバーがしっかり見ていたと思います。本当にお疲れ様でした。

灯明委員会では、長野の冬を代表する長野灯明まつりの企画運営を行いました。二十回を迎える記念すべき節目であり、また2年ぶりの現地開催となりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が相まって多くの来場者を迎えることが出来ました。そして、世界各地で争いが起きる中、長野のまちから世界へ弛まぬ平和への願いを多くの

人々に発信することが出来ました。このまつりの成功は、第二十回長野灯明まつり事務局長をはじめ町田委員長と委員会メンバーによる幾度とない関係各所との協議や未来を見据えた計画が生んだ功績です。

そんな町田委員長との出会いは、私が委員長を仰せつかった2019年でした。当時、準会員として私の委員会に配属になった町田君は楽しそうに資料作成から発信まで様々な面で活躍してくれました。そんな町田君が本年は委員長としてリーダーシップを大いに発揮し、第二十回の企画運営、第二十一回の企画、そして11月例会での発信と素晴らしい功績を残してくれました。また、各種事業にて委員会メンバーにしっかり成長の機会を与えてくれたことで、いつか町田チルドレンが次代のリーダーとなって長野灯明まつりを、そして長野青年会議所を牽引する存在になることを期待しております。お疲れ様でした。

最後となりますが、副理事長という大役を務めさせていただき本当に有意義な1年となりました。加藤理事長をはじめ正副理事長の皆様、そして長野青年会議所を支えてくれた理事の皆様、「青瞬～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～」のスローガンのもと、共に運動を推進されたすべての皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 人との繋がりに感謝

副理事長兼流成室室長  
村田 雄介



長いようで短かった2023年も終わりを迎えようとしています。本年度は加藤理事長が掲げる「青嶽～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～」のスローガンのもと、長野青年会議所創立70周年の記念すべき1年を正副理事長会議という素晴らしい仲間とLOMのど真ん中で運動を推進させていただきました。

約1年半前に加藤理事長からお声掛けいただき、加藤理事長であれば喜んでと副理事長という大役を受けさせていただきました。しかし、本当に自分に副理事長という大役が務まるのか、また、担当する委員会が青少年育成と国際交流という未経験の委員会を受け持つことになり、不安を抱えながらのスタートだったことを思い返します。青年会議所では「何をやるか、ではなく、誰とJCをやるか。」といわれることがあります。この組織の中では本当にやりたいことをやれる人は稀だと思います。その中で自身の成長のためには与えられた機会を最大限に活かすことが必要であり、それはやりたいことばかりを求めるのではなく、経験のないことや苦手なことにも積極的に挑戦し、行動することで得られる知識や経験が自身の成長に繋がるのではないかと感じます。また、この組織では誰とJCをやるのかも自身では決められません。しかしながら、真摯にJC運動に向き合い、積極的に行動する姿勢が周りの人たちを巻き込み、積極的に巻き込まれていくことで新たな友情が生まれ、その友情が「誰とJCをやるか。」になるのだと思います。私は本年度、創立70周年という大変な1年を加藤理事長はじめ正副理事長会議という素晴らしい仲間と苦楽を共にし、自身の成長に繋がる有意義なJC生活を送れたと感じています。

「誰とJCをやるか。」ということからすると、担当室の委員長であった宮澤委員長と倉島委員長にも感謝をしなければいけません。宮澤委員長は本年度、唯一の飛び級委員長として青少年系の希望育成委員会を受け持っていただきました。希望

育成委員会では、子ども食堂を含めた子どもの居場所の支援をテーマに1年間運動を推進していただきました。宮澤委員長は予定者段階から能動的に子どもの居場所について調査・研究していただき、より良い委員会のスタートが切れたと思います。特に年間事業では子どもの居場所支援のための公式LINEを活用したサブスクリプションの実施やHowTo本の作成、9月公開例会では講師に子ども食堂を実践しているはるな愛氏と有識者の湯浅誠氏をお呼びしたことは、このまちに大きなインパクトを与えることができたと感じます。

また、力強いリーダーシップを発揮していただいた倉島委員長が率いる国際交流委員会では、新型コロナウイルス感染症の影響でストップしていた姉妹・友好LOMと酒を酌み交わす交流事業が再開され、台中国際青年商會公式訪問、ソウル江北青年会議所とのアイドゥルミッション実施、そして、創立70周年記念式典に併せて合同受入事業を行っていただきました。コロナ禍を経て交流経験のあるメンバーが減少する中で、多くの委員会メンバーを巻き込みLOMの先頭に立って交流事業を行ったことは、まさしく国境や国籍、言葉の壁を越え民間外交を体現することができたとともに、国際交流の今後の新たな指針となることができたのではないかと感じます。改めて宮澤委員長と倉島委員長には、私のもとで共にJC運動に邁進していただき感謝申し上げます。

結びとなりますが、やはりJCは人と人との繋がりであり、本年度はその「人」に恵まれた1年だったと感じます。副理事長という貴重な機会を与えてくださった加藤理事長、たくさんの思い出を共にした正副理事長会議の皆様、宮澤委員長、倉島委員長をはじめとする流成室の皆様、そしてすべての皆様に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。

## 最高の仲間

副理事長兼情熱室室長  
福島 勇太



長野青年会議所に入会して早13年が経ち、様々な成長の機会を与えていただきました。2022年6月に次年度三役が決まり、副理事長の選出が始まり、加藤理事長から「いの一番」にお声がけを頂きました。「勇太がいなければ成立しない。」「一年間苦勞も掛けるけど、最高の思い出を一緒に作ろう。」即答で受けさせていただきました。

当室では、「まちと組織に変革を起こすため、疲弊した時代だからこそまちを牽引するリーダーの開発とまちを愛する市民を増やし続けること」を方針に一年間運動を推進してまいりました。

青年会議所運動の1丁目1番地と言われる、会員拡大運動は一人ではなし得ません。全会員が一人となり青年会議所の魅力を必死に相手に伝えられなければ、相手の気持ちは動きません。情熱のある小林委員長が掲げた「入会50名」という目標の達成に向けて陰ながらサポートをさせていただきました。また、本年は対象者申込カードのDX化に取り組んだり、プロモーションビデオを完成させたりと拡大運動をより効率よくできる仕組みを創出しました。時にはぶつかるとも苦勞も多くかけましたが、それでも必死に一年間運動を推進していただきました。目標の50名には惜しくも届きませんでしたが、前期22名、後期7名、合計29名の新入会員を迎えられたのも、会員拡大委員会メンバーのお陰です。この新たな若者がまちのリーダーに成長することを祈念いたします。

一方、長野びんずるでは、実に3年振りとなるフルスバックのまつりを目指し、そしてまちのまつりを知らない子ども達にもまつりに参加してもらいたいという一心で事務局運営を行ってまいりました。業者の変更など例年にはない問題や参加連の応募が激減するなど当初想定していなかった事象が多発しました。予算面でも本室に頭を抱えていただきましたが、いかなる困難にも屈せず、まつりを愛している竹内委員長だからこそ成し遂げられた第53回長野びんずるであったと実感して

おります。まつり当日は毎年恒例の雨に見舞われましたが、法灯行列から参加させていただき、そして多くの市民の皆さまにまつりに参加していただき、最高の「ハレ日」を迎えることができました。準備からまつり当日、そして決算まで本当にありがとうございました。びんずる委員会メンバー、前期準会員、そしてまつりに携わった全ての会員に御礼を申し上げます。

そして最後に、執行部としてはほぼ毎日一緒に過ごした正副理事長会議のみんな。あなた達とだから70周年という大きな歴史と一緒に刻むことができました。これ以上の青春はもうないと思います。これから卒業してお互いに歳を取っても酒を酌み交わしながら死ぬまで語ろうな。

## 挨拶・総評

副理事長兼伝導室室長  
若麻績憲義



伝導室は長野青年会議所創立70周年を迎える節目の年に単発的に発足した室であり、70周年レガシー委員会、70周年ビジョン委員会の2委員会から構成されております。長きに亘り運動を推進してこられた先輩諸氏や、私たちの運動に対して深いご理解とご協力を賜った関係諸団体に対して全メンバーが感謝と敬意を表すとともに、今後も私たちの運動を絶やさぬよう明確な指針をたて、より強固な組織となるように1年間事業を展開してまいりました。

70周年レガシー委員会では創立70周年記念講演会・式典・祝賀会の企画、運営を担いました。講演会においては前内閣総理大臣の菅義偉様、経済学者の成田悠輔様をお招きしたことで大規模な運営となりましたが、有吉委員長を筆頭に年齢の若いメンバーが準備段階から積極的に参画したことで素晴らしい講演会となり、長野市民だけでなく全国に「長野青年会議所此処に在り」を体現することができました。式典・祝賀会も同様に、多くの関係者の方々にご参加いただき、進行に不備がないかを入念に確認し、全メンバーが一丸となって運営したことでシニアクラブの皆様及び関係者の皆様に対して心からの感謝と敬意をお伝えすることができました。

70周年ビジョン委員会では70周年未来ビジョンの策定を担いました。磯委員長を筆頭に過去に策定された未来ビジョンの検証やシニアクラブ会員の皆様のもとへ伺い聞き取り調査を行い、全メンバーの意見を集約させて今後10年間長野青年会議所が明るい豊かなまちづくり運動を推進することができる指針を策定しました。そして、メンバー一人ひとりが未来ビジョンを胸に刻み次代のメンバーへ継承する機運を高めることができました。

事業をすべて終えた今まさに、「伝導室」の名の通り、メンバー一人ひとりがすべての関係者の皆様に対して長野青年会議所の伝統ある想いを伝播する伝道師になったと実感しています。

## 青瞬に感謝

専務理事  
増子 桂介



公益社団法人長野青年会議所の創立70周年という記念すべき年に専務理事という大役を務めさせていただきました。様々な場面でアドバイスや激励をいただきました先輩諸氏の皆さま、そして、激動であった今年度の運動を共にしたメンバーの皆さまに感謝申し上げます。

専務理事として、県内各地で行われたブロック会員会議所や北陸信越地区協議会の会議に参加させていただいたり、スポンサー LOMへの挨拶や出向会議体への激励、シニアクラブ役員との打合せ等々、様々な場面で加藤理事長と行動を共にさせていただきました。加藤理事長の各所での振舞いを一番近くで見てきましたが、歴史ある長野青年会議所の理事長として品格がありつつも、誰とでも気さくにコミュニケーションを取る姿が印象的でした。また、会計責任者という立場においては、各事業や事務局費の予算立てからその支払管理等について、例年にはない事柄も多く苦慮することも多かったですが、若林会計担当理事の助けもありなんとか遂行することができました。

本年度は、70周年ということもあり、これまでに積み立ててきた70周年の積立金1,500万円に加え、シニアクラブからは式典・祝賀会の全員登録715万円及びソウル江北青年会議所、台中國際青年商會の合同受入の協力金100万円、その他にも県内各地青年会議所のメンバーから多数の周年事業へ登録をいただき、例年と比べると2倍程度の事業費となりました。多方面からのご協力もあり、長野青年会議所の70周年記念事業は、これまでを築かれた先輩諸氏や関係者に感謝の気持ちを表すことができたと同時に長野青年会議所の存在感をしっかりと示すことができたと思います。

また、加藤理事長の掲げたスローガンにもある「想いをつなぎ、未来を仕掛ける」の言葉通り、残すものと変えるべきものにも着手することができた年であったと思います。アジェンダシステムの導入に始まり、法人格の議論の末に有休財産の取崩し方法についても方向性を総会決議し、長年

利用してきた炎の法被デザイン改訂など、様々な事柄にチャレンジし未来を仕掛けることが出来ました。このような挑戦が出来たのも加藤理事長のリーダーシップのもと市川総括副理事長をはじめ優秀な正副理事長会議のメンバーがいたからこそだと感じています。私自身は専務理事としてその役割を全うできたかどうかというと、至らない点多々あったかと思えます。しかし、多くの皆様のお陰でなんとか役目を終えることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

最後になりますが、本年度で卒業する私に貴重な機会をいただき、どこへ行くにも一緒に過ごした加藤昇平理事長、同期同卒で互いにJCを駆け抜けた戦友の市川亮総括副理事長、そして、唐木沢正晃VP、田上直寿VP、村田雄介VP、福島勇太VP、若麻績憲義VP、橋本大介室長、この魅力あふれる8名と共に正副理事長会議として一年半過ごした時間は、私の人生において間違いなくかけがえのない時間になりました。ありがとうございました。

## 尊心

事務局長兼根結室室長

### 檜本 大介



2015年入会の私は同年、国際交流委員会に配属になり、小学校時代に共に同じ競技に奮闘していた加藤昇平君とまさかの再会を果たしました。30歳で青年会議所に入会して様々な委員会に所属し、日本青年会議所への出向も経験させて頂きました。

あれから7年、2022年度も同じ委員会だった加藤昇平君に「一緒に正副やらないか」と声を掛けて頂きました。住まいも遠い、仕事も忙しい、理事経験の全くない私に事務局長を務まるのだろうか、他の室長達に迷惑が掛かるんじゃないか…様々な葛藤がある中「やってみよう!」と思い、決意させていただきました。

室長兼事務局長として歩んだ一年を振り返り、所感を書かせて頂きます。

「団結力」ばっちりの総務財務委員会。

そこには、みんなが忙しい中、あるいはタイミングが悪く人員が揃わない中でも、担当例会や毎月開催される定例理事会、年3回の総会等の書類作成に準備設営をいつも先頭切ってこなす長田委員長がいました。マイペースな私と違い、頭も良くスキルが高く一年間総務財務委員会を支えた長田委員長を尊敬しています。

総務財務委員会は表舞台に出ていくような委員会ではありませんが、当会議所の裏方として一年間組織運営を円滑に支えてくれたと思います。総務財務委員会の皆様、一年間お世話になりました。

一年間を振り返ると楽しいこと、辛かったこと、大変だったこと、思い出がいっぱいあります。

年度後半に掛け、事務局長や室長の仕事にも慣れてまいりました。事務局長や室長には縁がないと思っていましたが、予期せぬ成長の機会、貴重な経験を与えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、当室は、最高の仲間達に恵まれ、詰まることなく無事に任務を遂行することができました。

私は、年度当初に目標に掲げた「一致団結した

組織運営」を構築できたと思っています。

根結室の皆さん、一年間付き合ってくれて、ありがとうございます。

## 定時総会・臨時総会報告

### 第1回定時総会

- 日時 ▶ 2023年1月28日(土)15:00～16:26
- 場所 ▶ ホテル国際21 芙蓉の間
- 議案 ▶ 第1号議案 2022年度事業報告承認の件  
第2号議案 2022年度一般会計収支決算承認の件

### 第1回臨時総会

- 日時 ▶ 2023年7月12日(水)18:30～19:02
- 場所 ▶ Web開催 (Zoom)
- 議案 ▶ 第1号議案 正会員除名の件

### 第2回定時総会

- 日時 ▶ 2023年8月26日(土)開会14:55～15:21
- 場所 ▶ ホテル国際21 藤の間
- 議案 ▶ 第1号議案 公益社団法人長野青年会議所80周年事業開催積立金承認の件  
第2号議案 公益社団法人長野青年会議所遊休資産活用に関する計画策定の件  
第3号議案 2023年度一般会計修正収支予算承認の件  
第4号議案 公益社団法人長野青年会議所2024年度役員選任の件

### 第3回定時総会

- 日時 ▶ 2023年12月9日(土)開会14:55～15:20
- 場所 ▶ ホテル国際21 藤の間
- 議案 ▶ 第1号議案 公益社団法人長野青年会議所2024年度室方針・委員会年間事業計画(案)承認の件  
第2号議案 公益社団法人長野青年会議所2024年度一般会計収支予算(案)承認の件  
第3号議案 公益社団法人長野青年会議所2024年度資金調達及び設備投資の見込み(案)承認の件

## 理事予定者会議報告

1/2

### 第1回理事予定者会議

- 日時 ▶ 2022年8月21日(日)17:00～18:06  
 場所 ▶ ホテル国際21 弥生の間  
 議案 ▶ 第1号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度組織(案)決定の件  
 第2号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度室長・委員長(案)承認の件  
 第3号議案 管理者、管理者補佐、会計責任者、会計担当者、規則責任者、規則担当者、事務局長(案)承認の件  
 第4号議案 慶弔慰金決定の件  
 第5号議案 理事会日時、場所決定の件  
 第6号議案 定例支払日決定の件

### 第2回理事予定者会議

- 日時 ▶ 2022年9月8日(木)18:30～20:04  
 場所 ▶ 長野商工会議所5階大会議室  
 議案 ▶ 第1号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度地域創生委員会委員長変更承認の件  
 第2号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度副委員長承認の件  
 第3号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度例会日時決定の件

### 第3回理事予定者会議

- 日時 ▶ 2022年10月6日(木)18:30～20:40  
 場所 ▶ 長野商工会議所5階大会議室  
 議案 ▶ 第1号議案 賛助会員承認の件  
 第2号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度委員会所属承認の件  
 第3号議案 第二十回長野灯明まつり開催運営計画・予算(案)承認の件

### 第4回理事予定者会議

- 日時 ▶ 2022年11月5日(土)18:30～20:22  
 場所 ▶ 長野商工会議所5階大会議室  
 議案 ▶ 第1号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度出向者決定の件  
 第2号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度スローガン・事業基本方針(案)の件  
 第3号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度室方針・委員会年間事業計画(案)の件  
 第4号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度基準開催数決定(案)の件

## 理事予定者会議報告

2/2

### 第5回理事予定者会議

- 日時 ▶ 2022年12月1日(木)19:30～20:56  
 場所 ▶ ホテル国際21 藤の間  
 議案 ▶ 第1号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度休会者決定の件  
 第2号議案 2022年度後期準会員委員会配属承認の件  
 第3号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度出向者追加決定の件  
 第4号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度一般収支予算(案)の件  
 第5号議案 第1回定時総会開催並びに議案決定の件  
 第6号議案 長野ブロック協議会災害協定災害対応組織(案)決定の件  
 第7号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン策定の件  
 第8号議案 1月例会開催・運営計画・予算承認の件  
 第9号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度年間広報計画・予算承認の件  
 第10号議案 70周年記念ロゴマーク制作・予算の件  
 第11号議案 70周年記念式典及び祝賀会開催日・場所決定の件

## 定例理事会・臨時理事会報告

1/4

### 第1回臨時理事会

日時 ▶ 2023年1月1日(日)

場所 ▶ 書面

議案 ▶ 第1号議案 理事長・副理事長・専務理事 業務執行理事選定の件

### 第1回定例理事会

日時 ▶ 2023年1月12日(木)18:30~20:47

場所 ▶ ホテル国際21 芙蓉の間

議案 ▶ 第1号議案 公益社団法人長野青年会議所2022年度一般会計収支決算書(案)承認の件  
第2号議案 公益社団法人長野青年会議所2022年度事業報告(案)承認の件  
第3号議案 2月例会開催・運営計画・予算承認の件

### 第2回定例理事会

日時 ▶ 2023年2月2日(木)18:30~19:59

場所 ▶ ホテル国際21 弥生の間

議案 ▶ 第1号議案 3月例会開催・運営計画・予算承認の件  
第2号議案 新入会員募集事業計画・予算承認の件  
第3号議案 長野青年会議所シニアクラブ会員訪問実施・予算承認の件

### 第3回定例理事会

日時 ▶ 2023年3月2日(木)18:30~20:23

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

議案 ▶ 第1号議案 正会員入会適格者決定の件  
第2号議案 4月例会開催・運営計画・予算承認の件  
第3号議案 国際化活性化事業・運営計画・予算承認の件  
第4号議案 2023年度アワードエントリー及びエントリーに伴う翻訳費・予算承認の件  
第5号議案 1月例会事業報告・決算承認の件

### 第4回定例理事会

日時 ▶ 2023年3月30日(木)18:30~20:23

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

議案 ▶ 第1号議案 正会員入会適格者決定の件  
第2号議案 5月例会開催・運営計画・予算承認の件  
第3号議案 青少年育成事業開催・運営計画・予算承認の件  
第4号議案 JCI-ASPACジャカルタ大会ジャパンナイトブース出展・運営計画・予算承認の件  
第5号議案 2月例会事業報告・決算承認の件  
第6号議案 第二十回長野灯明まつり補正予算承認の件  
第7号議案 第二十回長野灯明まつり事業報告・決算承認の件

## 定例理事会・臨時理事会報告

2/4

### 第5回定例理事会

日時 ▶ 2023年4月27日(木)18:30~20:23

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

議案 ▶ 第1号議案 正会員入会適格者決定の件  
第2号議案 次年度理事長候補者及び監事候補者選考委員選定要綱決定の件  
第3号議案 次年度理事長候補者及び監事候補者選考委員有資格者名簿承認の件  
第4号議案 6月例会開催・運営計画・予算承認の件  
第5号議案 青少年育成事業開催・修正運営計画・予算承認の件  
第6号議案 3月例会事業報告・決算承認の件

### 第6回定例理事会

日時 ▶ 2023年6月1日(木)18:30~21:03

場所 ▶ ホテル国際21 芙蓉の間

議案 ▶ 第1号議案 次年度理事長候補者及び監事候補者選考委員承認の件  
第2号議案 正会員承認の件  
第3号議案 準会員登録承認の件  
第4号議案 準会員委員会配属承認の件  
第5号議案 7月例会開催・運営計画・予算承認の件  
第6号議案 【8月公開例会】公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会開催・運営計画・予算承認の件  
第7号議案 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典及び祝賀会開催・運営計画・予算承認の件  
第8号議案 長野青年会議所「炎の法被」デザイン改訂・予算承認の件  
第9号議案 4月例会事業報告・決算承認の件

### 第7回定例理事会

日時 ▶ 2023年6月29日(木)18:30~21:12

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

議案 ▶ 第1号議案 9月公開例会開催・運営計画・予算承認の件  
第2号議案 公益社団法人長野青年会議所70周年未来ビジョン承認の件  
第3号議案 ソウル江北青年会議所、台中国際青年商會公式訪問合同受入実施・運営計画・予算承認の件  
第4号議案 5月例会事業報告・決算承認の件  
第5号議案 長野青年会議所シニアクラブ会員訪問事業報告・決算承認の件  
第6号議案 JCI-ASPACジャカルタ大会ジャパンナイトブース出展・事業報告・決算承認の件

### 第2回臨時理事会

日時 ▶ 2023年6月20日(火)21:00~21:35

場所 ▶ Web開催 (Zoom)

議案 ▶ 第1号議案 正会員除名の件  
第2号議案 第1回臨時総会開催・議案決定の件

## 定例理事会・臨時理事会報告

3/4

### 第8回定例理事会

日時 ▶ 2023年7月27日(木)18:30~20:35

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

- 議案 ▶ 第1号議案 公益社団法人長野青年会議所80周年事業開催積立金(案)承認の件  
 第2号議案 公益社団法人長野青年会議所遊休資産活用に関する計画策定(案)承認の件  
 第3号議案 2023年度一般会計修正収支予算書(案)承認の件  
 第4号議案 第2回定時総会開催・議案決定の件  
 第5号議案 新入会員募集事業修正計画・予算承認の件  
 第6号議案 長野青年会議所「炎の法被」デザイン承認の件  
 第7号議案 6月例会事業報告・決算承認の件

### 第9回定例理事会

日時 ▶ 2023年8月31日(木)18:30~20:35

場所 ▶ ホテル国際21 弥生の間

- 議案 ▶ 第1号議案 正会員入会適格者決定の件  
 第2号議案 10月公開例会開催・運営計画・予算承認の件  
 第3号議案 第72回全国大会東京大会登録・参加支援及びLOMナイト開催・運営計画承認の件  
 第4号議案 7月例会事業報告・決算承認の件

### 第10回定例理事会

日時 ▶ 2023年9月28日(木)18:30~20:24

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

- 議案 ▶ 第1号議案 正会員入会適格者決定の件  
 第2号議案 10月公開例会開催・修正運営計画・予算承認の件  
 第3号議案 11月例会開催・運営計画・予算承認の件  
 第4号議案 青少年育成事業報告・決算承認の件

### 第11回定例理事会

日時 ▶ 2023年10月26日(木)18:30~20:38

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

- 議案 ▶ 第1号議案 第3回定時総会開催・議案決定の件  
 第2号議案 会費未納会員退会の件  
 第3号議案 正会員入会適格者決定の件  
 第4号議案 12月例会開催・運営計画・予算承認の件  
 第5号議案 JCI世界会議チューリッヒ大会ジャパンナイトブース出展・運営計画・予算承認の件  
 第6号議案 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念誌作成及び配布・予算承認の件  
 第7号議案 【8月公開例会】公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会補正予算承認の件  
 第8号議案 【8月公開例会】公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会事業報告・決算承認の件

## 定例理事会・臨時理事会報告

4/4

- 第9号議案 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典及び祝賀会補正予算承認の件  
 第10号議案 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典及び祝賀会事業報告・決算承認の件  
 第11号議案 ソウル江北青年会議所、台中国際青年商會公式訪問合同受入実施・修正運営計画・補正予算承認の件  
 第12号議案 ソウル江北青年会議所、台中国際青年商會公式訪問合同受入実施報告・決算承認の件  
 第13号議案 9月公開例会事業報告・決算承認の件

### 第3回臨時理事会

日時 ▶ 2023年11月28日(火)18:00~18:18

場所 ▶ WEB開催

- 議案 ▶ 第1号議案 準会員登録承認の件

### 第12回定例理事会

日時 ▶ 2023年12月1日(金)18:30~19:34

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

- 議案 ▶ 審議-1 正会員承認の件  
 審議-2 準会員登録承認の件  
 審議-3 10月公開例会事業報告・決算承認の件  
 審議-4 2023年度アワードエントリー及びエントリーに伴う翻訳費・決算承認の件  
 審議-5 第72回全国大会東京大会登録・参加支援及びLOMナイト実施報告承認の件  
 審議-6 国際化活性化事業報告・決算承認の件  
 審議-7 長野青年会議所「炎の法被」デザイン改訂・決算承認の件  
 審議-8 公益社団法人長野青年会議所2024年度室方針・委員会年間事業計画(案)承認の件  
 審議-9 公益社団法人長野青年会議所2024年度一般収支予算書(案)承認の件  
 審議-10 公益社団法人長野青年会議所2024年度資金調達及び設備投資の見込み(案)承認の件

### 第13回定例理事会

日時 ▶ 2024年1月10日18:30~20:00

場所 ▶ ホテル国際21 藤の間

- 議案 ▶ 第1号議案 11月例会事業報告・決算承認の件  
 第2号議案 12月例会事業報告・決算承認の件  
 第3号議案 公益社団法人長野青年会議所2023年度年間広報活動報告・決算承認の件  
 第4号議案 新入会員募集事業報告・決算承認の件  
 第5号議案 JCI世界会議チューリッヒ大会ジャパンナイトブース出展報告・決算承認の件  
 第6号議案 70周年記念ロゴマーク制作事業報告・決算承認の件  
 第7号議案 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念誌作成及び配布報告・決算承認の件  
 第8号議案 2023年度一般会計収支決算書(案)承認の件  
 第9号議案 2023年度事業報告(案)の件



総務財務委員会  
委員長 長田 雄介

## 集まった数＝思い出の数

定例理事会、臨時理事会、総会の準備や当日の運営のために、委員会メンバーにはかなりの頻度で集まっていただきました。また、当委員会の担当事業のひとつとして財務運営会議がありますが、若林理事が会計担当として月に2回会議を開き、公正な予算・会計を管理してくれました。表舞台に立つことのない裏方として、当委員会のメンバーが黙々と準備したことが円滑な組織運営に繋がったと思います。

「公益社団法人」をテーマとして担当した3月例会では、日常生活では触れる機会のない法律や制度について調査・研究を行い、どのようにすればメンバー全員にわかりやすく伝えられるか、飽きられることなく最後まで聞いてもらえるか、委員会メンバー全員で意見を出し合い、工夫を凝らしました。今後法人格をどのようにするかは、遊休財産をどうするかという課題があることから、時のメンバーが話し合っってしっかりと決断しなければならないことだと思いますが、その時のために議論の土壌を形成することができたと思います。

褒賞申請については、運動の方向性を確かめる機会として、過去の事業を客観的に振り返ったことで、今後の事業を計画するにあたって参考になりました。

メンバーの集まる度に酒を酌み交わし、JC活動に関する話だけでなく、色々な話を沢山しました。沢山の思い出をありがとうございました。末筆となりますが、正副理事長会議の皆様、委員会メンバーの皆様、そして当委員会の活動にご協力をいただきましたすべての皆様に感謝申し上げます、委員長報告とさせていただきます。1年間本当にありがとうございました。



広報渉外委員会  
委員長 横川 歩

## 挑戦

当委員会では、長野青年会議所の広報活動及び出向者支援活動を担当してまいりました。

本年度の広報活動では、特に「フォロワー10,000人計画」などを立てInstagramに力を入れた広報を展開してまいりました。結果としては目標人数に達しませんが、フォロワー数を2倍以上に増やすことができたことで、これまで当会議所の情報が届いていなかった層や世代にまで当会議所の運動を広く認知してもらえたかと思えます。

また、本年度は、各委員会に広報担当者を設けさせていただきながら、全メンバー参加型の積極的な情報発信を推奨してまいりました。その結果、各委員会メンバーがそれぞれの事業にかかる想いを対外に強く発信する事ができました。

そして、出向者支援活動ですが、私自身一度も出向を経験したことがなく、出向に関する知識がない状態でスタートを切りました。その分優秀な委員会スタッフやメンバーに恵まれ、時には大いに任せきりになってしまった部分もありましたが、委員会一丸となって何とか一年間やり抜くことができました。スタッフ、メンバーの皆さん本当に助かりました！

また、出向者の皆さまにおかれましては、一年間の出向活動、誠にありがとうございました。

私自身、広報活動と出向者支援活動というこれまで携わってこなかった分野にとことん「挑戦」をした一年となりましたが、とても貴重な経験をさせていただきました。

最後になりますが、本年度の広報活動や出向者支援活動に携わっていただきました皆様、本当にありがとうございました。



例会委員会  
委員長 中村 律王

## THANK YOU !!

昨年の7月に唐木沢副理事長から連絡を頂いた時から、例会について自分なりに一年の間、考え続けてきました。当初、例会委員会の委員長として打診があった時に迷いはありませんでした。しかし、自分の中だけの「例会」という固定化した概念しか持っておらずにいませんでした。委員長として長野青年会議所の「例会」を改めて考えると、本当にこれで良いのかと疑念を持ち、その答えを探すことから始めました。過去10年の歴代例会委員長へ話を聞きに行き、例会の歴史、仕来り、暗黙の所作や考え方を教えてもらい、多くのことを学ぶ中で自分が描く例会の基礎となる想いを確かめました。「例会」とは何か。それは、青年会議所運動の根幹であり基盤です。そのことに改めて気づかされ実感し、1月例会を創り始めました。特に3人の副委員長には「例会」について、考えや想いを伝え、それぞれに理解し学んでくれました。

委員会メンバーには例会構築段階から辛く無理な依頼を多くし大変な思いをさせてしまいましたが、全員で取り組み1月例会を大成功で終えることが出来たことが一番嬉しく思いました。何より最高のスタートを切れたことに感謝しかありません。毎月の例会では、2カ月前から担当委員会へ取材に行き例会構築に密着することで、各委員会の始動を早め、「例会」に触れる機会を多く創出してきました。特にセレモニーの所作については、注力した指導を行い「例会」の厳格な位置づけを心掛けました。一年間の運動を通して、委員会メンバーだけで考え行動を起こし「例会」が強いワードと認識されるまで押し上げていただきました。例会が楽しく学び多い機会であることを祈念するとともに、一年間携わっていただいたすべての方へ感謝申し上げます委員長報告とさせていただきます。

最高に青睞することのできた一年でした！ thank you!



地域創生委員会  
委員長 宮尾 龍介

## ありがとう！

今年度地域創生委員会の委員長を務めさせていただきました宮尾です。様々な方に支えられ2023年度を乗り越えることができました。

当初は国際交流委員会の無任所理事の予定でしたが、とある方に飲み会に誘われて行ったところ、正副理事長会議の皆様に関わり気付いたら地域創生委員会の委員長になっていました。

当委員会は、事業系の委員会としてまちの活性化のため1年間運動を推進してきましたが、特に10月に開催された10月公開例会『ながのハロウィンフェスティバル』においては、計画段階から当日までの構築において委員会メンバーだけでなく、学生の皆さまや企業の皆様、数多くの方々のご協力があり大成功に終えることができました。

また、当委員会が事務局となっていた、RINX-4が発足より28年の幕を下ろすこととなりました。RINX-4全体事業を通じて、他のLOMとの関わることの楽しさを知ることができました。

結びとなりますが、加藤理事長率いるキャビネットの皆様には大変ご迷惑をおかけしました。ですが、2度目の委員長という貴重な体験をさせて頂き、誠にありがとうございました。その中でも担当室長である、田上室長には苦労ばかり掛けてしまい、感謝しかありません。出来ない私を支えていただいた、スタッフの今井VC、武内VC、鈴木VCありがとうございました。また、スタッフではなくても仕切って頂きました広三さん、復活してからいろいろと動いて頂きました鶴野さん、地域創生委員会のメンバーの皆様、1年間本当にありがとうございました。



灯明委員会  
委員長 町田 孝幸

## 仲間と創るまつりの楽しさ

不安と覚悟の中、灯明委員会の委員長を仰せつかりましたが、この原稿を書いている今、委員長生活が終わってしまうと少しばかり寂しさが残ります。その寂しさは何かと考えた時、今年の灯明委員会のメンバーと一緒に活動できる時間が終わってしまうからです。灯明まつりは2月のまつりであるため、前年の10月から事務局運営が始まります。今年度に跨る大変な時期からのスタートですが、一方で約1年3ヶ月の間委員会メンバーと活動できるため、単年度制のJCの中では一番委員会メンバーと長く活動できる委員会です。そんな最高の仲間と有志メンバーと節目の第二十回長野灯明まつりを運営し、毎週の事務局会議や徹夜での準備、期間中の雪掻き等々大変なことばかりでしたが、多くの来場者が賑わう光景を目の当たりにした時に、感動とまつりの楽しさを実感しました。

灯明まつりは全体事業として委員会シフトとして全メンバーで運営しますが、灯明まつりの課題や運営方法などは灯明委員会メンバーにしか分からない部分が多くあり、11月例会で灯明まつりの歴史、第二十一回の概要、今後のまつりの在り方を発信させていただきました。事業検証からも前向きなコメントを多くいただき、メンバーの皆様に灯明まつりをより知ってもらい考える機会を提供できました。

この素晴らしいまつりが継続的かつ地域にとって必要不可欠なまつり、もっともっと発展し日本の冬を代表するまつりとなるよう願っております。

結びとなりますが、正副理事長、同期委員長の皆さま、第二十回事務局メンバー、そして常に支えていただきました田上VP、小布施VC、峯村VC、宵野間VC、1年間誰一人欠けることなく付いてきてくれた委員会メンバーに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



希望育成委員会  
委員長 宮澤 遥

## 未来を担うこのまちの宝のために

「子ども食堂」殆どの方がよく見聞きするフレーズであると思いますが、どんな人が訪ねて良い所なのか、何をしている所なのかを詳細に説明できる人はそう多くいないのではないのでしょうか。私自身も当初は子ども食堂についての知識は一切なく、多くの関係団体にヒアリングをする中で理解を深めていったことを覚えています。そして、殆どの子ども食堂が共通する課題を抱えていることを知り、課題改善のモデルケースの構築と子ども食堂の支援者増加を目的とした「子どもの居場所づくり応援プロジェクト～地域で広げる想いでつなぐ～」を実施しました。

本プロジェクトで実施した全ての事業は、各種マスメディアにて取り上げられ、多くの方に子どもの育成環境の現状を発信することができました。とりわけ、プロジェクトの集大成として著名人をお迎えして開催をした「子どもの居場所づくりフォーラム」では約300名の来場者にダイレクトに子どもの居場所支援の必要性を伝えることができ、このまちの青少年育成の発展に微力ながら貢献できたのではないかと感じております。

最後に、本当に何ひとつとして楽な事業はありませんでした。しかしながら、担当室長である村田室長、委員会メンバーをはじめとしますの皆さまの力のおかげで多くの方から共感をいただく事業を行うことができました。この最高のメンバーが誰1人として欠けていれば同じような結果にならなかったと思います。1年間、私の我儘にお付き合いいただき、本当にありがとうございました。改めまして、2023年度、関わった全ての方に心からの感謝を申し上げ、委員長報告とさせていただきます。



国際交流委員会  
委員長 倉島 盛朗

## 再開・再会

今年度、国際交流委員会では「青瞬～想いを繋ぎ未来を仕掛ける～」のスローガンのもと、事業構築を行ってまいりました。近年では新型コロナウイルス感染症の影響により、本来の国際交流委員会としての姉妹・友好JCとの対面交流が叶いませんでしたが今年度では4年ぶりに各LOMとの対面交流が叶い、民間外交の担い手として、同じ志を持つ海外メンバーとの交流事業をおこないました。そして篤い友情を育み、姉妹・友好JCとの深い絆を再確認するとともに、国際的な視野や感覚を高め、国籍・言語・文化・性別の壁を越えた民間外交を行ったことで、恒久的な平和に寄与できる国際交流を学び、理解を深める機会となりました。海外事業においてアイドルミッションも4年振りの開催となり本年で31回目を迎えました。世界でグローバル化が進む中、国籍を超えた交流を我々大人だけが行うのではなく、将来を担う子どもたちが海外との交流を通じて国際感覚を身に付けるとともに、友情を育むことができました。

また、去年から継続事業ではありますが国際化活性化事業「YOKOSO」においても最終的には長野駅、善光寺周辺を中心に60店舗もの皆様に協力いただくことができ、食の部分でしか対応しておりませんが、今回の事業移管を行うことにより、幅広い視点でこのYOKOSOが国際都市「NAGANO」の発展に寄与できたら幸いです。最後になりますが、こんな私ですが1年間支えてくださった正副理事長会議の皆様、委員会スタッフはじめメンバー、準会員、事業に携わって頂いたすべてのみなさまに御礼申し上げます。



会員拡大委員会  
委員長 小林 徹哉

## 会員拡大委員長を経験して

2023年度は加藤理事長の『青瞬』～想いをつなぎ未来を仕掛ける～スローガンのもと力強く運動を推進してまいりました。青い瞬きはまさに40歳までの長いようで短い瞬間のように感じられ会員拡大と通じると感じています。我々が普通に生きていく中では経験できることには限りがあり、多種多様な経験を積み重ねてもらえる場は少ないように感じます。青年会議所の運動は人が人を育て、普段接することのない経験を体感することで新たな成長の機会を与えてくれました。委員長の1年6カ月間は考察、企画、実践、頼み方や頼まれ方、伝え方、文章の構成、人前でのスピーチ、振る舞いなど言い切れないほどの経験を積み重ねていただきました。実際には多くの方に引っ張りあげてもらっていたこと、委員会メンバーの支えのおかげで達成できた事業など、周りに支えられたからこそやり遂げることができた、成長と感謝の一年となりました。今でも心に残っている2月例会では歴代会頭である鎌田先輩に越えさせていただいた時の【JCやって成功しよう】という言葉です。会員を拡大していく中でよく聞く言葉が「誘われたから」と、ほとんどの入会者から聞きますが、さらに深く話を聞いていくと、「人脈を作りたい」「仕事を拡大したい」など人それぞれ千差万別の答えが返ってきます。なぜ時間をかけてお金をかけて活動を行うのか、自身の根幹をしっかり持つことで運動への意欲や活動への参加率もおのずと上がり経験を自身の生き方に活かせることができます。JCやって成功するためにもあらためて自身の根幹を見つめる場となりました。最後に共に運動を推進してくれたメンバーを始め拡大運動を推進していただいた全会員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



びんずる委員会  
委員長 竹内 友哉

## びんずる委員長報告

2013年に入会し2023年が私のラストイヤーとなります。10年間避け続けていた理事について、2022年の6月に理事長直々にご依頼頂きまして、最後という事もあり覚悟を決めてお受けいたしました。卒業生として今までの経験をメンバーに還元することを一番意識しつつ、まつり委員会として細かい事にはあまりうさく言わず、とにかく楽しい委員会となるように意識したつもりです。と偉そうな事を書きましたが、終わってみれば委員会メンバー、22後期入会8名23前期入会22名の皆さま、そして有志や先輩方など本当に沢山の人の助けを頂いた1年間でした。多くの人と一つのゴールに向かって創りあげることができるのがびんずる委員会としての醍醐味ですし、青年会議所の魅力でもあると改めて感じました。

第53回長野びんずるは、新型コロナが5類に移行された後の一発目のびんずるで、久しぶりの制限のない夏祭りとなりました。参加連は約4000人と昨年の約5倍、また燈送り衆22名が参加しました。事務局としては、大きな事故やトラブルもなく、大成功となりました。本当にありがとうございました。準備段階では、社会の考え方の変化もある中で、先輩方をはじめ様々な関係者の方から色々なご意見を頂きました。伝統ある祭りの難しさを感じつつも今までの方法を改良した部分も多々あり、今の時代に合ったベストな内容であったと思います。今年4年ぶりに通常規模開催が出来たことで、長野青年会議所としてもそのノウハウや経験を蓄積できたことはとても大きなことだと思います。10年間それぞれの思い出がありますがラストの今年が一番充実した1年になりました。皆さま、1年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

「Revival」～いま再びはじまる長野の熱い夏～



70周年レガシー委員会  
委員長 有吉 隆

## レガシーの罨

まさか、2度目の委員長をやるとは思わなかった22年の夏。そして大変ありがたいことに2回目の周年委員長をやらせていただくことになりました。年間総括ということで考えてみると、やりがいに溢れた委員会だったなということに尽きると思います。配属されたメンバーは卒業生を除けば若い未来のあるメンバーばかり。私に課せられたミッションは、70周年を大成功させること、若いメンバーに楽しい機会を提供すること、そして卒業生をメンバー全員で送り出すことかなと、受けさせていただいたときから考えていました。蓋をあければ、メンバーのみんなが優秀で優秀で。何も心配なく周年の準備が進み、そしてこれまでにない規模と反響の講演会を、様々ありながらも進め、あっという間に8月19日が終わったというのが私の感想です。私自身もわっしょいなんて言っている暇がないくらいの濃密で貴重な経験をさせていただきました。任命いただいた加藤理事長本当にありがとうございました。後悔は一ミリもありません。メンバーの皆様はTHE“JC”を体験出来ましたでしょうか。周年準備というかけがえのない経験の中で出来た様々なエピソードを酒の肴に10年後も、その先も語りたいなと思っています。翠VC、あなたがいないければ私は何も出来ませんでした。ありがとう。努VC、たまに気が利いて、たまにエンジンがかかる努ありがとう。和田ちゃん、和田ちゃんがいなければこの委員会は語れないよ。様々な伝説をありがとう！この3VCと委員会メンバーに支えられ2回目の委員長を楽しく全うできました。みんな、また会う日まで！



70周年ビジョン委員会  
委員長 磯 宏典

## 新たなビジョン

公益社団法人長野青年会議所が熱き勇気と情熱を持って歩んできた70年間にもわたる長い歴史を振り返りながら、未来への新たなビジョンを描く喜びに満ちた1年間を過ごさせていただきました。この時間は、70周年を迎えるタイミングに関わることができた私たちだけの瞬間でした。

今回、70周年未来ビジョンを策定するにあたりましては、全メンバーの力を借りシニアクラブ会員訪問を実施し、現在の青年会議所に対してのイメージや、今後どのような青年会議所になってほしいかなど様々な意見をシニア会員から聴取りを実施いたしました。また、現役メンバー間では、「居酒屋の青瞬」を実施し、まちとLOMの今後の未来について、熱く語り合いました。

このようにしていただいたデータをもとに、今後の長野青年会議所はどのような組織づくりを行っていき、どのようにまちづくりに関わっていくべきなのかを考え、70周年未来ビジョン「GAME CHANGE」～常識を超え、未来の地平線を鮮やかに切り拓く～を策定することができました。

今後は、このビジョンに基づき、長野青年会議所の結束をより一層強化し、メンバー間の連帯感と他団体との協力関係を深めていくことが不可欠です。70年という節目を迎えた今だからこそ、歴史と先達が築き上げてくれた組織の強みを最大限に発揮し、新たな時代に向けて一丸となって挑戦していく覚悟を示すことができました。

最後になりますが、2023年度の全員で作り上げた「GAME CHANGE」～常識を超え、未来の地平線を鮮やかに切り拓く～と共に2033年度まで歩み続け、長野青年会議所がより輝かしい未来を築けるよう、共に努めてまいります。



広報渉外委員会  
理事 勝野 照章

## コンプライアンス強化の取り組み

本年は二週に一度のペースで財務・コンプライアンス会議を開催し、各事業の公益性の有無、法令上の問題点のチェック、契約書や規則様式書類の確認を行いました。

令和という時代に入り、SNSなどの情報発信ツールが急速に発展し、効果的な広報が可能になった反面、対外から組織運営などに対する評価をこれまで以上に受けるようになりました。結果だけでなくその手続にも多くの人の目が向けられるようになり、組織の独自ルールという考えも改めなければならなくなりました。

コンプライアンスチェックは事業実行の有益性判断とは異なる目線で、そもそも事業実施が可能か否か、可能とするためにどのような手続や書類を準備しなければいけないかということを専門的な立場から指摘します。大変でしたがとてもやりがいのある仕事で、責任感をもって1年間対応することができました。



希望育成委員会  
理事 日下部好治

## 理事って何するの？

理事会の構成メンバーであり、議決権を有する。最初の理事は2019年のスポーツのちから共生委員長、理事の責務を理解しないで始まった理事会は緊張と取り繕うことに必死でした。当然、建設的な意見なんてできるはずもない。各種大会・事業そして委員会メンバーを纏めることに四苦八苦。多くのメンバーに助けられました。次の機会は2022年の副理事長、毎日が議案とJC活動との格闘、こんなに議案に向き合っようやく理事会を理解しました。無任所理事はある意味長野JCへの還元と考えて受けました。どうせやるなら「かつこいい理事でありたい」「偉そうにしない理事でありたい」「できる限り事業に参加する理事でありたい」「俺がいる委員会は笑顔溢れる委員会にしたい」と思い少し背伸びして活動してきました。それが、出来てたかどうかは、また教えてください。出来てなければそっとしておいてください。

もし皆様にも機会があれば理事になってほしい。ちょっと背伸びをした方がJC運動に参加した意義に自分が納得できる。良き経験をありがとうございました。



70周年ビジョン委員会  
理事 窪 智敬

## 長野青年会議所野球部について活動報告

70周年ビジョン委員会の理事、窪智敬です。若麻績室長、磯委員長、松本VC、福岡VCをはじめ素晴らしいメンバーの皆様と一緒に活動をありがとうございました。

想いのすべては出向者報告で伝えましたので、この理事報告の場をお借りして、10年振りに全国大会へ出場した長野青年会議所野球部の活動報告をさせていただきます。

2023年度長野青年会議所野球部は、監督の市川亮君、主将に町田孝幸君を中心に15名にて活動しました。本年、平日夜に体育館練習を取り入れ、ナイター練習をしたり、OB戦を企画したりと…。その活動の際には必ず多田了君が居てくれ、支えてくれたこと感謝の限りです。何よりユニホームを刷新し、ブロック大会と北陸信越地区大会では、圧勝をすることができ念願の頂点に立てました。

肝心の全国大会では、雨天の影響もあり岡山青年会議所さんに惜敗しましたが、全国大会でも通用するとわかり、大きな経験をさせていただきました。あつと言う間に文字数がなくなりましたので最後に…。来年度も全国へ向け頑張ります。野球したい人は是非一緒に活動しましょう！！



70周年レガシー委員会  
理事 宮澤 拓也

## 夫婦（めおと）コンビ

本年度は、70周年レガシー委員会にて無任所理事を務めさせていただきました。もっとも、理事らしいことは何もしておらず、かのスーパー有吉くんこと有吉委員長のもと、その他のメンバーとともに70周年記念事業に向けた準備に取り組み駆け抜けた1年間でした。

本委員会には準会員を含め個性溢れるメンバーが揃っておりましたが、全体を俯瞰してドンと構えて適確に支持を出すまさにリーダーといった有吉委員長と、根気よくせかせかと働き続けマイペースな清水VCと和田VCの世話を焼く（ときに叱りつける）（母親のような）塚田VCのコンビの魅力に全員が魅了され、最終的に、ひとつのチームとなって準備をやり遂げ、事業を成功させることができました。

私はこれを傍らで微笑ましく傍観していただけといっても（謙遜ではなく本当に）過言ではありませんが、この2人の姿から多くのことを学ぶことができた貴重な、そして楽しい1年間となりました！



総務財務委員会  
理事 若林 裕士

## 議案の見方を学んだ味方

会計担当理事としてご指名いただき、なんとか1年を終える運びとなりました。22年に日本青年会議所の財政審査会議に出向させていただいた経験を私なりに活かすことができたかなと思っております。

入会歴の短い私にとってわからないことが多く、そんな時は金丸直前と白土歴代、時には勝野規則担当理事にも助けていただきました。そして我らが増子専務にも、私のレベルの低い質問や遅い仕事にも優しく寄り添っていただき大変お世話になりました。この場を借りて、サポートいただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。

私から未来の委員長にお伝えしたいこと、それは不足や懸念点を指摘し修正を求めるばかりに、まるで敵のように思われるかもしれませんが、財コ理事はより良い事業にすべく一緒に構築する味方であるということです。

最後に、総務財務委員会の理事としてはあまり理事らしいことができなかったかなと心苦しく思いますが、楽しく1年を過ごせたのは長田委員長をはじめとする委員会メンバーのおかげです。ありがとうございました！

**1月例会の企画・運営**

■ 1月例会「全力快走」～走りだそう仲間と共に～

**【実施組織】**

例会委員会

**【実施日時】**

2023年1月14日(土)18:00～21:00

**【実施場所・会場】**

ホテル国際21 「千歳」  
〒380-0838 長野市大字南長野県町576

<http://www.kokusai21.jp>

**【事業目的（対外）】**

無

**【事業目的（対内）】**

組織の団結力を高め、青年会議所運動へ積極的に参加する意欲を高めることを目的とします。

**【実施プログラム】**

- 1) 2022年度後期準会員の紹介
- 2) 2023年度正副理事長、専務理事、室長、理事の紹介
- 3) 2022年度卒業生との交流及び卒業証書授与
- 4) 2023年度「例会のはじめ」説明
- 5) 2023年度各委員会の事業紹介
- 6) 飲食を伴う会員同士の交流

**【成果】**

2023年度に取り組む事業の紹介等を通じて、会員に一年間の目指すべき方向性を理解していただくことができ、また、会員同士の交流を通じて各委員会内の結束を高めるとともに、青年会議所運動を推進していくための意欲を高めていただくことができました。



**出向者の支援（京都会議）**

**出向者の情報還元**

**各種会議・大会・周年事業に参加するメンバーの支援**

■ 2023年度京都会議 LOMナイト ～新たな挑戦～

**【実施組織】**

広報渉外委員会

**【実施日時】**

・京都会議 2023年1月19日(木)～22日(日)

・LOMナイト

2023年1月21日(土)18:30～20:20

**【実施場所・会場】**

・京都会議 国立京都国際会館  
京都府京都市左京区岩倉大鷲町442番地  
電話 075-705-1234  
<http://www.icckyo.or.jp>  
・LOMナイト 旅館平新  
京都府京都市中京区蛸薬師通高倉西入  
電話 075-221-0121  
<http://www.hirashin.co.jp/>

**【事業目的（対外）】**

無

**【事業目的（対内）】**

青年会議所運動に対して新たな気付きや学びを得るとともに、出向者とメンバーの相互理解を深めることで、青年会議所運動に対する意欲をさらに高めることを目的とします。

**【実施プログラム】**

- ・京都会議への参加支援
- ・LOMナイトの企画・運営

**【成果】**

会員に対する京都会議への参加支援を行い、大会式典に参加してもらうことで日本青年会議所の基本理念や基本方針を確認してもらうことができました。また、各会議体・委員会のセミナーやフォーラムへの参加を通して出向者の今後の活動を把握してもらうことができました。なお、LOMナイトにつきましては、開始時刻の直前に新型コロナウイルス陽性者が判明し、急遽プログラムを変更せざるを得ませんでした。広報渉外委員会が臨機応変に対応できたことで参加メンバーに安心して懇親を深めていただく場を提供することができました。



**2月例会の企画・運営**

■2月例会「魅力拡大」～なんでJCやってんの？～

**【実施組織】**

会員拡大委員会

**【実施日時】**

2023年2月16日(木)18:30～21:00

**【実施場所・会場】**

ホテル国際21 2階 芙蓉の間

**【事業目的（対外）】**

無

**【事業目的（対内）】**

メンバー一人ひとりが青年会議所運動の魅力を理解することを目的とします。

**【実施プログラム】**

- 1) 第1部 「長野青年会議所の魅力とは」
- 2) 第2部 「鎌田長明先輩の講演」「グループディスカッション」

**【成果】**

日本青年会議所第68代会頭の鎌田長明先輩をお招きし、青年会議所に入会した動機や自身の成長や学びにつながる団体であることの講演とグループディスカッションを行っていただくことで、青年会議所の魅力を理解し会員一人ひとりが青年会議所運動に改めて能動的に参画する機運を高めことができました。



**第二十回長野灯明まつり実行委員会事務局運営**

■第二十回長野灯明まつり 平和への想い～想いの継承～

**【実施組織】**

灯明委員会

**【実施日時】**

■第二十回長野灯明まつり開催時間

2023年2月9日(木)17時30分～21時00分

2023年2月10日(金)～12日(日)18時00分～21時00分

(最終日20時00分)

**【実施場所・会場】**

善光寺周辺及び城山公園、近隣市町村

**【事業目的（対外）】**

長野灯明まつりを通して多くの人々に平和への想いを届けるとともに、長野灯明まつりを楽しみにしている市民の期待に応えることを目的とします。

**【事業目的（対内）】**

資金的、人的な課題を解決し、永続できるまつり運営体制を構築することで、長野灯明まつりの伝統、想いをメンバー間で継承し続けるとともに、まつり開催を通じた青年会議所運動への意識昂揚を目的とします。

**【実施プログラム】**

2月9日 灯り絵設置

オープニングセレモニー

ライトアップ点灯、警備開始

ライトアップ消灯、片付け

2月10日 ライトアップ点灯、警備開始

ライトアップ消灯、片付け

2月11日 スカイランタン打ち上げ準備、スカイランタン打ち上げ

ライトアップ点灯、警備開始

ライトアップ消灯、片付け

2月12日 ライトアップ点灯、警備開始

ライトアップ消灯、灯り絵撤去

**【成果】**

第二十回の節目のまつりを成功に導くため、3年ぶりの協賛金の実施やクラウドファンディングでの資金調達による資金的な課題の解決、準備の効率化や外部団体の参画を図り、計画通り事業を実施することができました。「平和」「平穏」をテーマに開催し続けてきたまつりが二十回の節目を迎えるタイミングで世界では紛争が起き、今まで以上に「平和への祈り」に関心が高まっている中、数多くのメディアにも発信され、推定13万5000人の来場者にお越しいただきました。



### 3月例会の企画・運営

■ 3月例会「Going Concern」～未来のために、いまを知る～

【実施組織】

総務財務委員会

【実施日時】

2023年3月16日(木)18:30～21:00

【実施場所・会場】

ホテル国際21 千歳の間

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

全メンバーが長野青年会議所の法人格の在り方について学びを深めることを目的とします。

【実施プログラム】

第1部 「公益社団法人って何？」

第2部 「現状と課題」

第3部 「未来のために」

【成果】

全メンバーが法人格に関する学びを深めることによって、長野青年会議所の現状及び課題について把握することができました。



### 台中國際青年商會との交流事業

■ 台中國際青年商會公式訪問

【実施組織】

国際交流委員会

【実施日時】

2023年3月17日～3月19日

【実施場所・会場】

台湾国内

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

JCI台中へ訪問し交流を深めることで、諸先輩方が永きに亘り築き上げてこられた両LOMの友好関係を継続し発展させることを目的とします。

【実施プログラム】

3月17日(金)(1日目)

6:02 長野駅出発

8:30 東京国際空港(羽田) 搭乗手続

10:35 東京国際空港(羽田) 出発

13:30 台北国際空港(松山) 到着

14:30 台北国際空港(松山) 出発

15:00 ホテルチェックイン

台北ホテル泊

コスモスホテル台北

台北市中正区忠孝西路一段43号

3月18日(土)(2日目)

9:30 ホテルロビー集合

14:00 台中へ

16:00 ホテルチェックイン

16:30 懇談会 会場受付

17:00 懇談会 開会

17:30 懇談会 閉会

17:35 4月例会用インタビュー開始

(インタビューは国際交流委員会で行います。)

18:30 4月例会用インタビュー 終了

18:35 懇親会 開会

20:30 懇親会 閉会

台中ホテル泊 台中 全国大飯店

台中市西区館前路57号

3月19日(日)(3日目)

9:00 ホテルロビー集合

14:00 台北国際空港(松山) 到着 搭乗手続

16:05 台北国際空港(松山) 到着 出発

19:55 東京国際空港(羽田) 到着

23:52 長野駅到着

【成果】

新型コロナウイルス感染症の影響によって、1969年に友好締結を結び54年という長きに亘り友情を育んできた対面交流が3年間途絶えてしまいました。本年度は4年ぶりの対面交流を行ったことで、歴史を共に刻んできたJCI台中メンバーに対して、感謝と敬意を表すとともに、多くのJCI長野メンバーで訪問したことにより、両LOMの絆をさらに深めてまいりました。また、懇親会では篤い友情を育み、友好JCとの深い絆を再確認するとともに、国際的な視野や感覚を高め、国籍・言語・文化・性別の壁を越えた民間外交を行ったことで、恒久的な平和に寄与できる国際交流を学び理解を深める機会となりました。



**4月例会の企画・運営**

■ 4月例会「INTERNATIONAL EXCHANGE」

【実施組織】

国際交流委員会

【実施日時】

2023年4月20日(木)18:30~20:40

【実施場所・会場】

ホテル国際21 芙蓉の間

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

民間外交の持つ力を理解し、国際的な視野を広げることを目的とします。

**【実施プログラム】**

- 1) 第1部 「近年の世界情勢と民間外交」
- 2) 第2部 「INTERNATIONAL EXCHANGE」
- 3) 第3部 「我々の国際交流」

**【成果】**

本年度は4年ぶりの台中公式訪問事業が実施されたことを踏まえ、同じ志をもつ海外LOMとの交流を通じて、体験したことや感じたこと、そして海外のLOMメンバーのリアルな声を発信したいと考え、4月例会の構築を行いました。民間外交には様々な種類がありますが、我々が長きに亘り行ってきた交流事業、すなわち民間外交の歴史を遡る中で学び感じたことは、民間外交には様々な偏見を取り扱う力があるということです。本来であれば交流事業の経験は、実際に台中訪問しているメンバーしか経験できません。そこで、同じ志をもつ仲間の考え方や取り組んでいる事業をJCI台中メンバーのリアルな声として例会内でお伝えさせていただきました。私自身も実際にJCI台中メンバーと直接交流した中で、言葉は通じずともお酒を酌み交わすことにより、同じ志を持つJCI台中メンバーのいる台湾とは決して争いを起こしてはならない、そして災害などで困ったことがあった場合には助けたいという思いになりました。



**メンバー向けのセミナー  
(居酒屋の青春)**

■ 居酒屋の青嶽～未来を語り想像しよう！～

【実施組織】

70周年ビジョン委員会

【実施日時】

2023年4月14日(金)18:30~21:00

【実施場所・会場】

旬宴酒肴 幸先

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

無

**【実施プログラム】**

- 1) テーマ①「まちビジョンについて」
- 2) テーマ②「LOMビジョンについて」
- 3) テーマ③「今後目指すべき組織について」

**【成果】**

居酒屋の青春を開催することで、委員会・年齢・入会歴の壁を越え、メンバーが親睦を深めながらまちやLOMの未来について考えるきっかけを創出しました。メンバーそれぞれが新しいスタートを切ることに興味を持ち、まちづくりとひとづくりに対して方向性を考えることで、より明確な未来ビジョンの構築へとつなげていくことが期待できます。



### JCI-ASPAC・世界会議へのブース出展の企画・運営

■JCI-ASPACジャカルタ大会ジャパンナイトブース出展

#### 【実施組織】

国際交流委員会

#### 【実施日時】

・JCI-ASPACジャカルタ大会  
2023年5月10日(水)～2023年5月13日(土)

・ジャパンナイト

2023年5月12日(金)現地時間19:00～21:00

#### 【実施場所・会場】

名称：The Sultan Hotel & Residence Jakarta  
ルーム名：JALAN PLAZA TIMUR

#### 【事業目的（対外）】

アジア太平洋地域のJCメンバーに対して、長野市のまちの魅力を発信することを目的とします。

#### 【事業目的（対内）】

アジア太平洋地域のJCメンバーと交流を行うことで、メンバー一人ひとりが国際交流事業に対する活動意欲を高めることを目的とします。

#### 【実施プログラム】

- 1) JCI-ASPACジャカルタ大会への参画
- 2) JCI-ASPACジャカルタ大会ジャパンナイトにおける長野市PRブースの出展

#### 【成果】

2019年以降の現地開催となったJCI-ASPACジャカルタ大会のジャパンナイトブース出展では、4年ぶりの海外でのブース出展であることに加え、言葉や環境が違う中での運営ということもあり、日本でのブース出展とは違った難しさを感じるとともに、日本での事前調査と事業構築をしっかりと行い、準備を万全に当日を迎えることが重要だと感じました。また、私自身初めてJCI-ASPACに現地参加しましたが、姉妹・友好JC以外の海外LOMメンバーと直接交流を行うとともに、現地の文化等にも直接触れることで、多文化理解を深める貴重な経験ができました。JCI-ASPAC等の海外事業への参加は、国際交流委員会や正副理事長会議だけが参加するものではなく、全メンバーを参加対象としていますので、このような貴重な機会をメンバーの皆様にも活かしていただければと思います。



### 5月例会の企画・運営

■5月例会「Be Better!」～日本一広報が強いLOMを目指して～

#### 【実施組織】

広報渉外委員会

#### 【実施日時】

2022年5月18日(木)18:30～20:41

#### 【実施場所・会場】

ホテル国際21 千歳の間  
〒380-0838 長野県長野市県町576

<https://www.kokusai21.jp/>

#### 【事業目的（対外）】

無

#### 【事業目的（対内）】

情報発信の必要性とその効果的な方法に関する学びを深め、メンバー一人ひとりの広報に対する意識を高めることを目的とします。

#### 【実施プログラム】

第1部 「確かな情報発信を目指して」

第2部 「徹底分析!～JCがメディアに強くなるには～」(パネルディスカッション)

第3部 「発信力×メディア連携」

#### 【成果】

我々自身による発信とマスメディアによる発信との相乗効果により広報活動を最大化させることが、青年会議所運動にとって大きな推進力になることをメンバーに発信しました。事業検証、例会後のメンバーの感想やInstagramに対するメンバーのリアクションを拝見しますと、本例会における広報に対する意識を高めるという目的は十分に達成されました。



6月例会の企画・運営

■6月例会「祭燃」～最高の夏まつりのために～

【実施組織】

びんずる委員会

【実施日時】

2023年6月16日(金)18:00～21:00

【実施場所・会場】

ホテル国際21 3階 千歳の間

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

長野びんずるまつりの力を改めて全メンバーで共有し、第53回長野びんずるの成功に向けまつり参画への意識と結束を高めることを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 準会員紹介
- 2) 第1部 「長野びんずるの歴史とまつりの力」
- 3) 第2部 「アトラクション まぐろ解体ショー」
- 4) 第3部 「第53回長野びんずるの概要・部会・委員会シフト発表」

【成果】

6月例会では、準会員が初参加となる例会であることから、委員会同士やメンバー同士の懇親と結束が高められる内容を意識したプログラム構成としました。さらにまつりの決起ということで、会場の装飾やドレスコード、マグロの解体ショーなど非日常感を演出し、決起の雰囲気づくりとして工夫した設えとしました。実施した各プログラムにおいて、びんずるの歴史やびんずるまつりの持つ力、今年度のまつりの特徴が理解されるとともに、アトラクションを通じて、準会員を含めたメンバー同士の結束と意識を高めることができました。



7月例会への企画・運営

■7月例会「DO THE NEXT」～ただひた向きに輝かしい未来へ～

【実施組織】

70周年ビジョン委員会

【実施日時】

2023年7月20日(木)18:30～20:35

【実施場所・会場】

長野市芸術館アクトスペース

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

全メンバーが未来ビジョンの本質と必要性を学ぶとともに、新たな未来ビジョンの理解を深め、運動を推進する機運を高めることを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 第1部 「未来ビジョンの歴史を辿る」
- 2) 第2部 「70周年未来ビジョン」

【成果】

全メンバーが未来ビジョンを共有し、新たな未来ビジョンの理解を深め、運動を推進する機運を高めることができました。



**出向者の支援(サマーコンファレンス)  
出向者の情報還元  
各種会議・大会・周年事業に参加する  
メンバーの支援**

■2023年度サマーコンファレンス LOMナイト  
～GROWTH NIGHT！～

**【実施組織】**

広報渉外委員会

**【実施日時】**

・サマーコンファレンス2023  
2023年7月22日(土)～2023年7月23日(日)  
・LOMナイト  
2023年7月22日(土)18:15～20:15

**【実施場所・会場】**

・サマーコンファレンス2023  
パシフィコ横浜 ノース・会議センター  
神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1  
電話 045-221-2155  
<https://www.pacifico.co.jp/>  
・LOMナイト  
パシフィコ横浜 会議センター6階  
ベイブリッジカフェテリア  
神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1  
電話 045-221-2155  
<https://www.pacifico.co.jp/guide/conference>

**【事業目的 (対外)】**

無

**【事業目的 (対内)】**

出向者に対して組織を挙げた応援や慰労をするとともに、長野青年会議所全体の今後の運動の推進力を向上させることを目的とします。

**【実施プログラム】**

・サマーコンファレンス2023への参加支援  
・LOMナイトの企画・運営

**【成果】**

本年度のサマーコンファレンスは「GROWTH EXPO」を開催テーマに、参加者に様々な「成長」をもたらすことで、日本に新たな好循環を巻き起こすための運動が発信されました。会員に対するサマーコンファレンスの参加支援を行い、日本青年会議所の運動やその成果を学んでいただいたことで、長野青年会議所の運動に活かすことのできる新たな見識を得ていただくことができました。また、LOMナイトを開催することで、出向者に対して組織を挙げた応援や慰労をするとともに、長野青年会議所全体の今後の運動の推進力を向上させることができました。

**アイドルミッション実施**

■アイドルミッション

**【実施組織】**

国際交流委員会

**【実施日時】**

2023年7月28日(金)～7月30日(日)

**【実施場所・会場】**

大韓民国ソウル市内

**【事業目的 (対外)】**

子どもたちが国際感覚豊かな人材へと成長するために、ホームステイを通じた異文化交流の事業を体験することで、国際社会への興味を高めることを目的とします。

**【事業目的 (対内)】**

姉妹締結を結ぶJCI長野とJCIソウル江北が継続して交流事業を行うことで、両LOMの絆をさらに深めることを目的とします。

**【実施プログラム】**

7月28日(金) ウェルカムパーティー  
7月29日(土) ホストファミリーごとに交流  
7月30日(日) 帰国

**【成果】**

両国青年会議所の子どもたちが、言葉のみではなく文化や習慣等の違いを体験し、感受性の豊かな少年時代から国際感覚を養うことを目的に開催しました。世界でグローバル化が進む中、将来を担う子どもたちが国籍を超えた交流を通じて国際感覚を身に付けるとともに、深い友情を育むことができたことから、長野のまちの将来を担う人材の育成に繋がったと考えます。



### 第53回長野びんずる実行委員会事務局運営

■第53回長野びんずる「Revival」～いま再びはじまる長野の熱い夏～

【実施組織】  
びんずる委員会

【実施日時】  
2023年4月19日(水)長野びんずる実行委員会総会、安全対策会議  
2023年5月8日(月)事務局開き  
2023年5月19日(金)参加連フォーラム  
2023年6月20日(火)事務局説明会  
2023年7月2日(日)第15回表参道夏祭り支援  
2023年7月21日(金)参加連説明会  
2023年7月31日(火)事務局全体りハーサル・決起  
2023年8月5日(土)第53回長野びんずる

【実施場所・会場】  
1) 長野びんずる事務局  
2) 中央通り  
3) 昭和通り  
4) セントラルスクエア  
5) 善光寺  
6) TOIGO広場

【事業目的 (対外)】  
長野のまちに再び熱い夏をもたらし、活気あふれる長野の実現に向けて、新しい時代にふさわしい、真に市民・まちが一体となって楽しめるまつりを創り上げます。そして、まちの未来を担う若者・子供たちが、まつりの伝統を知り、その魅力を感じることで、まちへの郷土愛を育む機会を創り、新たな時代への一歩とします。

【事業目的 (対内)】  
全会員が長野びんずるの歴史やまつりの持つ力を理解し運営に誇りを持ち、まつりの継承と発展に向けて市民と共に一丸となってまつりを創りあげること、長野びんずるがさらなる可能性と希望、期待に満ちたまつりとなることを目的とします。

### 【実施プログラム】

- 1) 8月5日(土)
  - ・表参道イベントパーク
  - ・ウォーターキッズパーク
  - ・トイゴ広場ステージイベント
  - ・フードパーク (セントラルスクエア、昭和通り、上千歳広場)
  - ・商店会主催祭り (南石堂商店街振興組合、協同組合駅前商店会、北石堂町商店街振興組合)
  - ・採火式/法燈行列/分火式
  - ・びんずる踊り/子どもびんずる踊り
  - ・萬燈神輿
- 2) 8月6日(日)
  - ・早朝清掃

### 【成果】

第53回長野びんずるはビヨンドコロナの新しい時代のまつりとして通常規模開催を目指し、参加連や昼間のイベントなどについては新型コロナウイルス感染拡大前の第49回の規模を取り戻すことを目標に企画しました。参加連は約4,000名と最盛期の1/3程度に留まりましたが、昼間のイベントの開催、近隣の商店会とまつりの同日開催など中心市街地全体に活気を生み出すことが出来ました。また、2022年度後期準会員、2023年度前期準会員は長野青年会議所を代表する事業に触れ、達成感を得たことで今後のJC運動に対する士気を高めることができました。



### 炎の法被デザインの改訂

■炎の法被デザインの改訂

【実施組織】  
正副理事長会議

【実施日時】  
2023年8月19日(土)

【実施場所・会場】  
無

【事業目的 (対外)】  
無

【事業目的 (対内)】  
法被の改訂を通じて新たなことに挑戦する機会を創出し、これから未来に向けて運動を推進していく機運を高めることを目的とします。

### 【実施プログラム】

- 1) 炎の法被デザイン改訂に関する意見集約
- 2) 新たな炎の法被デザインのデザイナー選定
- 3) 新たな炎の法被のデザイン決定

### 【成果】

本年、長野青年会議所創立70周年の節目に際して、約30年振りに法被のデザイン改訂を行いました。法被デザイン改訂により、今後長野青年会議所の認知度の向上とともに、メンバー一人ひとりが長野青年会議所の運動に対して誇りと自信を持ち、常に新たなことに挑戦する姿勢と存在感を示す機会になることが期待されます。



### 創立70周年記念式典及び祝賀会の企画・運営

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典及び祝賀会

【実施組織】

70周年レガシー委員会

【実施日時】

2023年8月19日(土)15:00~20:30

【実施場所・会場】

創立70周年記念式典：長野市芸術館メインホール  
創立70周年記念祝賀会：ホテル国際21千歳の間

【事業目的（対外）】

関係者への敬意を示し、感謝の意を表すことを目的とします。

【事業目的（対内）】

70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

【実施プログラム】

1) 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典

- ・物故者法要
- ・オープニングVTR
- ・理事長挨拶
- ・来賓及び来訪JC紹介
- ・来賓挨拶
- ・JCI長野シニアクラブ紹介
- ・JCI長野シニアクラブ会長挨拶
- ・スポンサー JC感謝状贈呈
- ・姉妹JC・友好JC記念品贈呈
- ・ビジョン発表前VTR
- ・70周年未来ビジョン発表

2) 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念祝賀会

- ・オープニングパフォーマンス
- ・理事長挨拶
- ・来賓及び来訪JC紹介
- ・来賓挨拶
- ・祝電披露
- ・鏡開き
- ・鼓和パフォーマンス
- ・海外来賓紹介及び登壇挨拶
- ・松井佑貴氏パフォーマンス
- ・振り返り映像放映
- ・中締め挨拶

【成果】

本年長野青年会議所は70周年を迎え、80周年その先の未来に向けて、長野青年会議所の立ち位置と未来への道筋を高らかに示す機会として70周年記念式典を開催するとともに、日頃お世話になっている関係諸団体、シニアクラブの皆様へ感謝の意をお伝えし、相互関係を確立する機会として70周年記念祝賀会を開催しました。本事業を通して現役メンバーは改めて組織に属することへの誇りを醸成し、関係各所への感謝をおもてなしの心をもって表現することができました。本事業を通じ、改めて10年間隔の式典で我々の軌跡と道筋を示すとともに、5年間隔で祝賀会を開催する必要性を感じる機会となりました。



### 創立70周年記念講演会の企画・運営

■【8月公開例会】公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会

【実施組織】

70周年レガシー委員会

【実施日時】

2023年8月19日(土)13:00~14:30

【実施場所・会場】

創立70周年記念講演会：長野市民芸術館メインホール

【事業目的（対外）】

地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。

【事業目的（対内）】

地域課題の解決に向け新たな知識を得て、地域に根差したまちづくりを推進していく意識を高めることを目的とします。

【実施プログラム】

【8月公開例会】公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会「変わる地方、変える長野」

講師：衆議院議員 菅義偉氏（第99代内閣総理大臣）

経済学者・データ科学者・実業家 成田悠輔氏

- 1) 第1部「地方創生の可能性」
- 2) 第2部「地方の未来と長野市」

【成果】

公益社団法人長野青年会議所創立70周年の記念事業として、講師に菅前内閣総理大臣と成田悠輔氏をお迎えして記念講演会を開催しました。講師と共に地方都市の未来を考え、長野市への助言をいただける内容として構築していたこともあり、参加者募集の段階から想像を大きく上回る反響となりました。本事業は、市民と共に長野市の価値をどのように活かすか考え直す有意義な機会となったと同時に、長野青年会議所の70年の積み重ねがあったからこそお呼び出された講師であり、まちだけでなく国にまでインパクトを与えた事業となりました。本事業を一過性のものとせず、あらゆる面でこの先の青年会議所運動に活かしてまいります。



**ソウル江北青年会議所との交流事業  
／台中国際青年商會との交流事業**

■ソウル江北青年会議所、台中国際青年商會公式訪問合同受入

**【実施組織】**

国際交流委員会

**【実施日時】**

2023年8月18日(金)～8月21日(月)

**【実施場所・会場】**

8月18日(金)

JCIソウル江北空港お出迎え：羽田空港  
JCIソウル江北お出迎え：ホテル国際21  
JCIソウル江北宿泊施設：ホテル国際21  
JCIソウル江北ウェルカムナイト：幸先  
JCIソウル江北懇親会：スナック良

8月19日(土)

JCIソウル江北エクスカーション①：善光寺散策  
JCIソウル江北昼食：宿坊 淵の坊  
JCI台中お出迎え：長野駅  
JCI台中昼食：富寿司 長野駅前店  
JCI台中宿泊施設：ホテル国際21  
創立70周年記念式典  
：長野市芸術館 メインホール  
創立70周年記念祝賀会  
：ホテル国際21 千歳の間  
JCIソウル江北懇親会：モダン  
JCI台中懇親会：ロール

8月20日(日)

JCIソウル江北チェックアウト：ホテル国際21  
JCI台中チェックアウト：ホテル国際21  
JCI台中エクスカーション：善光寺散策  
JCIソウル江北昼食：松栄寿司 東口店  
JCI台中昼食会：宿坊 淵の坊  
JCI台中お見送り：長野駅  
JCIソウル江北エクスカーション②  
：おやきファーム

JCIソウル江北シニア宿泊施設

：山田温泉 藤井荘

JCIソウル江北現役宿泊施設

：戸倉上山田温泉 玉の湯

JCIソウル江北現役懇談会、夕食会

：戸倉上山田温泉 玉の湯

JCIソウル江北現役懇親会

：スナック ange、SOUND BAR d

8月21日(月)

JCIソウル江北シニアチェックアウト

：山田温泉 藤井荘

JCIソウル江北現役チェックアウト

：戸倉上山田温泉 玉の湯

JCIソウル江北昼食：宴席 油や

JCIソウル江北お見送り：長野駅

JCIソウル江北空港お見送り：羽田空港

**【事業目的 (対外)】**

無

**【事業目的 (対内)】**

全メンバーがJCIソウル江北、JCI台中との長きに亘る歴史と絆を再確認するとともに、両LOMメンバーとの交流を深めることを目的とします。

**【実施プログラム】**

1) ソウル江北青年会議所公式訪問受入

2) 台中国際青年商會公式訪問受入

**【成果】**

長野青年会議所は1979年にソウル江北青年会議所と姉妹締結を、1969年に台中国際青年商會と友好締結を結び、先達が長きに亘り交流を重ねてまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響で公式訪問受入事業は本年度まで4年間途絶えておりましたが、今回の受入事業においては姉妹・友好JCの現役メンバー、特友会のシニアメンバーともに多数で長野の地へ訪れていただき、交流を深めたことで、より強固な絆を築くことができました。また、改めて先達が長きに亘り行ってきた交流事業の偉大さを感じるとともに、国際交流事業が今後も途絶えることなく継続していく一助となることができました。



**9月公開例会の企画・運営**

■9月公開例会「子どもの居場所づくりフォーラム」

**【実施組織】**

希望育成委員会

**【実施日時】**

2023年9月16日(土)13:20～16:00

**【実施場所・会場】**

・入会対象者説明会  
ホテル国際21 千歳の間  
長野市県町576

<https://www.kokusai21.jp/>

**【事業目的 (対外)】**

長野市民が子どもの居場所が抱える課題とその必要性を認識し、支援に取り組む意識を高めることを目的とします。

**【事業目的 (対内)】**

子どもの居場所が抱える課題とその必要性を理解し、我々が積極的に子どもの居場所を支援する意識を高めることを目的とします。

**【実施プログラム】**

1) 第1部「子どもの未来を考える」

2) 第2部「パネルディスカッション～はるな愛さん&湯浅誠さんと考える子どもの居場所～」

3) 第3部「持続可能な子どもの居場所づくりのススメ」

**【成果】**

本例会は多くの長野市民に子どもの居場所の現状と課題を知っていただき、子どもの居場所支援に対する意識を高めていただくとともに、子どもの居場所が抱える課題改善の一助となるよう構築してまいりました。参加者アンケート及び事業検証から、子どもの居場所が抱える課題を多くの長野市民に知っていただき、子どもの居場所への支援者増加への一助となったことが証明されました。このことから、事業目的は達成されたと考えます。



**出向者の支援（全国大会）  
出向者の情報還元  
各種会議・大会・周年事業に参加する  
メンバーの支援**

■第72回全国大会東京大会 LOMナイト ～ドリーム ナイト!!～

**【実施組織】**

広報渉外委員会

**【実施日時】**

- ・第72回全国大会東京大会  
2023年10月6日(金)～2023年10月8日(日)
- ・第72回全国大会東京大会「エクスカッション」  
(全国野球大会)  
2023年10月3日(火)～2023年10月4日(水)
- ・LOMナイト  
2023年10月7日(土)20:30～22:20

**【実施場所・会場】**

- ・第72回全国大会東京大会  
東京ビッグサイト（国際会議場）  
東京都江東区有明3-11-1  
<https://www.bigsight.jp/>  
有明GYM-EX  
東京都江東区有明1-10-1  
<https://www.bigsight.jp/organizer/buildings/gym-ex/>
- ・第72回全国大会東京大会「エクスカッション」  
(全国野球大会)  
八王子エルシィ  
東京都八王子市八日町6-7

・LOMナイト ～ドリーム ナイト!!～  
KING OF THE PIRATES  
東京都港区台場1-7-1 アクアシティお台場5F  
電話 03-3599-1225  
<https://www.dd-holdings.jp/shops/kingofthepirates/daiba#/>

**【事業目的（対外）】**

無

**【事業目的（対内）】**

出向者及び卒業予定者の労をねぎらうとともに、大会を主管する東京青年会議所へ誠意と応援する姿勢を示すことを目的とします。

**【実施プログラム】**

- ・第72回全国大会東京への大会登録・参加支援
- ・LOMナイト企画・運営

**【成果】**

本大会は、「Bridge over the dreams」が大会テーマとされておりました。そのテーマには、本大会が次年度以降に夢を繋げる懸け橋となり、その夢や志を我々世代で完結するのではなく次世代に伝え、全力で前に進み続けることで、今後の青年会議所を今以上に価値のある団体にしようという想いが込められておりましたが、会員に対して登録・参加支援を行い、各フォーラムや式典・卒業式に参加していただいたことで、青年会議所メンバーとしての夢を膨らませ、さらに前進し続けようという想いを強めていただくことができました。さらに、東京青年会議所に対して誠意と応援する姿勢を示すという事業目的を達成することができました。



**10月公開例会の企画・運営**

■10月公開例会「ながのハロウィンフェスティバル」

**【実施組織】**

地域創生委員会

**【実施日時】**

2023年10月21日(土)11:00～16:00

**【実施場所・会場】**

ながの表参道セントラルスクエア  
〒380-0845 長野県長野市西後町1580

<https://naoce.net/wp/>

**【事業目的（対外）】**

まちに賑わいを創出し、市民に活気を与えることを目的とします。

**【事業目的（対内）】**

地域活性化に向けたまちづくり運動への意欲向上を目的とします。

**【実施プログラム】**

- 1) ハロウィンの演出
- 2) 仮装体験ワークショップの開催
- 3) 出店ブース
- 4) ステージイベント
- 5) インフォメーションブース及びJCブース

**【成果】**

10月例会ではまちに賑わいを創出し、市民に活気を与えることが出来ました。また、地域活性化に向けたまちづくり運動への意欲を高めることができました。今後、まちづくり運動を推進する機運を高めることで、これからの地域課題の解決に向けた新たな事業が展開されていくことが期待できます。



### 11月例会の企画・運営

■11月例会「CONNECT THE LIGHTS ～灯りを繋ぎ、地域で創るまつりへ～」

【実施組織】

灯明委員会

【実施日時】

2023年11月9日(木)18:30～20:30

【実施場所・会場】

長野市芸術館アクトスペース

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

長野灯明まつりの歴史、現状、課題に対する理解を深めるとともに、まつりの未来の在り方について考える意識を高めることを目的とします。

### 【実施プログラム】

第1部「長野灯明まつりの歴史を辿る」

第2部「第二十一回長野灯明まつりについて」

第3部「今後の長野灯明まつりを考える」

### 【成果】

本例会を通じて、メンバーに長野灯明まつりの歴史や背景を共有し、このまつりが抱える課題に対する解決策のひとつとして、第二十一回以降の外部連携の重要性を認識してもらい、未来の長野灯明まつりの在り方を考える意識を高めることができました。今後も持続可能かつ更に発展したまつりとなるよう長野青年会議所が中心となり、地域と創るまつりとなることが期待されます。

### サッカー学校の支援

■サッカー学校の支援

【実施組織】  
希望育成委員会

【実施日時】

2023年11月23日(木)10:00～15:00

【実施場所・会場】

富士通長野総合グラウンド

長野県須坂市小山2579-3

【事業目的(対外)】

1968年に長野青年会議所が創設し、多くの市民やシニアクラブ会員、現役メンバーが関わるサッカー学校の運営を支援し、サッカーを通じた健全な青少年育成に寄与することを目的とします。

【事業目的(対内)】

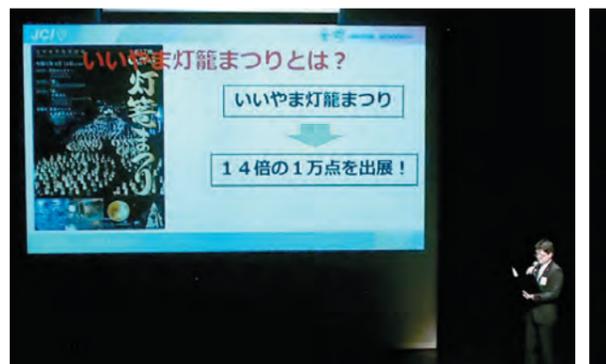
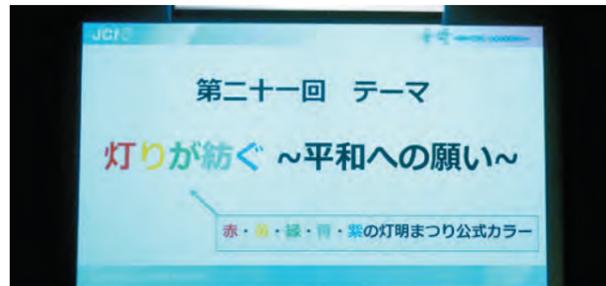
無

### 【実施プログラム】

1) 長野少年サッカー学校運動会の参加

### 【成果】

長野少年サッカー学校が参加する大会の状況によっては運動会の開催が中止になる可能性があったことで、長野青年会議所のメンバーに早期から運動会参加のお願いをすることができませんでした。そのため、少人数での参加となってしまいましたが、新型コロナウイルス感染症の流行によって数年間参加をすることができなかった運動会に参加できたことで、サッカー学校の運営を支援するとともに、サッカーを通じた青少年育成の一助となることができました。また、2024年度以降の支援体制に大きく寄与しました。



**JCI-ASPAC・世界会議への  
ブース出展の企画・運営**

■JCI世界会議チューリッヒ大会ジャパンナイト  
ブース出展

【実施組織】  
国際交流委員会

【実施日時】  
・JCI世界会議チューリッヒ大会  
2023年11月14日(火)～2023年11月18日(土)  
・ジャパンナイト  
2023年11月17日(金)現地時間20:00～22:00

【実施場所・会場】  
名称: Swiss Life Arena  
ルーム名: メインアリーナ

【事業目的(対外)】  
世界会議ジャパンナイト来場者に対して、長野市の  
まちの魅力を発信することを目的とします。

【事業目的(対内)】  
世界各国のJCメンバーと交流を行うことで、メン  
バー一人ひとりが国際交流事業に対する意識を高め  
ることを目的とします。

**【実施プログラム】**

- 1) JCI世界会議チューリッヒ大会への参画
- 2) JCI世界会議チューリッヒ大会ジャパンナイトにおける長野市  
PRブースの出展

**【成果】**

JCI世界会議チューリッヒ大会ジャパンナイトブース出展では、多  
くの海外メンバーにJCI長野ブースへ訪れていただきました。ブ  
ースでは善光寺のおみくじ体験を通じて多くの海外メンバーと交流を  
図るとともに、記念品の贈呈やお酒のお振舞い、長野市の観光パン  
フレットの配布を行ったことにより、広く全世界へ長野市の魅力を  
発信することができました。また、海外メンバーと交流を図ったこ  
とにより、参加メンバーの国際交流事業に対する意識を高めること  
ができました。



**出向者報告・慰労会開催**

■出向者慰労会開催(12月例会第1部)

【実施組織】  
広報渉外委員会

【実施日時】  
2023年12月9日(土)17:30～20:30

【実施場所・会場】  
ホテル国際21 千歳の間  
〒380-0838 長野県長野市県町576

<https://www.kokusai21.jp/>

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

出向者の功績を称え、その労をねぎらうことを目的  
とします。

**【実施プログラム】**

・出向者慰労会(12月例会第1部)の企画・運営

**【成果】**

出向者の功績を称え、その労をねぎらう機会を設けたことで、会員  
一人ひとりの出向に挑戦する意欲を高め、組織としても青年会議所  
運動を推進していく機運を高めることができました。



### 12月例会の企画・運営

■12月例会「乾杯」～青嶽の日々～

【実施組織】

例会委員会

【実施日時】

2023年12月9日(土)17:30～20:30

【実施場所・会場】

ホテル国際21 「千歳」  
〒380-0838 長野市大字南長野県町576

http://www.kokusai21.jp

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

本年度の活動を振り返り、共に過ごしたメンバーの功績を称え、互いの労をねぎらうことを目的とします。

### 【実施プログラム】

- 1) 出向者慰労会
- 2) 各委員会より2023年度の事業報告
- 3) 委員会・会員の活動表彰
- 4) 飲食を伴う会員同士の交流

### 【成果】

2023年度の運動・活動を振り返り、共に過ごした会員と思い出を共有し、互いの労をねぎらうことによって、会員一人ひとりがこれからも能動的に運動を推進していく機運を高めることができました。



### 賀詞交換会・総会・理事会の運営

■賀詞交換会・総会・理事会の運営

【実施組織】

総務財務委員会

【実施日時】

・賀詞交歓会

2023年1月14日(土)

・定時総会

第1回定時総会

2023年1月28日(土)15:00～17:00

第2回定時総会

2023年8月26日(土)14:00～16:00

第3回定時総会

2023年12月9日(土)14:00～16:00

・定例理事会

第1回理事予定者会議 2022年8月21日(日)

第2回理事予定者会議 2022年9月8日(金)

第3回理事予定者会議 2022年10月6日(金)

第4回理事予定者会議 2022年11月5日(金)

第5回理事予定者会議 2022年12月1日(木)

第1回定例理事会 2023年1月12日(木)

第2回定例理事会 2023年2月2日(木)

第3回定例理事会 2023年3月2日(木)

第4回定例理事会 2023年3月30日(木)

第5回定例理事会 2023年4月27日(木)

第6回定例理事会 2023年6月1日(木)

第7回定例理事会 2023年6月29日(木)

第8回定例理事会 2023年7月27日(木)

第9回定例理事会 2023年8月31日(木)

第10回定例理事会 2023年9月28日(水)

第11回定例理事会 2023年10月26日(金)

第12回定例理事会 2023年12月1日(金)

第13回定例理事会 2024年1月10日(水)

・臨時理事会

第1回臨時理事会 2023年1月1日(日)

第2回臨時理事会 2023年6月20日(火)

第3回臨時理事会 2023年11月28日(火)

### 【実施場所・会場】

・ホテル国際21

・Zoom会議によるWEB開催

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

総会、理事会の円滑な会議運営の徹底を目的とします。

【実施プログラム】

1) 各会議準備

・定時総会

メンバーへの開催通知・出欠管理、来賓・シニアクラブ役員・近隣青年会議所対応、議長・副議長打合せ、配布資料の作成・確認

・定例理事会・理事予定者会議・臨時理事会

理事構成メンバーへの開催通知・メンバーへの開催通知・出欠管理、オブザーバーの確認、議案書の確認

2) 各会議当日

・定時総会

会場設営、来賓・シニアクラブ役員・近隣青年会議所対応、出欠管理、司会及び会議運営

・定例理事会、理事予定者会議、臨時理事会

会場設営、資料作成、司会及び会議運営

3) 各会議後

・定時総会

議事録作成・署名・捺印、来賓・シニアクラブ役員・近隣青年会議所への御礼状送付

・定例理事会、理事予定者会議、臨時理事会

議事録作成・署名・捺印

【成果】

予定者会議、臨時理事会を含む全21回の理事会では、事前準備を十分に行うことで、円滑な運営をすることができ、想いのこもった多くの議題を協議、審議することができました。総会運営では、多くの来賓、メンバーの皆様をお迎えの上、開催することができ、長野青年会議所の今後を決める重要な議題を決議することができました。



**長野青年会議所広報・ブランディング SNS・Webサイト・メーリングリストの管理**

■公益社団法人長野青年会議所2023年度年間広報

**【実施日時】**

2023年1月1日(日)～2023年12月31日(日)

**【実施場所・会場】**

公益社団法人長野青年会議所事務局

**【事業目的(対外)】**

長野青年会議所の運動を地域により正確に認知してもらい、組織の存在感とブランドイメージを高めることを目的とします。

**【事業目的(対内)】**

会員一人ひとりが組織の運動に関心を持ち、効果的かつ的確な情報発信の重要性を理解した上で、積極的に情報発信に携わる会員を増やすことを目的とします。

**【実施プログラム】**

- ・各事業に対する広報支援
- ・公式Webサイトの運用
- ・g-stationの運用
- ・Facebookの運用
- ・Instagramの運用
- ・X(旧Twitter)の運用
- ・2023年度長野青年会議所LINEグループの運用
- ・フリーペーパー配布
- ・広報ながへの掲載依頼
- ・マスメディアとの広報連携

**【成果】**

対外に対しては、Instagramを中心とした積極的な情報発信により、長野青年会議所の運動を広く地域に伝播させることができ、これにより長野青年会議所のブランドイメージを向上させることができました。対内に対しては、会員一人ひとりの事業に対する関心を高めることができ、さらに地域との繋がりを強固にした事業を展開させる機運を高めることができました。

**RINX-4への参画**

■RINX-4全体事業「広域観光の魅力発信事業 inNAGANO」

**【実施組織】**

地域創生委員会

**【実施日時】**

2023年7月30日(日)13:00～17:00

**【実施場所・会場】**

長野駅在来線改札前広場

**【事業目的(対外)】**

各地の魅力発信と今後のまちづくり運動を推進することを目的とします。

**【事業目的(対内)】**

無

**【実施プログラム】**

- 1) 来場者アンケート
- 2) オリジナルトートバッグの配布

**【成果】**

各地の魅力発信と今後のまちづくり運動を推進するための意見収集をするべく、県内外から長野駅を訪れた一般来場者に各地の魅力が詰まったオリジナルトートバッグを配布するとともに、今後のまちづくり運動の糧となるアンケートを行いました。当日は長野、飯山、上越、妙高、各地の魅力発信を行うことで、「278人」と多くの方からアンケートの回収ができ、事業目的を達成することができました。



**80周年に向けたビジョンの  
模索・策定・発表**

■公益社団法人長野青年会議所70周年未来ビジョン

【実施組織】

70周年ビジョン委員会

【実施日時】

2023年1月1日(日)～8月19日(土)

【実施場所・会場】

無

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

長野青年会議所の方向性を示すとともに、全メンバーの意識を統一するための未来ビジョンを構築することを目的とします。

【実施プログラム】

1) 70周年未来ビジョンの策定

【成果】

長野青年会議所の方向性を示し、全メンバーの意識を統一するための未来ビジョンを構築したことで、長野青年会議所の発展と明るい豊かな社会の実現に寄与することができました。

**70周年記念ロゴマーク制作**

■70周年記念ロゴマーク制作

【実施組織】

70周年レガシー委員会

【実施日時】

2023年1月1日(日)～2023年12月31日(日)

【実施場所・会場】

無

【事業目的(対外)】

ロゴマークを制作することで、より視覚的に70周年を伝え、1年を通し70周年のシンボルとして長野青年会議所をPRしていくことを目的とします。

【事業目的(対内)】

創立70周年の象徴となるロゴマークを制作することで、全メンバーの意識を統一し、誇りをもって1年間の運動を推進していくことを目的とします。

【実施プログラム】

1) 70周年ロゴマークの制作

2) 70周年記念ピンバッジの製作と配布

【成果】

ロゴマークを制作するに当たり、60周年時が炎の法被のロゴマークであったこと、及び60周年時に実施した記念事業において受賞者として若き才能を見出され、その後は我々長野青年会議所とも縁の深い、越ちひろ氏をデザイナーにお迎えし、越氏の特徴であるピットな色彩と我々の運動の力強さを長野市で感じることが出来る雄大な自然になぞらえて表現していただきました。そのような想いを込めて制作したロゴマークを本年の事業において常にメンバーにピンバッジとして着けていただいたことや、各所で掲げさせていただいたことにより、十分な70周年のアピールになったと考察すると同時に零周年時におけるロゴマークの必要性を一連の周年事業の実行によって強く感じることができました。

**GAME CHANGE**  
～常識を超え、未来の地平線を鮮やかに切り拓く～

**10年後に向けたテーマ**

**まちビジョン** POWERFUL CITY NAGANO  
～時代を牽引する地方都市の確立～

**LOMビジョン** POWERED BY JCI NAGANO  
～最先端を走る地方LOMの確立～

**まちビジョン** 未来への架け橋  
～長野市の青少年育成と地域活性化～

**経済** 未来への投資  
～長野市の魅力が生み出す経済力～

**環境** 未来への基盤  
～持続可能なまち長野～

**LOMビジョン** 未来を繋ぐリーダーの育成

**運動指針1** 未来を創る次世代の経営者の育成

**運動指針2** 未来を導く多様な人財

**運動指針3** 未来を見据えた技術の展開

**運動指針4** 未来に向けて発展する組織

**運動指針5**



## 新入会員募集事業計画・運営

### ■新入会員募集事業計画・運営

#### 【実施組織】

会員拡大委員会

#### 【実施日時】

2023年2月3日(金)～2023年11月30日(木)

#### 【実施場所・会場】

長野市及びその周辺地域

#### 【事業目的(対外)】

長野青年会議所の魅力を理解していただき、多くの新入会員対象者を入会へ導くことを目的とします。

#### 【事業目的(対内)】

メンバー一人ひとりが能動的に会員拡大運動を推進するとともに、多くの新入会員を獲得し、正会員へと導くことを目的とします。

#### 【実施プログラム】

##### 1) 新入会員募集事業

2023年2月3日～11月28日

前期募集期間

2023年3月1日～5月31日

後期募集期間

2023年9月1日～11月28日

##### 2) 新入会員募集要項

配布時期

2023年2月上旬～11月30日

##### 3) 前期入会対象者説明会

2023年5月17日(水) 19:00～20:00

##### 4) 前期新入会員セミナー

2023年6月3日(土) 11:00～20:30

2023年6月4日(日) 6:00～11:00

##### 5) 後期入会対象者説明会

2023年11月2日(木) 19:00～20:00

##### 6) 後期新入会員セミナー

2023年12月2日(土) 11:00～19:30

2023年12月3日(日) 6:00～11:00

#### 【成果】

新入会員募集事業において、前期入会者19名、後期入会者7名、合計26名の対象者に入会を導くことができました。また、そのうち35歳未満の入会者が16名いることは組織の若返りという観点において、今後の長野青年会議所にとって有益な結果に繋がりました。そして、新入会員セミナーでは準会員が長野青年会議所について学ぶことに加えて、正会員と懇親を深めることで今後のJC運動においての士気を高めることができました。

## 青少年育成事業の企画・運営

### ■子どもの居場所づくり応援プロジェクト～地域で広げる想いでつなぐ～

#### 【実施組織】

希望育成委員会

#### 【実施日時】

・キックオフミーティング

4月9日(日)13:00～16:40

・ながの子どもみらいフェスタ

6月18日(日)10:00～15:00

・クロージングミーティング

6月25日(日)13:00～16:00

・持続可能な子どもの居場所づくりのススめ～未来を仕掛ける～(HowTo本) 7月上旬から9月上旬

#### 【実施場所・会場】

・キックオフミーティング

北部スポーツ・レクリエーションパーク

長野市大字三才1981-1

<https://hokureku.jp/>

・ながの子どもみらいフェスタ

北部スポーツ・レクリエーションパーク

長野市大字三才1981-1

<https://hokureku.jp/>

・クロージングミーティング

北部スポーツ・レクリエーションパーク

長野市大字三才1981-1

<https://hokureku.jp/>

#### 【事業目的(対外)】

子どもの居場所を提供する活動団体が自ら支援を獲得する能力を身に付け、その活動が持続可能な取り組みの一つになることを目的とします。

#### 【事業目的(対内)】

子どもの居場所支援の必要性を認識することを目的とします。

#### 【実施プログラム】

1) キックオフミーティング

2) ながの子どもみらいフェスタ

3) クロージングミーティング

#### 【成果】

青少年育成事業は子どもの居場所を提供している団体を持続可能な活動形態へ導くとともに、長野青年会議所のメンバーが子どもの居場所支援の必要性を認識することを目的に事業を構築してまいりました。参加者アンケートから子どもの居場所を提供する団体が抱える課題を改善する一助となったことが証明されました。また、多くのメンバーの事業検証の回答結果から子どもの居場所の必要性を認識するプログラムであったことが証明されました。これらのことから、目的は達成されたと考えます。



**善光寺の世界遺産登録をすすめる会  
事務局への参画・運営支援**

■善光寺世界遺産登録をすすめる会

【実施組織】

灯明委員会

【実施日時】

2023年1月1日(日)～2023年12月31日(日)

【実施場所・会場】

善光寺事務局

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営支援を通じ、門前まち長野の歴史や他地域との比較研究などの議論に参加し、世界遺産登録に向けた市民意識の向上に取り組むことで、地域の特性を学び、今後のまちづくりにつなげることを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 幹事会、推進会議の運営支援
- 2) 2023年度総会の運営支援
- 3) 伝統的建造物群保存地区指定に向けた各種会議の運営支援
- 4) 善光寺大本願・宿坊巡り会運営支援

【成果】

長野市が進める世界遺産登録に向けて、善光寺の「世界遺産登録をすすめる会」として積極的な支援を行い、行政や関係者と円滑な連携を図ることができました。また、一般市民向けに善光寺大本願・宿坊巡りを企画し、一般市民に対して善光寺の歴史を学ぶ機会を提供できました。



**総務財務委員会**

委員長  
長田 雄介

**事務局の管理・運営**

■事務局の管理・運営

【実施日時】

2023年1月～12月

【実施場所・会場】

公益社団法人長野青年会議所 事務局

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

長野青年会議所の事業が円滑に行われるための情報共有及び庶務全般を行うことを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 会員・シニアクラブ会員データ管理(ブルーノート作成)
- 2) 統一ネームプレート・バッジ・名刺等メンバー必携品の取り纏め及び頒注
- 3) 現役メンバーの慶事・現役及びシニアクラブ会員の弔事の連絡
- 4) 事務局備品等の管理

【成果】

謹告、慶事・弔事の連絡について適切な情報発信を行うことができました。また、ブルーノートをはじめとする必携品や各種データを作成すると共に、会議室や事務局備品などにおいても事務局員と連携し、適切な管理を徹底したことで、長野青年会議所の事業を円滑に行うことができました。

**会計管理**

■財務運営会議の運営、会費の管理

【実施日時】

2023年1月～2024年1月

【実施場所・会場】

公益社団法人長野青年会議所 事務局 (WEB開催併用)

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

適正な財務管理を行うことを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 各事業の計画段階での財務審査
- 2) 各事業の報告段階での財務審査
- 3) 支払いに関わる庶務全般
- 4) 通帳、会費の管理

【成果】

財務運営会議では各事業を財政面から協議し、資金の費用対効果を最大限引き出すための会議になりました。また、LOMの資金を厳格に管理し、適切な決算を行うことができました。

**JCI及び日本JCに対する褒賞申請**

■2023年度アワードエントリー及びエントリーに伴う翻訳費

【実施日時】

エントリーシート翻訳実施日

- 1) ASPAC ジャカルタ大会 2023年3月下旬
- 2) 世界会議 チューリッヒ大会 2023年8月下旬各種アワード
- 3) ASPAC ジャカルタ大会 2023年5月13日
- 4) 世界会議 チューリッヒ大会 2023年11月18日
- 5) アワードジャパン 2024年1月 京都会議にて開催予定

【実施場所・会場】

各種アワード

ASPAC ジャカルタ大会

世界会議 チューリッヒ大会

アワードジャパン 国立京都国際会館

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

長野青年会議所が推進する運動の方向性を確かなものとし、さらなる運動の推進力とするべく、アワードエントリーを行うことを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) エントリーシートの作成
- 2) JCIアワード ASPAC ジャカルタ大会へのエントリー
- 3) JCIアワード 世界会議 チューリッヒ大会へのエントリー
- 4) AWARDS JAPANへのエントリー

【成果】

私たちの実施してきた事業を客観的に振り返ることができ、そして、各国家青年会議所、各国内地域の青年会議所が推進する運動を知ったことで、今後もより影響力のある運動を推進していく機運が高まる機会となりました。

**周年事業への参画**

■70周年事業への参画

【実施日時】

2023年8月19日(土)

【実施場所・会場】

長野市民芸術館メインホール

【事業目的(対外)】

無

【事業目的(対内)】

無

【実施プログラム】

- 1) 記念講演会への一般来場者の受付
- 2) 記念式典への来場者の受付

【成果】

多くの市民・関係者が来場する中で、現場の状況に応じて臨機応変に来場者の動線を策定したことにより、円滑に受付を実施することができました。

## 広報渉外委員会

委員長  
横川 歩

### 長野青年会議所広報・ブランディング SNS・Webサイト・メーリングリスト の管理

■公益社団法人長野青年会議所2023年度年間広報計画

**【実施日時】**

2023年1月1日(日)～2023年12月31日(日)

**【実施場所・会場】**

公益社団法人長野青年会議所事務局  
〒380-0904 長野市七瀬中町276  
長野商工会議所3階

**【事業目的（対外）】**

長野青年会議所の運動を地域により正確に認知してもらい、組織の存在感とブランドイメージを高めることを目的とします。

**【事業目的（対内）】**

会員一人ひとりが組織の運動に関心を持ち、効果的かつ確かな情報発信の重要性を理解した上で、積極的に情報発信に携わる会員を増やすことを目的とします。

**【実施プログラム】**

- ・各事業に対する広報支援
- ・公式Webサイトの運用
- ・g-stationの運用
- ・Facebookの運用
- ・Instagramの運用
- ・Twitterの運用
- ・2023年度長野青年会議所LINEグループの運用
- ・フリーペーパー配布
- ・広報ながのへの掲載依頼
- ・マスメディアとの広報連携

**【成果】**

対外に対しては、Instagramを中心とした積極的な情報発信により、長野青年会議所の運動を広く地域に伝播させることができ、これにより長野青年会議所のブランドイメージを向上させることができました。対内に対しては、会員一人ひとりの事業に対する関心を高めることができ、さらに地域との繋がりを強固にした事業を展開させる機運を高めることができました。

### 2023年度事業報告書・年誌作成

■2023年度事業報告書・年誌作成

**【実施日時】**

2023年1月1日～12月31日

**【実施場所・会場】**

公益社団法人長野青年会議所事務局  
〒380-0904 長野市七瀬中町276  
長野商工会議所3階

**【事業目的（対外）】**

2023年度の事業報告書・年誌を作成し、これを対外に事業報告をし、長野青年会議所の運動を地域社会に広く発信することを目的とします

**【事業目的（対内）】**

2023年度の会員の活動記録を残し、一年間の運動の軌跡を振り返るとともに、今後の運動の指針とすることを目的とします。

**【実施プログラム】**

- ・2023年度事業報告書・年誌の作成

**【成果】**

対外に対しては、2023年度の事業報告書・年誌を作成したことで、対外に対して事業報告をし、長野青年会議所の運動を地域社会に広く発信することができました。また、対内に対しては、会員に一年間の運動の軌跡を振り返っていただくとともに、今後の運動の指針としていただくことができました。

### コンプライアンス審査会議の開催・運営

■コンプライアンス審査会議の開催・運営

**【実施日時】**

2023年1月1日(日)～12月31日(日)

**【実施場所・会場】**

公益社団法人長野青年会議所事務局  
(Web開催併用)  
〒380-0904 長野市七瀬中町276  
長野商工会議所3階

**【事業目的（対外）】**

コンプライアンス会議を厳格に運営することにより、長野青年会議所のガバナンスをより強化し、信頼の高い組織とすることを目的とします。

**【事業目的（対内）】**

各事業のコンプライアンスを審査することで、会員の法令遵守に対する理解を深めることを目的とします。

### 周年事業への参画

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会・記念式典・記念祝賀会

**【実施日時】**

2023年8月19日(土)

**【実施場所・会場】**

- ・記念講演会・記念式典  
長野市芸術館メインホール  
長野市大字鶴賀緑町 1613番地  
<https://www.nagano-arts.or.jp/>
- ・記念祝賀会  
ホテル国際21千歳の間  
長野市県町576  
<http://www.kokusai21.jp/>

**【事業目的（対外）】**

無

**【事業目的（対内）】**

70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

**【実施プログラム】**

- 1) 各事業の計画段階でのコンプライアンス審査
- 2) 各事業の報告段階でのコンプライアンス審査
- 3) コンプライアンス関係資料の確認及び回収

**【成果】**

コンプライアンス運営会議を運営することにより公益社団法人として適格な法令遵守を行うとともに、会員のコンプライアンスに対する意識の向上及び対外的にも信頼性のある組織体制の確立を図ることができました。

**【実施プログラム】**

- ・周年事業における広報・記録用写真撮影

**【成果】**

事業実施に至るまでの実行委員会への参画や事業当日の広報・記録用写真撮影を行ったことで、70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことができ、今後の青年会議所運動の推進に繋げることができました。

## 例会委員会

委員長  
中村 律王

### 各例会の担当委員会への運営支援

■無

#### 【実施日時】

無

#### 【実施場所・会場】

無

#### 【事業目的（対外）】

無

#### 【事業目的（対内）】

全会員に例会の重要性が確認され、かつ規律を重んじる例会となるよう支援することを目的とします。

### 例会出席管理・例会参加推進

■無

#### 【実施日時】

無

#### 【実施場所・会場】

無

#### 【事業目的（対外）】

無

#### 【事業目的（対内）】

例会の出席率を向上させることを目的とします。

### 70周年記念誌の作成支援

■無

#### 【実施日時】

無

#### 【実施場所・会場】

無

#### 【事業目的（対外）】

無

#### 【事業目的（対内）】

70周年記念誌の作成支援を目的とします。

#### 【実施プログラム】

- 1) 各例会の構築から実施までの支援
- 2) 規律を重んじたセレモニーの実施

#### 【成果】

2023年度の例会は規律を見直すことを特に意識して支援を実施しました。例会構築段階では、協議議案上程時点から構築の様子についてVTR撮影を行い、「構築VTR」として全会員に配信を行いました。また、例会実施までに担当委員会の発表資料やシナリオの体裁が統一されているか確認を行いました。さらに、担当委員会にはセレモニーの担当者を事前に選出していただき、例会委員会から個別指導を行うことで、毎回の例会において規律を重んじたセレモニーを実施することができました。

#### 【実施プログラム】

- ・例会出席状況の取りまとめ
- ・例会開催1カ月前から各委員会の例会出席状況を確認し、例会にて次回例会の各委員会出席予定数を発表
- ・例会「構築VTR」及び「予告VTR」の制作・配信

#### 【成果】

本年度は、例会開催時に次回例会の出席状況を会員へ共有することで、委員会単位の出席率向上を図りました。また、例会を実施する会員の姿について「構築VTR」や「予告VTR」を制作し配信することで、担当外の会員の例会参加意欲を高めることができました。

#### 【実施プログラム】

- ・年間事業写真の選定

#### 【成果】

創立70周年記念誌の「年間事業写真」を厳粛に選定し、会員全員が活躍する姿を後世に残すことに寄与することができました。

### 周年事業への参画

■無

#### 【実施日時】

2023年8月19日(土)

#### 【実施場所・会場】

- ・記念講演会・記念式典  
長野市芸術館メインホール  
長野市大字鶴賀緑町 1613番地  
<https://www.nagano-arts.or.jp/>
- ・記念祝賀会  
ホテル国際21千歳の間  
長野市県町576  
<http://www.kokusai21.jp/>
- 【事業目的（対外）】
- ・創立70周年記念講演会  
地域課題の解決に向け新たな知識を得て、地域に根差したまちづくりを推進していく意識を高めることを目的とします。
- ・創立70周年記念式典及び祝賀会  
関係者への敬意を示し、感謝の意を表すことを目的とします。

#### 【事業目的（対内）】

- ・創立70周年記念講演会  
地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。
- ・創立70周年記念式典及び祝賀会  
70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

#### 【実施プログラム】

- ・受付と手荷物検査

#### 【成果】

事業実施に至るまでの実行委員会への参画や事業当日の受付と手荷物検査業務を担当したことで、70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つことができ、今後の青年会議所運動の推進に繋げることができました。

## 地域創生委員会

委員長  
宮尾 龍介

### 地域連携事業の企画・運営

■地域連携事業の企画・運営

#### 【実施日時】

無

#### 【実施場所・会場】

無

#### 【事業目的（対外）】

無

#### 【事業目的（対内）】

無

#### 【実施プログラム】

無

#### 【成果】

無

### 祇園祭への協力・連携

■祇園祭への協力・連携

#### 【実施日時】

- 1) 総会  
2023年5月1日(月)14:00～
- 2) お先乗り家免許授与式  
2023年6月18日(日)14:00～
- 3) お先乗り巡行・屋台巡行  
2023年7月9日(日)
- 4) 決算総会  
2023年11月10日(金)13:30～

#### 【実施場所・会場】

- 1) 総会 長野商工会議所 5階会議室
- 2) お先乗り家免許授与式 善光寺大本願
- 3) お先乗り巡行・屋台巡行 善光寺・中央通りを中心とした中心市街地
- 4) 決算総会 善光寺大本願明照殿

#### 【事業目的（対外）】

無

#### 【事業目的（対内）】

まちづくり団体として、まつりの開催を包括的にサポートするとともに、青年会議所運動を地域に広く伝播する場としてまつりを活用することを目的とします。

#### 【実施プログラム】

- 1) ながの祇園祭屋台巡行実行委員会への参画

#### 【成果】

まつりに参画することで、長野青年会議所の推進するまちづくり運動をさらに推進することができました。また、今年度から長野青年会議所としてながの祇園祭宵山のふるまいの企画・運営は実施せず、ながの祇園祭屋台巡行実行委員会の委員として運営を支援する形に変更となりました。

#### 【事業目的（対内）】

- ・創立70周年記念講演会  
地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。
- ・創立70周年記念式典及び祝賀会  
70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

#### 【実施プログラム】

- 1) 交通警備

#### 【成果】

一人ひとりの会員が責任を持って交通警備を行ったことで、記念講演会・記念式典・記念祝賀会を円滑に運営することができました。また、70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことができました。

### 周年事業への参画

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会・記念式典・記念祝賀会

#### 【実施日時】

2023年8月19日(土)

#### 【実施場所・会場】

- ・公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会  
長野市芸術館メインホール
- ・公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典及び祝賀会  
記念式典：長野市芸術館メインホール  
祝賀会：ホテル国際21千歳の間

#### 【事業目的（対外）】

- ・創立70周年記念講演会  
地域課題の解決に向け新たな知識を得て、地域に根差したまちづくりを推進していく意識を高めることを目的とします。
- ・創立70周年記念式典及び祝賀会  
関係者への敬意を示し、感謝の意を表すことを目的とします。

## 灯明委員会

委員長  
町田 孝幸

### 第二十一回以降の長野灯明まつりの運営方法の確立

■第二十一回長野灯明まつり 灯りが紡ぐ～平和への願い～

#### 【実施日時】

2024年2月9日(金)～12日(月/祝)

#### 【実施場所・会場】

善光寺周辺、城山公園、中央通り、長野駅周辺

#### 【事業目的（対外）】

オリンピック開催都市である長野に芽生えたホスピタリティー精神を育み、「平和の灯り」をより多くの方に届け、平和への願いを認識していただくことを目的とします。

#### 【事業目的（対内）】

外部団体との連携を深め、持続可能かつ発展性のある運営体制を構築することを目的とします。

### 善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局への参画・運営支援

■善光寺世界遺産登録をすすめる会

#### 【実施日時】

2023年1月1日～2023年12月31日

#### 【実施場所・会場】

善光寺事務局

#### 【事業目的（対外）】

無

#### 【事業目的（対内）】

善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営支援を通じ、門前まち長野の歴史や他地域との比較研究などの議論に参加し、世界遺産登録に向けた市民意識の向上に取り組むことで、地域の特性を学び、今後のまちづくりにつなげることを目的とします。

#### 【実施プログラム】

- 1) 関係諸団体と連携したまつり運営の確立
- 2) 第二十一回長野灯明まつりの開催運営計画の策定

#### 【成果】

長野市が主体となる善光寺表参道イルミネーション実行委員会が運営していた長野デザインウィークが2022年12月にて終了し、長野市と今後のまつり運営について協議を重ね、第二十一回より善光寺表参道イルミネーション実行委員会と協働で長野灯明まつりを運営することが決定しました。双方の実行委員会にてまつり運営を行うため、効率的な広報や広範囲でのイベントが可能となり、長野灯明まつりが抱える人的課題、資金面での課題解決の一助となり、持続可能なまつりへの足掛かりとなりました。

#### 【実施プログラム】

- 1) 幹事会、推進会議の運営支援
- 2) 2023年度総会の運営支援
- 3) 伝統的建造物群保存地区指定に向けた各種会議の運営支援
- 5) 善光寺大本願・宿坊巡り会運営支援

#### 【成果】

長野市がすすめる世界遺産登録に向けて、善光寺の世界遺産登録をすすめる会として積極的な支援を行い、行政や関係者と円滑な連携を図ることができました。また、一般市民向けに善光寺大本願・宿坊巡りを企画し、一般市民に対して善光寺の歴史を学ぶ機会を提供できました。

#### 【事業目的（対内）】

- ・創立70周年記念講演会  
地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。
- ・創立70周年記念式典及び祝賀会  
70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

#### 【実施プログラム】

- ・公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会

- 1) 講演会設営
- 2) 講演会受付
- 3) 講演会アテンド
- 4) 駐車場対応

#### 【成果】

公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会において、設営、受付、来場者へのアテンド、駐車場を担当しましたが、計3回の実行委員会にて担いを共有、確認し、委員会内で展開できたため、スムーズな対応を図れました。委員会メンバーも貴重な周年事業を経験でき、長野青年会議所がこれまで積み重ねてきた70周年の重みを感じ、責任感を持って対応することで、今後の青年会議所運動に対する機運を高めることができました。

## 希望育成委員会

委員長  
宮澤 遥

### 全国城下町青年会議所連絡協議会への参画

■全国城下町青年会議所連絡協議会

#### 【実施日時】

2023年1月21日(土)10:00~12:00  
2023年8月26日(土)10:00~19:00

#### 【実施場所・会場】

TKP京都四条駅前カンファレンスセンター  
鳥原城・鳥原文化会館

#### 【事業目的(対外)】

無

#### 【事業目的(対内)】

加盟青年会議所会員と各地の風土や街並みに触れ意見交換を行うことで、客観的に長野市を捉え、今後のまちづくりについて考え、学び、さらなる長野のまちの発展に寄与することを目的とします。

### 70周年記念事業への参画

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典及び祝賀会

#### 【実施日時】

2023年8月19日(土)15:00~20:30

#### 【実施場所・会場】

記念式典：長野市芸術館メインホール  
長野県長野市大字鶴賀緑町1613番地  
<https://www.nagano-arts.or.jp/>  
記念祝賀会：ホテル国際21千歳の間  
長野県長野市県町576  
<http://www.kokusai21.jp/>

#### 【事業目的(対外)】

・創立70周年記念講演会  
地域課題の解決に向け新たな知識を得て、地域に根差したまちづくりを推進していく意識を高めることを目的とします。  
・創立70周年記念式典及び祝賀会  
関係者への敬意を示し、感謝の意を表すことを目的とします。

#### 【事業目的(対内)】

・創立70周年記念講演会  
地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。  
・創立70周年記念式典及び祝賀会  
70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

#### 【実施プログラム】

- 1) 2023年度全国城下町青年会議所連絡協議会 通常総会
- 2) 全国城下町シンポジウム 鳥原大会

#### 【成果】

加盟青年会議所会員と意見交換を行うことで、客観的に長野市を捉え、今後のまちづくりについて考え、学び、さらなる長野のまちの発展に寄与することができました。全国城下町シンポジウム鳥原大会につきましては公益社団法人長野青年会議所第2回定時総会と日程が重複してしまったため、不参加となってしまいました。

#### 【実施プログラム】

- ・70周年記念祝賀会
- 17:00 受付開始
- 18:00 開宴・オープニングパフォーマンス(鼓和—CORE—)
- 18:10 理事長挨拶 理事長 加藤 昇平 君
- 18:15 来賓及び来訪JC紹介
- 18:20 来賓挨拶  
長野商工会議所会頭 水野 雅義 様  
日本青年会議所北陸信越地区担当常任理事 堀内 和彦 様
- 18:26 祝電披露 専務理事 増子 桂介 君
- 18:31 乾杯 シニアクラブ会長 松橋 達生 先輩
- 18:36 鏡開き
- 18:41 歓談
- 19:01 鼓和—CORE—パフォーマンス
- 19:16 海外来賓紹介及び登壇・挨拶 記念品贈呈
- 19:36 歓談
- 19:41 松井 佑貴氏パフォーマンス
- 19:56 振り返り映像放映
- 20:01 中締め  
日本青年会議所長野ブロック協議会会長 北原 友 君
- 20:06 閉宴

#### 【成果】

70周年記念祝賀会に関して、しっかりと来賓をもてなすことができ、関係各位への感謝を伝えることができました。

## 国際交流委員会

委員長  
倉島 盛朗

### 国際化活性化事業の企画・運営

■多言語化推進事業「YOKOSO」

#### 【実施日時】

2023年3月3日(金)~2023年10月31日(火)

#### 【実施場所・会場】

長野市内飲食店各店舗

#### 【事業目的(対外)】

長野市内飲食店がグローバル化に取り組む意識を向上させることを目的とします。

#### 【事業目的(対内)】

メンバー一人ひとりが能動的に国際化に向けた運動を推進する意識を向上させることを目的とします。

### ソウル江北青年会議所との交流事業

■アイドゥルミッション

#### 【実施日時】

2023年7月28日(金)~7月30日(日)

#### 【実施場所・会場】

大韓民国ソウル市内

#### 【事業目的(対外)】

子どもたちが国際感覚豊かな人材へと成長するために、ホームステイを通じた異文化交流の事業を体験することで、国際社会への興味を高めることを目的とします。

#### 【事業目的(対内)】

姉妹締結を結ぶJCI長野とJCIソウル江北が継続して交流事業を行うことで、両LOMの絆をさらに深めることを目的とします。

#### 【実施プログラム】

- 1) 長野市内飲食店60店舗 メニュー多言語化
- 2) 「YOKOSO」の事業移管

#### 【成果】

今年の5月には新型コロナウイルス感染症も5類感染症になり、長野駅には多くの外国人観光客が訪れています。本事業においては、事業開始時点ではまだ外国人観光客が少なかったこともあり、事業の参画に非協力的な店舗もありました。しかしながら、インバウンド需要が戻ってきたこともあり、最終的には長野駅、善光寺周辺を中心に60店舗もの皆様にご協力いただくことができました。「YOKOSO」は食の部分でしか対応しておりませんが、これからは「衣・住・遊」の部分でも外国人観光客が長野における滞在時間を延ばすための翻訳ツールとしていく必要があると考えます。今回の事業移管により、幅広い視点でこのYOKOSOが国際都市「NAGANO」の発展に寄与できたら幸いです。

#### 【実施プログラム】

- 1) アイドゥルミッション
- 7月28日(金)
  - 7:00 長野駅集合、羽田空港へ移動開始
  - 10:00 羽田空港にて搭乗手続き、出国
  - 14:30 ソウル金浦空港に到着、バスで移動
  - 17:30 ホテルチェックイン
  - 19:00 ウェルカムパーティー
  - 21:00 ホームステイ先へ移動(子どもたち)
- 7月29日(土)
  - 終日 ホストファミリーごとに交流
- 7月30日(日)
  - 10:00 ホテルロビー集合(子どもたち)
  - 11:30 ソウル金浦空港にて搭乗手続き、出国
  - 17:30 羽田空港に到着、電車で移動
  - 21:30 長野駅到着、解散

#### 【成果】

長野青年会議所(JCI長野)はソウル江北青年会議所(以下、JCIソウル江北)と姉妹締結44年目を迎え、国際交流事業の中で始まった本事業アイドゥルミッションは、新型コロナウイルス感染症により4年振りの開催となり本年で31回目を迎えました。両国青年会議所の子どもたちが、言葉のみではなく文化や習慣等の違いを体験し、感受性の豊かな少年時代から国際感覚を養うことを目的に開催し、世界でグローバル化が進む中、国籍を超えた交流を我々大人だけが行うのではなく、将来を担う子どもたちが海外との交流を通じて国際感覚を身に付けるとともに、友情を育むことができました。

## ソウル江北青年会議所との交流事業

■ソウル江北青年会議所公式訪問

### 【実施日時】

2023年11月29日～12月1日

### 【実施場所・会場】

大韓民国ソウル市内

### 【事業目的（対外）】

無

### 【事業目的（対内）】

永きに亘り先達が築き上げてきたJCIソウル江北との絆を再確認し、その絆をより強固なものにすることを目的とします。

### 【実施プログラム】

11月29日（水）（1日目）

7：00 長野駅集合

7：13 新幹線 あさま606号 東京へ

8：52 東京駅着

JRにて浜松町駅へ

モノレールにて東京国際空港（羽田）へ

10：20 東京国際空港（羽田）国際線ターミナル着 搭乗手続き

12：20 東京国際空港（羽田）発 OZ1075便

14：40 ソウル金浦空港着 ソウル江北JC手配のバスにて移動

19：00 歓迎会（ソウル市内）

11月30日（木）（2日目）

AM 懇談会（ソウル市内）

19：00 記念式典（ソウル市内）

21：00 懇親会（ソウル市内）

12月1日（金）（3日目）

5：30 ホテルロビー集合・ソウル江北JC手配のバスにて移動

7：00 ソウル金浦空港着 搭乗手続き

8：40 ソウル金浦空港発 OZ1085便

10：45 東京国際空港（羽田）着

モノレールにて浜松町駅へ

JRにて東京駅へ

13：04 新幹線 あさま613号 長野へ

14：46 長野駅着

### 【成果】

予定者段階では新型コロナウイルス感染症の影響により、国際交流自体ができる状況ではありませんでした。しかし、本年度5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、4年ぶりにソウル江北青年会議所への公式訪問を行うことができました。現地では懇談会や懇親会、記念式典への出席を経て、改めてより強い絆を結べたことを確信しております。国際交流委員会の神髓を4年ぶりに経験でき、末永く友情を育むとともに、より強固な姉妹関係を構築できました。

地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。

・創立70周年記念式典及び祝賀会

70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

### 【実施プログラム】

1）ソウル江北青年会議所のアテンド

2）台中国際青年商會のアテンド

### 【成果】

国際交流委員会では創立70周年記念式典・記念祝賀会に併せ、姉妹・友好LOMの合同受入事業を行いました。記念式典及び記念祝賀会では海外LOMのアテンドを行い、創立70周年記念式典では理事長の挨拶を前もっていただき、両LOMのメンバーに通訳した文章を配るなど、細やかな配慮を行いました。また、創立70周年記念祝賀会では、両LOMとのLOMtoLOMの設営や通訳の手配など行いましたが、合同受入事業のアテンドの難しさを感じる機会となりましたが、委員会メンバーにとって貴重な経験となるとともに、両LOMと交流を図ることができました。

## 周年事業への参画

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会・記念式典・記念祝賀会

### 【実施日時】

2023年8月19日（土）

### 【実施場所・会場】

創立70周年記念式典：長野市芸術館 メインホール

創立70周年記念祝賀会：ホテル国際21 千歳の間

### 【事業目的（対外）】

・創立70周年記念講演会

地域課題の解決に向け新たな知識を得て、地域に根差したまちづくりを推進していく意識を高めることを目的とします。

・創立70周年記念式典及び祝賀会

関係者への敬意を示し、感謝の意を表すことを目的とします。

### 【事業目的（対内）】

・創立70周年記念講演会

## 会員拡大委員会

委員長  
小林 徹哉

### 周年事業への参画

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会・記念式典・記念祝賀会

### 【実施日時】

2023年 8月19日（土）

### 【実施場所・会場】

・記念講演会・記念式典

長野市芸術館メインホール

・記念祝賀会

ホテル国際21千歳の間

### 【事業目的（対外）】

・創立70周年記念講演会

地域課題の解決に向け新たな知識を得て、地域に根差したまちづくりを推進していく意識を高めることを目的とします。

・創立70周年記念式典及び祝賀会

関係者への敬意を示し、感謝の意を表すことを目的とします。

### 【事業目的（対内）】

・創立70周年記念講演会

地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。

・創立70周年記念式典及び祝賀会

70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

### 【実施プログラム】

講演会・祝賀会において受付警備

### 【成果】

講演会・祝賀会での受付警備においては、担当者が責任を持ってそれぞれの業務を遂行した結果、トラブル無く多くの来場者に周年事業に参加していただくことができました。また、周年事業は我々メンバーにとっても長野青年会議所の誇りを感じる機会となり、先輩諸氏への感謝を再認識することができる良い機会となりました。

## びんずる委員会

委員長  
竹内 友哉

### 門前まち青年会議所連盟への参画

■門前まち青年会議所連盟

【実施日時】

2023年1月20日(金)18:00~18:50

2023年6月3日(土)16:00~17:00

2023年10月6日(金)18:00~18:45

【実施場所・会場】

- ・豚しゃぶ 英
- ・日光金谷ホテル相鉄
- ・グランドフレッサ

【事業目的 (対外)】

無

【事業目的 (対内)】

門前町という同じまちづくりの材料をかかえるLOM同士が交流し、門前町を切り口としたまちづくりに向けての情報交換を行うことで、客観的に長野市を捉え、今後のまちづくりについて考え、学び、さらなる長野のまちの発展に寄与することを目的とします。

### 全国大会東京大会大懇親会ブース企画・運営

■全国大会東京大会大懇親会ブース企画・運営

【実施日時】

2023年10月6日(金)~2023年10月8日(日)

【実施場所・会場】

無

【事業目的 (対外)】

無

【事業目的 (対内)】

無

### 周年事業への参画

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会・記念式典・記念祝賀会

【実施日時】

2023年 8月19日(土)

【実施場所・会場】

- ・記念講演会・記念式典  
長野市芸術館メインホール
- ・記念祝賀会  
ホテル国際21千歳の間

【事業目的 (対外)】

・公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会  
地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。  
・公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典及び祝賀会  
関係者への敬意を示し、感謝の意を表すことを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 門前まち青年会議所連盟 2023年度 1月京都総会
- 2) 門前まち青年会議所連盟 臨時総会 (日光総会)
- 3) 門前まち青年会議所連盟 2023年度 第2回総会 (東京総会)

【成果】

加盟青年会議所会員と意見交換を行うことで、客観的に長野市を捉え、今後のまちづくりについて考え、学び、さらなる長野のまちの発展に寄与することができました。門前まち青年会議所連盟臨時総会(主管LOMである日光青年会議所にて開催)につきましてはLOMの事業である前期新入会員セミナーと日程が重複してしまつたため、不参加となりました。

【実施プログラム】

無

【成果】

開催会場の都合によりブース出展企画は中止となりました。

【事業目的 (対内)】

・公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会  
地域課題の解決に向け新たな知識を得て、地域に根差したまちづくりを推進していく意識を高めることを目的とします。  
・公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念式典及び祝賀会  
70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 講演会受付
- 2) 駐車場誘導

【成果】

公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会において、講演会の受付、駐車場誘導を担当しましたが、計3回の実行委員会にて担いを共有、確認し、委員会内で展開できたため、スムーズな対応を図れました。委員会メンバーも貴重な周年事業を経験でき、長野青年会議所がこれまで積み重ねてきた70周年の重みを感じ、責任感を持って対応することで、今後の青年会議所運動に対する機運を高めることができました。

## 70周年ビジョン委員会

委員長  
儀 宏典

### シニアクラブ訪問

■長野青年会議所シニアクラブ会員訪問

【実施日時】

2023年2月上旬から5月上旬まで

【実施場所・会場】

シニアクラブ会員の会社、自宅、その他

【事業目的 (対外)】

シニアクラブ会員の70周年記念講演会・式典・祝賀会への参加意欲が高まることを目的とします。

【事業目的 (対内)】

シニアクラブ会員に対して、感謝と敬意を表すとともに交流を図る機会の創出を目的とします。

【実施プログラム】

無

【成果】

シニアクラブ会員訪問を行い周年事業のご案内をしたことで、多くのシニアクラブ会員に70周年記念講演会・式典・祝賀会に参加していただくことができました。また、現役メンバーにおいても訪問時に感謝と敬意を伝える中で、シニアクラブ会員との交流を深めることができました。

### 70周年記念誌の作成

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念誌の作成及び配布

【実施日時】

2023年11月1日(水)~2023年12月31日(日)

【実施場所・会場】

無

【事業目的 (対外)】

長野青年会議所のこれまでの活動の実績と70年間の我々の運動の軌跡を改めて認識していただき、今後10年の70周年未来ビジョンを共有することを目的とします。

【事業目的 (対内)】

創立70周年に際して、過去の歴史を再認識するとともに、新たに作成した未来ビジョンを共有するための記録を残すことを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念誌の作成
- 2) 公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念誌の配布

【成果】

(対外) 長野青年会議所への理解を深めていただき、今後の我々の運動に対するさらなる支援体制を構築し、青年会議所運動を円滑に進めることが期待できます。  
(対内) 長野青年会議所の歴史を再認識することと、70周年未来ビジョンへの理解を深め、今後の我々の進むべき方向性を明確にし、全メンバーの意識を統一することで、より運動を明確化するとともに、推進力を高めることが期待できます。

### 周年事業への参画

■公益社団法人長野青年会議所創立70周年記念講演会・記念式典・記念祝賀会

【実施日時】

2023年8月19日(土)

【実施場所・会場】

- ・記念講演会・記念式典  
長野市芸術館メインホール
- ・記念祝賀会  
ホテル国際21千歳の間

【事業目的 (対外)】

・創立70周年記念講演会  
地域課題の解決に向け新たな知識を得て、地域に根差したまちづくりを推進していく意識を高めることを目的とします。  
・創立70周年記念式典及び祝賀会  
関係者への敬意を示し、感謝の意を表すことを目的とします。

【事業目的 (対内)】

・創立70周年記念講演会  
地方創生の在り方への理解が深まり、地域の可能性を認識することを目的とします。  
・創立70周年記念式典及び祝賀会  
70年の歴史と関係者との信頼を再認識し、長野青年会議所の会員であることの自覚と誇りを持つとともに、感謝の意を持つことを目的とします。

【実施プログラム】

- 1) 記念講演会の受付、
- 2) 記念式典の受付、プログラム進行補助

【成果】

記念講演会において参加者の受付、席への誘導を円滑に行うことで、殆んどの方が冒頭から講演内容を聞くことができました。また、記念式典においてプログラム進行の補助を行うことで、記念式典を円滑に進めることができました。

野球部活動報告

■公益社団法人日本青年会議所  
2023年度全国野球大会長野ブロック予選会  
【日時】  
2023年5月28日(日)  
【会場】  
東部運動広場(下高井郡高山村)  
【成果】  
優勝

■公益社団法人日本青年会議所  
2023年度全国野球大会北陸信越地区予選大会  
【日時】  
2023年7月2日(日)  
【会場】  
勝山マイラウンド(福井県勝山市)  
【成果】  
優勝

■公益社団法人日本青年会議所2023年度全国野球大会  
【日時】  
2023年10月4日(水)  
【会場】  
セガサミー運動場(東京都)他  
【成果】  
一回戦敗退



公益社団法人長野青年会議所 2023年度出向者名簿

■公益社団法人 日本青年会議所

【総務グループ】

《財政審査会議》

副議長 窪 智敬  
委員 青木 源  
委員 伊藤 陵輔  
委員 大島 裕太  
委員 西澤 準  
委員 山崎 義明

《規則審査会議》

副議長 山内 孝次  
委員 伊藤 拓宗  
委員 落合 拓  
委員 中川 広三  
委員 原山 大樹  
委員 山田 洋輔  
委員 日下部好治

《総務委員会》

■公益社団法人 日本青年会議所 北陸信越地区協議会

副事務局長 宮澤 拓也

■公益社団法人 日本青年会議所 北陸信越地区 長野ブロック協議会

副会長 白土巴瑠香  
委員 小森 穂高  
《信州の魅力Plus on!委員会》  
《夢を実現する信州リーダー拡大委員会》  
委員 平野 敦彦

《次代につなぐ信州未来づくり委員会》  
委員 春日 光雪 チャールズバーチ



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
財政審査会議  
副議長 窪 智敬

## 内に思いやりと責任感、外に決断と調整力

長野青年会議所にとって70周年の記念すべき年であった2023年。その様な年に公益社団法人 日本青年会議所 総務グループ 財政審査会議へ副議長として出向させていただきました窪 智敬です。まずは同じ会議体へ出向を決意してくださった5名の同志に感謝をお伝えします。快く小幹事を受けて動いてくださった西澤 準君、良き兄貴分でまとめ役になってくれた青木 源君、夜の大幹事こと盛り上げ隊長の伊藤 陵輔君、長野と刈谷で大活躍サポート大島 裕太君、そしてLOMとの懸け橋とスタッフ入りまでしてくれた山崎 義明君の5名には心より御礼申し上げます。そして、この様な出向の機会を提供いただきました理事長の加藤 昇平君をはじめとする正副理事長会議の皆様、快く出向へ送り出してくださいました磯委員長率いる70周年ビジョン委員会の皆様、そして、担当する国家グループに対して、同じ苦楽と喜びを共にさせていただきました規則審査会議の副議長である山内 孝次君と出向メンバーの皆様。そしてLOM内で応援くださった皆様、そして妻子と両親。支えてくれたこと本当に感謝しています。

書き出したらあつという間にスペースが埋まりましたので、少しは財政審査会議について、書き残そうと思います。長野青年会議所からは3年連続にて副議長を輩出しており、加藤副議長・増子副議長のバックアップのもと活動させていただきました。本年度は、海老名青年会議所 井上 和也君の議長のもと、財政審査会議は各事業の財政部分の予算配分から支払い、そして決算までのすべてに関わり、事業を財政面から支えました。また、各会議・各委員会の財政面での不安を払拭すべく、予算書・決算書の記載方法の共有や、財政管理のための会計ルールの徹底、会計マニュアルの最適化などを行ないました。さらには、協議会同一銀行の口座使用、インボイス制度への対応等の課題と問い合わせが多くありましたが、寄り添う気持ちを心に持ちつつ、より適切かつ透明性ある財政審査と公益審査がより浸透していくよう、日々活動をしてまいりました。何より事業において最大限のコストパフォーマンスを発揮できるように考え、支えてまいりました。

さて、本年の出向活動を通じて、私は情熱の補給源でもあると体感しました。そして、新しい人間関係を構築することで価値観が変わり、自己成長できたことが多くあり、財産を得たと感じました。単に予算書・決算書を正しく作成するだけなら、一方的に指示を出すことで良いのですが、相手の気持ちと人間関係を蔑ろにしてはいけなないと考え、ルールに対し一緒に考えて審査を通すことに悩み苦しみ、寄り添ったと思います。そして、審査会を無事通過した上程担当者の笑顔を見るとやって良かったと言う気持ちになり、財政審査会議はやりがいのある会議体であったと思います。ただ本会事務局・各協議会との折衝もあり、知識と実力不足で自分の至らなさも痛感したことも事実であります。執筆現在、まだまだ終わりません。年度末、決算を迎える11月からが財政審査会議の本番でした。

そのような初日本出向・初副議長出向でしたが、LOM内での経験にて何とかなりました。本会にも通用する長野青年会議所は凄い組織です。もしこれから先、財政審査会議へ出向を希望される方は、内面に責任感と思いやりを持って、外面には決断と調整力を肝に活動をいただけましたら、より素晴らしい活動ができると思います、書き残します。以上、お読みいただきありがとうございます。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
財政審査会議  
委員 伊藤 陵輔

## LOMを超えた絆と成長

「出向しない？」との誘いを頂いたとき、すぐにお断りしと返事をしました。最高のLOMメンバーたちに誘っていただいたからです。

準会員から正会員になったばかりの私は、財政審査をすることで初めて議案に触れ、JC活動をする上でも勉強になりました。日本青年会議所に出向したことで、LOMメンバーの新たな一面を見ることができたり、今までもこれからも行く機会が無いような街に行って、ご当地の名産物やお酒を楽しんだりすることも出来ました。そしてなにより、全国の志を同じうする者と出会いJC活動をすることで、絆を深め、成長することができました。

一年間、貴重な経験をありがとうございました。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
財政審査会議  
委員 大島 裕太

## ありがとう、出向

本年度、公益社団法人日本青年会議所総務グループ財政審査会議へ出向させていただき、各所でご支援いただいた皆様には改めて感謝を申し上げます。

財政審査会議は、日本青年会議所の事業が健全かつ効率的に行われているかを財務面から審査する重要な会議体であり、様々な事業を計画段階から確認できるため、大変貴重な経験となりました。また、月に一度、各スタッフのお膝元で行われる会議では、その土地の名所や名物を堪能しながら、魅力的でエネルギー溢れる同志との仲を深めることができ、出向の醍醐味を大いに味わうことができました。改めて、出向活動を通して関わらせていただいた皆様、誠にありがとうございました。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
財政審査会議  
委員 青木 源

一年間出向活動に対するご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
財政審査会議  
委員 **西澤 準**

## 出向で得たもの

2023年度財政審査会議に出向させていただきました。昨年、窪副議長からお誘いをいただいたとき、委員会の特性から自分には無理、時間やお金も掛かってしまう。と、言い訳ばかりが頭をよぎりました。

しかし、今なら断言できます。出向へは一度は行ってみるべき、自分の名前を挙げてくれる方がいる事にもっと感謝するべき、これから出向へ行こうかと迷っている方がいらっしゃれば強くお勧めをしたいと思います。

出向先で得られるものは人それぞれだと思いますが、各LOMの要職経験者や先輩方、沢山の同じ志を持つ同志に出会えたことが今後の私の活動の肥やしになってくれたことは間違いありません。出向は強くお勧めします。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
財政審査会議  
委員 **山崎 義明**

## 新たな思い出たち

本年、公益社団法人日本青年会議所財政審査会議へ出向させていただき、誠にありがとうございました。

私が財政審査会議へ出向をする上で一つ心に決めていたことがあります。それは、窪副議長を一人にさせないということです。長野メンバーで行う小会議に加え、月に一度行われる財政審査会議にもできる限り参加しました。時には、長野メンバー全員で秋田県能代市へ行くこともあり、財政審査会議での活動に加え、窪副議長のリーダー像を学ぶ貴重な経験ができました。

この財政審査会議で学んだこと、関わった全てのメンバーとのかけがえのない経験を今後のJC活動に繋げていきます。1年間ありがとうございました。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
規則審査会議  
副議長 **山内 孝次**

## 幸運の女神には前髪しかない

本年度、出向による成長の機会をご提供いただきました、加藤理事長をはじめとする長野メンバーの皆様へ御礼申し上げます。

また、私たちの出向を支えてくださった、横川委員長をはじめとする広報渉外委員会の皆様、完璧なサポートをありがとうございました。

そして何より、一緒に出向していただきました山田洋輔小幹事、スーパーバイザーとして様々な点についてサポートいただいた伊藤拓宗顧問、落合拓君、世界中を飛び回る仕事で多忙を極める中、出向に全力を尽くしてくださった原山大樹君、そして私が懇親会でフラフラになるたびに介抱してくださった中川広三君、1年間、本当にありがとうございました。

本年度の規則審査会議は「誰もがコンプライアンスを守りあらゆる法人の模範となる組織となること」をビジョンとして掲げて活動に邁進させていただきました。1月の京都会議では、全国のコンプライアンス担当者向けにコンプライアンスセミナーを開催しました。また、各地会員会議所、地区協議会、ブロック協議会の相談窓口となって、あらゆる事業の法的問題やコンプライアンスに関する助言支援を行いました。

特に、本年度は合併、名称変更、解散、公益社団法人から一般社団法人への移行、定款変更といった法的観点からのサポートの必要な組織運営を必要とする会員会議所が多数ございました。ZoomやLINEグループを活用したサポートで対応可能なものもございましたが、現地に赴いて対応すべき事案もございました。組織の在り方は時代と共に変わってまいります。本年、規則審査会議に出向したメンバーは、「長野青年会議所の在るべき組織を検討するに際して大いに活躍できる人財」となることができたのではないかと思います。

最後に、本年度の日本青年会議所のトップは麻生将豊会頭だったことから例年になく非常に多く出向希望者が多く、各地会員会議所から聞いたところではスタッフ出向したくても枠が獲得できなかったとお聞きしました。そのような高倍率の中でもスタッフ出向させていただくことができたのは、先輩諸氏が連綿と築いてくださった出向文化と日本青年会議所における確立した信頼・影響力・ブランド力のおかげです。私たちの出向が、次の世代の出向の礎となれたのであれば、これ以上にうれしいことはありません。

日本青年会議所への出向は、俯瞰してみることができる非常に貴重な機会です。全国各地のまちや各地会員会議所を実際に見て、その地域の人々との交流を通じて、私たちのまちや、長野青年会議所の魅力や他のまちとの違い、取り入れるべきところ、長野のブランディング、そして自らの長所とノビシロを知ることができる非常に貴重な機会です。

「幸運の女神には前髪しかありません」。

チャンスがやってきたら絶対に逃さずつかんでください。

成長の機会を逃さぬために。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
規則審査会議  
委員 伊藤 拓宗

## 機会を掴む

今年度、日本青年会議所規則審査会議に出向させていただきました。審査する側として、議案や資料を見る高度な力や知識が求められる会議体で当LOMから出向された年数の浅いメンバーが果敢に挑み活躍していた姿に感銘を受けました。出向の機会は貴重な経験や全国の人脈が広がります。その機会を能動的に掴み取っていくメンバーが更に増えることを期待しています。

結びに、お声がけいただいた山内副議長、出向を許可しご支援をいただいた正副理事長の皆様はじめ長野青年会議所メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
規則審査会議  
委員 原山 大樹

## 蛙よ大海を知れ

正会員一年目の私が、青年会議所の組織把握もままならないまま、出向へのお声がけをいただき、学んだこと。言い換えれば、井の中も知らない蛙が大海へ出ちゃって学んだこと。それは、常識を疑うこと。つまり、自分の中の常識は実は非常識かもしれないことを知る良い機会になったと日を追うごと、人と交わる度に感じております。

末筆となりますが、貴重な体験をご提供いただいた加藤理事長はじめ、メンバーの皆様。また、この会議体をまとめていただきました山内副議長、出向メンバーの皆様、全ての方々に深く感謝申し上げます。

海は広いな大きいな。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
規則審査会議  
委員 中川 広三

## 麻に連るる蓬

そう、ある日突然に1本の電話からすべてが始まり、何もわからないまま出向を決め、「あっ」と言う間に1年が過ぎ今このレポートを書いている。

出向の魅力は何かと聞かれたら其々の会議体、委員会の目的を果たす過程での成長は無論のこと、全国の同志と同じベクトルを向き熱く語らうことで、JC活動の意義、奥深さ、幅広さを再認識できることだと振り返る。

結びに貴重な挑戦の機会を与えていただきました加藤理事長を初めメンバーの皆様、活動を支えて頂きました委員会の皆様、そして山内副議長を初め規則審査会議のメンバーの皆様にご最大限の感謝をし、一本の電話から始まった出向活動に幕を閉じたいと思う。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
規則審査会議  
委員 山田 洋輔

## 出向

何故か出向メンバーに選ばれ、何故か小幹事に選ばれ、、、仕事や家庭の都合でなかなか参加出来ず、悔いの残る出向となってしまいました。

山内副議長、出向メンバーの皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。そして大変お世話になりました。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
規則審査会議  
委員 落合 拓

一年間出向活動に対するご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。



公益社団法人日本青年会議所  
総務グループ  
総務委員会  
委員 日下部好治

## 日本出向の経験

本年度は私自身2度目の日本青年会議所への出向を経験させていただきました。今年度の出向は総務系の会議への出向となり、1度目の出向は事業系でしたので前回とはまた違った経験もできました。改めて出向の機会をくださった正副理事長の皆様、希望育成委員会メンバーの皆様はこの場を借りて御礼申し上げます。

出向の醍醐味は人それぞれ違うと思いますが、私が思うのは、LOMとは違った価値観に触れることができるということです。LOMでは当たり前のことが日本青年会議所では違う、またほかのLOMでは違うということです。各LOMでの伝統や考え方の違いがあるのは当然ですが、そういった同志の価値観に触れることができるのは、出向に行ってこそだと改めて感じました。

出向に行ける環境にあるメンバーには次年度以降、是非出向の声がかかった際には一度行ってみたいと思います。真剣に向き合えばきっと何か気づきがあるはずです。自分の頑張りが自分や周りの方、そして町を変えることができる。それが出向です。



公益社団法人日本青年会議所  
北陸信越地区協議会  
副事務局長 宮澤 拓也

## 寂しき単独出向

本年度、北陸信越地区協議会事務局に副事務局長として単独出向させていただきました。

もともと、副事務局長とは名ばかりで、なかなか現地参加がかなわず、実質的には議事録作成業務がほとんどといったかたちとなってしまいました。

それでも、現地参加することができた際には、地区協議会のメンバーの皆さんが温かく迎えてくれ、心細さを感じることなく活動させていただくことができました。

初の単独出向でありかつほとんど現地参加がかなわなかった関係で、今年はお出向をしっかりと味わうことができませんでしたが、また機会があれば、是非、出向させていただきたいと思います。

貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



公益社団法人日本青年会議所  
北陸信越地区  
長野ブロック協議会  
副会長 白土 巴瑠香

## ブロック出向を終えて

本年度、公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会に副会長として出向させていただきました。出向者個人の活動やその推進する運動に触れる機会は少なく、ともすれば『なかったこと』になってしまう可能性も決して少なくはありません。そのような中で、本年度出向者個人やその推進する運動について耳にする機会が多かったのは、一重に加藤理事長がご挨拶の際に繰り返し取り上げてくださったからに他なりません。70周年という節目の年度にLOMだけでなく出向にも目を向けていただくとともに光を当ていただき、ありがとうございました。また、ブロック協議会へのスタッフ出向という貴重な機会を与えていただきました加藤理事長をはじめとする正副理事長会議の皆さま、年間を通じてご支援いただきました唐木沢室長、横山委員長、山崎VCをはじめとする広報渉外委員会の皆さま、出向活動へのご理解をいただきました中村委員長をはじめとする例会委員会の皆さまに感謝申し上げます。

さて、1年半の出向活動をひとことで言うなら『楽しかった』。そう思えるのはトップである北原会長が自分の志を持ちながらもそれを押し付けることなく、委員長達の考えを尊重して想いに寄り添ってくださったからであり、3人の委員長が職務分掌の中で課題とその解決方法に真摯に向き合ってくれたからであり、直前会長や監査担当役員を含め役員一同がその実現に尽力してくださっていたからです。『ブロック協議会はLOMのように頻繁に顔を突き合わせるわけではない分、人と人との関係が深くなりにくい。だからこそ、円滑な人間関係を構築しやすい』と某先輩の言ですが、その恩恵を最大限に受け、人に支えていただいた一年でした。そんな大きな恩恵を与えてくれた長野ブロック協議会ですが、LOMでは出向している最中でさえ『ブロックはレベルが低い』という話を耳にしました。長野青年会議所と比べれば議案の精度も落ちるし、資金的にも規模的にも小さな事業も多くありますが、LOMにはない視点から展開される事業は純粋に面白く、LOMに取り入れたらより効果的な運動の推進に繋がるのでは、と思えることもいくつもありました。もし、ブロックの事業とかよく知らないけど、と思っていらっしゃる方がいれば、ブロック出向経験者と話す機会を作っていただけたらと思います。そして、次にブロック協議会の運動に触れる機会にはぜひ、お互いを尊重してよりよい運動の推進のために取り入れられることがないかを見ていただければ嬉しいです。

文字数に余裕がありますので、最後に少しだけ長野ブロック協議会という組織について記しておきます。青年会議所の中では日本青年会議所及び北陸信越地区協議会とLOMとの情報共有や連携を円滑に行うための連絡調整機関としての役割と、県下17LOMの抱える課題解決のための支援を行う役割を担います。また、長野県のパートナーとして日本青年会議所の運動を推進する役割があり、長野青年会議所が長野市のことを“わがまち長野”と掲げるように、2023年度の長野ブロック協議会では長野県を共通の“ふるさと”として、自分たちの活動圏域をよりよくするための運動を推進してまいりました。

【JAYCEEの覚悟～未来のしあわせ信州をいまここから～】

1年間、ありがとうございました。



公益社団法人日本青年会議所  
北陸信越地区  
長野ブロック協議会  
信州の魅力Plus on!委員会  
委員 小森 穂高

## 出向先で得たもの

灯明委員会から「信州の魅力Plus on!委員会」へ出向をさせていただきました小森穂高です。私としては初めての出向であり、知り合いのいない中、県のブロック活動に参画するにも不安がございました。しかしながら、白土副会長のサポートもあり、また委員の方々の温かさもあり、思ったよりも楽しく活動することができました。活動を通して、県内の知り合いが増え、絆を構築できたことも何よりの収穫でした。また大会を通して平出遺跡のように、県内の魅力ある資産を再認識するきっかけにもなり、とても良い経験となりました。



公益社団法人日本青年会議所  
北陸信越地区  
長野ブロック協議会  
次代につなぐ信州未来づくり委員会  
委員 春日 光雪  
チャールズ  
バーチ

## 今年一年間出向に行き感想と経験した事

本年、長野ブロック協議会次代につなぐ信州未来づくり委員会に出向させていただきました。委員会については月1回、年12回の開催でしたので、1回1回可能な限り参加しました。始めのうちは出向に対する不安だらけでしたが、出向先の委員長に『一緒に活動しよう』と声を掛けていただき、前向きに参加することができました。ただ、私一人で行う活動もあり、委員長に騙されたと感じたことも今では思い出の一つになります。

初出向でしたが、委員会メンバーに恵まれとてもいい経験ができました。また、委員会メンバーの半数近くは私と同じく正会員1年目でしたので、似たような話で盛り上がり、出向の良さを感じることができました。



公益社団法人日本青年会議所  
北陸信越地区  
長野ブロック協議会  
夢を実現する信州リーダー  
拡大委員会  
委員 平野 敦彦

一年間出向活動に対するご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。



五十嵐 康雅

## JCを過ごして…

私は、長野青年会議所に2015年に入会させていただき、8年半お世話になりました。その間私はフォロワーしたやりませんでした、諸先輩方・メンバーの皆さんに支えていただき、お陰様でやりきることができました。ありがとうございました。15新連携確立委員会では、準会員としてお世話になり初めての全国大会に委員会の皆さんと同行させていただき、初めての体験をたくさんさせて頂きました。その後も、16びんずる委員会・17例会委員会・18地域連携委員会・19青少年共創委員会・20出向者支援委員会・21総務財務委員会・22びんずる委員会・23地域創生委員会と、携わらせていただき委員長はじめ委員会メンバーの皆さん、楽しいJCライフをありがとうございました。



市川 亮

## 感謝

2018年から5年半、長野青年会議所で活動させていただき、委員会活動や様々な役職を経験することで多くのことを学ばせていただきました。年齢も職種も違う人達が、地域を思い活動することで絆を深めることができるのは、数ある団体の中でも青年会議所だけではないでしょうか。その分、長野青年会議所に限らず、多くのLOMがメンバー減少により事業の縮小のみならず存続の危機にいたることがとても残念に思います。卒業してからも青年会議所という組織が地域に無くてはならない団体が在り続けてくれることを願うばかりです。今まで本当にありがとうございました。



川村 真也

## JC楽しかった。

私のJCは乗り気で始めたわけではありませんでした。やって気に入らなければやめればいからやってみと言われ入会しました。飲み場が好きで、例会に出られなくても懇親会から良いから来てよと言って頂き、参加し、仲良くなり、担当例会の後の懇親会がとても楽しかったのを覚えています。

そして最後の1年、国際交流委員会に配属され、海外には行けませんでした。合同受入事業での経験はかけがえのないものになりました。みんなに迷惑をかけたりましたが、ワイシャツを破り、顔に落書きをし、本当に楽しいJC生活を送らせていただきました。4年間ありがとうございました。



神林 茂雄

## 楽しかったJC生活

長野青年会議所には21から入会し地域経済委員会に配属され最初は、わからないままの中突き進んでいました。JCはお酒をよく飲む団体という事で楽しそうだなと思ったのですがコロナ禍ということもあり、その醍醐味は味わえず2年目はブランディング委員会。こちらも引き続きコロナ禍、毎月の例会はとても勉強になりましたが、もう少しみんなと飲みたかったかなと。この年、初めて県外事業に参加し良い体験をさせていただきました。白土委員長には感謝です。3年目の卒業の年は総務財務委員会に配属され副委員長という役をさせていただきました。この一年は自分にとって大変大切な一年だったのではないかと思います。至らない面もありました。その度委員長含め同委員会の皆様に助けてもらい感謝しかございません。一年ごとに所属委員会は変わりますがその中で出逢う仲間とても大切なものとなりそして自分自身も成長していく、それが長野青年会議所の良いところだなと。私は卒業となりますがこれからの長野青年会議所の益々のご活躍を願っております。ありがとうございました。



小林 芳恵

## いいことしかない

入会した2019年は厄年でした。入会に後ろ向きだった私は、入会も厄年のせいにして、会社への恩返しとして自分に折り合いをつけ入会をいたしました。もともと保守的でネガティブ思考の私ですが、入会して一年ほどたったころ、職場の上司に前向きに変わったと言われたことがあります。常に明るい未来を見据えた同世代のメンバーと関わることで、自分自身も少しは変わることができたと思います。今年度は県外事業にもメンバーと一緒に参加することができ、まさに青春。楽しいことばかりでした。振り返ればいいことばかりが思い出されます。これまでご一緒いただいたすべての皆様に感謝です。ありがとうございました。



竹内 友哉

## 10年間ありがとうございました。

大学から県外にいて2012年に長野に戻って来たときは、約10年のブランクのため仲間や友達がほぼいない状態でした、そこにタイミングよく、叔父から長野青年会議所を紹介してもらいました。13年に入会したときは一人も知り合いがいりませんでした、10年間で数えれないほどの多くの出会いがあり、30代にとっても濃い時間を過ごせました。この間に私生活や仕事でも多くの出来事がありましたが、なんとか続けられたことが一番の自信になったと思います。入会時に衝撃を受けたかっこいいJCに私になれたかはわかりませんが、視野が広がり人生最後の学校で沢山学ばせてもらいました。長い間本当にありがとうございました。長野青年会議所万歳！



寺澤 みゆき

## チャレンジすることの大切さ

気が付けばもう卒業。あっという間の2年半。2年半のJC生活で私は何を残せたのであろうか。今になってもっと色々と積極的にやればよかったとの後悔があります。

皆さんには私と同じ後悔はして欲しくないのでもし何か頼まれたときに自分には出来ないと思うのではなく「どうしたら出来るのだろうか」「とりあえずやってみよう」と考えて頂きたいと思います。何もせず困ったことがあるときだけ助けて欲しいといっても周りの人は手を差し伸べてくれませんが、真剣に取り組んだ結果困ったときは必ず誰かが手を差し伸べてくれます。

私もたくさんの人に支えてもらい無事卒業となります。

短い間でしたが皆さま、本当にありがとうございました。



中村 律王

## 卒業

2019年に準会員として長野青年会議所のメンバーに加入して4年と半年を振り返ってみると、本当に多くのメンバーと出会い、同じ運動を共にした仲間との絆は、自分の財産になったと強く感じます。入会前に聞いていた「一生の友達を作れる」という言葉に偽りはありませんでした。単年度制の中で、毎年変わるメンバーと共に楽しい時も苦しい時も一緒に乗り越えたからこそ仲間の絆が芽生え、一年が終わる頃には強い絆となっていました。その絆は「一生の友達」となり、これからの人生が明るく豊かな道となりました。出会った全てのメンバーに感謝するとともに、現役メンバーに良い出会いがあることを願います。



増子 桂介

## 多くの人との出会いに感謝

2018年の入会から5年半。長いようで短い中途半端な在籍期間でしたが、様々な成長の機会を通じて、たくさんの人と出会うことができました。これは、私が入会した年にステップアップセミナーで発表した目標でありました「友達100人作る」という目標を達成することができました。長野のメンバーは勿論のこと、県内各地で交流したメンバーに加え、日本JCに出向したときに出会った全国各地のメンバー、更には姉妹JCや友好JCである海外のメンバーとも友情を育むことができました。

入会しなければ出会うこともなかった多くの人のご縁をいただけたことは、生涯の財産となりました。本当にありがとうございました。



松澤 隆司

## ありがとうございました

私にとって長野青年会議所での経験は多くの成長と学びを得ることができました。ただ新しい経験を積みたいという思いから入会を決意しましたが、この場で得たものは、それ以上のものでした。

特にリーダーシップの重要性には痛感しました。プロジェクトやイベントを通じてリーダーシップの要諦を学び、仲間たちと協力することの意味を理解しました。長野青年会議所は、単なるメンバーシップ組織ではなく、自己成長と社会貢献を行うことができる最高の場でした。

これからもこれらの経験を胸に、社会に貢献する一員として邁進していきます。皆様との繋がりを大切に、新たな挑戦に向けて進んでいきます。今までありがとうございました。



松野 功

## 人は組織でしか磨かれない

多くの人は「断片的な情報だけで分かったような気になっているだけ」な人が多い。

昔から多い、多分私もそうだからである。

ここまでの文章で笑える方はJC生活を真剣にやっていたのではないのでしょうか。

自分なりではありますが真剣に青年会議所運動に取り組み真剣にふざけ散らかしてみました。

現役の皆さんにはもっと真剣に「仕事」「家庭」「JC」に取り組んでみてほしい。

苦楽を共にするからこそ、人は組織に磨かれることを私は学びました。



松原 一平

## ありがとうございました！

2021年に準会員として長野青年会議所に入会して、2年半皆さまには大変お世話になりました。

入会当初はひっそりと卒業まで過ごそうと思っていましたがそうも行かず、びんずるに始まり同時進行の担当例会。理解が追いつかないままどんどん進んでいく事業に戸惑いストレスが溜まる一方でした。「辞めてやろう」と何度も思いました。しかしその度に助けてくれる先輩方や、同期の仲間と苦楽を共にする中でJCの魅力を感じ、ラスト1年は心から楽しんで活動することができました。

短い期間ではありましたが、30代後半で青春できるとは思いませんでした！本当にありがとうございました！！



山内 孝次

## 明るい豊かな長野の実現に向けて

入会当時、私は若者が長野ブランド意識を持ち、世界に向けて長野の魅力をアピールしていくまちにしたいと決意表明しました。2021年、私たちは若者に長野の魅力を発信するため公式Instagramを立ち上げ、引き継いでくれた白土巴瑠香委員長、横川歩委員長をはじめとするメンバーの皆さんのおかげでフォロワー数2300名を超えるPRツールにすることができました。本当にありがとうございました。また、本年は出向や国際アカデミーを通じて、長野の魅力を発信する機会を頂いたことにも感謝しております。ぜひ、現役の皆さんにおかれましては、若者を巻き込んで、長野の魅力を全国、そして世界に発信していただきます。6年間大変お世話になりました。



山口 正登

## 感謝！！！！

私は21入会になります。入会当初は仕事に追われており、日々なにか変化を求めている時にお誘いを頂きました。

最初は長野青年会議所の存在を知らずに話しを聞きに行きましたが、長野びんずるに携わっている事を知りとても興味を惹かれた事を今でも覚えております。

そして勧誘してくれた方々が皆活き活きとしていた事が勧誘の決め手になり、私も今の自分より更に成長出来るかなと思い入会を決めました。

あっという間の2年半でしたが、長野びんずるに携われた事、周年事業に携われた事、サマコン、全国大会や各事業を通して沢山の経験をさせて頂きましたが、一番は一生の仲間が出来た事が最高の宝物になります。

長野青年会議所に入会して本当に良かったと思っております。皆に支えられて無事卒業が出来ました。

本当にありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願い致します。



管理者  
福島 勇太

## 管理者所見

本年は管理者業務にも携わせていただきました。管理者は、年間を通して定款の規則に則り入会・休会・退会の管理をし、そして全会員の活動状況を点数管理し理事会で報告をする重要な役割です。

昨今の厳しい社会情勢の中、覚悟を持って入会を決意してくれた者、また仕事や環境の変化で退会をせざるを得ない者と様々ですが、時には管理者は会費の未納者対応にも当たらなくてはなりません。嫌われ者の立場となってしまいますが、今自分がこうして活動できているのも、家庭や会社、そして先輩や仲間のお陰だと実感しています。

結びになりますが、管理者として一年間兼務させていただき関係各所で様々な会員にお力になっていただきました。誠にありがとうございました。



会計責任者  
増子 桂介

## 会計責任者所見

本年度、会計責任者の職をお預かりし、当会議所の財務の適切な管理運営のための各種事務、決算に必要な手続きや財務諸表の作成等を担いました。

特に本年度は、例年の会計事務に加え、創立80周年記念事業開催に向けた積立金の準備、さらには当会議所が保有する、いわゆる「遊休財産」を70周年未来ビジョンに基づき今後10年間で有効活用するための計画を立案いたしました。当計画は、当会議所が近年抱えてきた財務に関する課題を改善すると同時に、まちづくり・ひとづくり団体である当会議所の運動推進力を向上させる内容であると自負しております。計画の立案に当たりましては、宇賀田監事から丁寧なご指導をいただき、理事会やオープン会議を通して現役会員からも大変有意義なご意見を頂戴しました。また、財務担当の若林理事には一年間、卓越した補佐をしていただきました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

当会議所の運動が将来に亘って益々力強く推進されることを祈念し、会計責任者の所見とさせていただきます。



加藤 大太郎



出沢 寛崇



平野 敦彦



増田 年晴

これまでJC活動を支えていただき、ありがとうございました。



規則責任者  
唐木沢 正晃

## 規則責任者所見

規則責任者として、当会議所の活動・運動における法令遵守（コンプライアンス）のための各種会議・手続きを一年間管理させていただきました。

創立70周年を迎えた本年度は、周年事業をはじめとする対外との交流機会、対外へ積極的に情報発信する機会が多く、その都度、正副理事長会議等を通じてコンプライアンスの重要性並びに具体的な事業及び広報の実践方法を発信してまいりました。特に、菅義偉様、成田悠輔様をお招きした記念講演会（8月公開例会）は対外的にも大きな注目を集めました。注目される分だけ緊張感を持って事業実施に努めなければならないことを改めて感じさせていただきました。

契約書や各種書類の作成補助、確認等の実務的な部分は、規則担当者の勝野理事に一年間を通して多大な貢献をしていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。2023年度のすべての事業が特段の問題を生じずに終えることができましたことをご報告いたしまして、規則責任者の所見とさせていただきます。



事務局長  
檜本 大介

## 事務局長所見

一年間、事務局長の職をお預かりさせていただきました。事務局長は、法令及び定款に規定される備付書類を管理するとともに、当会議所の庶務を行う職とされております。事務局長の職を通じて組織全体の動きや関係各位との連携の様子を俯瞰することができ、これは入会9年目の私にとっても非常に大きな経験となりました。

また、年度末には正副理事長会議にて事務局の備品整理、大清掃を敢行致しました。より会員の皆様に事務局を利用しやすい環境を整えることができましたので、皆様におかれましては、今後益々事務局を利用いただき、まちのため組織のために汗を流していただくことを願うばかりです。

こうして私が事務局長としての職を全うすることができましたのも、事務局運営を支えていただきました増子専務理事や役員の皆様、総務財務委員会をはじめとする会員の皆様、日頃より事務局管理を支えていただいております小林事務局員のおかげでございます。皆様への感謝を申し上げ、事務局長の所見とさせていただきます。

## 1月 January

日/曜日	会議・事業・行事
1 日	事務局閉鎖 第1回臨時理事会
2 月	
3 火	
4 水	
5 木	
6 金	第26回正副理事長会議
7 土	
8 日	
9 月	
10 火	
11 水	定例発送
12 木	第1回定例理事会
13 金	第27回正副理事長会議
14 土	賀詞交歓会 卒業式 1月例会
15 日	
16 月	第9回財コ
17 火	第28回正副理事長会議
18 水	
19 木	京都会議
20 金	日本理事会 北陸信越地区会員会議所会議
21 土	(日本総会)
22 日	
23 月	
24 火	第29回正副理事長会議
25 水	
26 木	広報勉強会
27 金	
28 土	第1回定時総会
29 日	長野ブロック会員会議所会議・全体会議
30 月	第10回財コ
31 火	第30回正副理事長会議

## 3月 March

日/曜日	会議・事業・行事
1 水	RINX 4 事務局会議
2 木	第3回定例理事会
3 金	
4 土	
5 日	
6 月	
7 火	第35回正副理事長会議
8 水	定例発送
9 木	
10 金	日本理事会
11 土	
12 日	
13 月	第13回財コ
14 火	第36回正副理事長会議
15 水	
16 木	3月例会
17 金	台中訪問
18 土	
19 日	
20 月	第37回正副理事長会議
21 火	
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	日本総会
26 日	
27 月	第14回財コ
28 火	第38回正副理事長会議
29 水	長野ブロック会員会議所会議
30 木	第4回定例理事会
31 金	ソウルガンプオンライン懇談会

## 2月 February

日/曜日	会議・事業・行事
1 水	
2 木	第2回定例理事会
3 金	
4 土	
5 日	
6 月	
7 火	第31回正副理事長会議
8 水	定例発送
9 木	第20回長野灯明祭り シニアクラブ総会
10 金	
11 土	
12 日	
13 月	第11回財コ
14 火	第32回正副理事長会議
15 水	
16 木	2月例会
17 金	
18 土	日本理事会
19 日	
20 月	
21 火	第33回正副理事長会議
22 水	
23 木	
24 金	長野ブロック会員会議所会議
25 土	
26 日	
27 月	第12回財コ
28 火	第34回正副理事長会議

## 4月 April

日/曜日	会議・事業・行事
1 土	
2 日	
3 月	
4 火	第39回正副理事長会議
5 水	
6 木	
7 金	
8 土	
9 日	青少年育成事業キックオフミーティング
10 月	第15回財コ
11 火	第40回正副理事長会議
12 水	定例発送
13 木	
14 金	居酒屋の青春
15 土	北陸信越地区会員会議所会議 長野ブロック会頭公式訪問
16 日	
17 月	
18 火	第41回正副理事長会議
19 水	びんずる総会&安全対策会議
20 木	4月例会
21 金	
22 土	日本理事会
23 日	
24 月	第16回財コ
25 火	第42回正副理事長会議
26 水	長野ブロック会員会議所
27 木	第5回定例理事会 第二十回長野灯明まつり 決算総会
28 金	
29 土	
30 日	

5月  
May

日/曜日	会議・事業・行事
1 月	富士JC、高崎JC周年事業招待状持参 ながの祇園祭屋台運行実行委員会令和5年度総会
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	
6 土	
7 日	
8 月	びんずる事務局開き
9 火	第43回正副理事長会議
10 水	ASPAC inジャカルタ 定例発送
11 木	
12 金	
13 土	
14 日	
15 月	第17回財コ
16 火	第44回正副理事長会議
17 水	前期入会対象者説明会
18 木	5月例会
19 金	
20 土	日本理事会
21 日	
22 月	
23 火	第5回委員会会議所
24 水	第45回正副理事長会議
25 木	
26 金	
27 土	
28 日	長野ブロック野球大会
29 月	第18回財コ 善光寺の世界遺産登録をすすめる会
30 火	第46回正副理事長会議
31 水	

6月  
June

日/曜日	会議・事業・行事
1 木	第6回定例理事会
2 金	
3 土	新入会員セミナー
4 日	▼
5 月	北信5 LOM
6 火	第47回正副理事長会議
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	
12 月	第19回財コ
13 火	第48回正副理事長会議
14 水	定例発送
15 木	
16 金	6月例会
17 土	塩尻青年会議所周年事業
18 日	青少年育成事業ながの子どもみらいフェスタ
19 月	
20 火	第49回正副理事長会議
21 水	RINX - 4 総会
22 木	
23 金	
24 土	日本理事会
25 日	青少年育成事業クロージングミーティング
26 月	第20回財コ
27 火	第50回正副理事長会議
28 水	第6回委員会会議所
29 木	第7回定例理事会
30 金	北陸信越地区委員会会議所

9月  
September

日/曜日	会議・事業・行事
1 金	
2 土	
3 日	
4 月	第59回正副理事長会議
5 火	
6 水	
7 木	
8 金	
9 土	ブロック大会in塩尻
10 日	
11 月	第25回財コ
12 火	第60回正副理事長会議
13 水	定例発送
14 木	
15 金	
16 土	日本理事会 9月公開例会
17 日	
18 月	
19 火	第61回正副理事長会議
20 水	
21 木	
22 金	
23 土	
24 日	
25 月	第26回財コ
26 火	第62回正副理事長会議
27 水	アジェンダ作成日
28 木	第10回定例理事会
29 金	
30 土	

10月  
October

日/曜日	会議・事業・行事
1 日	
2 月	
3 火	第63回正副理事長会議
4 水	全国野球大会
5 木	全国大会(東京)
6 金	
7 土	日本理事会&総会
8 日	▼
9 月	
10 火	第27回財コ
11 水	第64回正副理事長会議
12 木	定例発送
13 金	日本理事会
14 土	
15 日	
16 月	
17 火	第65回正副理事長会議
18 水	
19 木	
20 金	
21 土	10月公開例会
22 日	
23 月	第28回財コ
24 火	第66回正副理事長会議
25 水	長野ブロック委員会会議所会議
26 木	長野燈明まつり予算総会・事務局開き 第11回定例理事会
27 金	
28 土	JCI須坂55周年式典
29 日	
30 月	
31 火	第67回正副理事長会議

7月  
July

日/曜日	会議・事業・行事
1 土	地区フォーラムin勝山
2 日	北陸信越地区野球大会
3 月	
4 火	第51回正副理事長会議
5 水	
6 木	
7 金	
8 土	祇園祭育山
9 日	祇園祭屋台巡行
10 月	第21回財コ 国際アカデミー10日~15日まで
11 火	第52回正副理事長会議 オープン会議
12 水	定例発送 第2回臨時総会
13 木	
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	
18 火	第53回正副理事長会議 オープン会議
19 水	第22回財コ
20 木	7月例会
21 金	日本理事会 びんずる参加説明会
22 土	サマーコンファレンス
23 日	▼
24 月	第54回正副理事長会議
25 火	長野ブロック委員会会議所会議
26 水	
27 木	第8回定例理事会
28 金	アイドルミッション
29 土	
30 日	RINX-4 アイドルミッション
31 月	

8月  
August

日/曜日	会議・事業・行事
1 火	第55回正副理事長会議
2 水	
3 木	
4 金	
5 土	第53回長野びんずる
6 日	びんずる片付け早朝清掃
7 月	第23回財コ
8 火	第56回正副理事長会議
9 水	定例発送
10 木	
11 金	
12 土	
13 日	
14 月	
15 火	
16 水	
17 木	
18 金	ガンブ・台中合同受入
19 土	8月例会(70周年記念講演会) 70周年記念式典 70周年記念祝賀会 ガンプ・台中合同受入
20 日	ガンブ・台中合同受入
21 月	ガンブ受入
22 火	第57回正副理事長会議
23 水	
24 木	
25 金	
26 土	第2回定時総会
27 日	
28 月	第24回財コ
29 火	第58回正副理事長会議
30 水	長野ブロック委員会会議所会議
31 木	第9回定例理事会

11月  
November

日/曜日	会議・事業・行事
1 水	
2 木	後期対象者説明会
3 金	
4 土	
5 日	
6 月	第29回財コ
7 火	第68回正副理事長会議
8 水	定例発送
9 木	11月例会
10 金	ながの祇園祭 決算総会
11 土	
12 日	
13 月	
14 火	世界会議inスイス
15 水	
16 木	
17 金	
18 土	▼
19 日	
20 月	
21 火	第69回正副理事長会議
22 水	
23 木	長野ブロック委員会会議所(新旧合同) サッカースクール運動会
24 金	第30回財コ
25 土	日本理事会 RINX-4 総会
26 日	地区委員会会議所(新旧合同)
27 月	第70回正副理事長会議
28 火	第3回臨時理事会
29 水	ソウル江北訪問
30 木	ソウル江北周年式典

12月  
December

日/曜日	会議・事業・行事
1 金	第12回定例理事会
2 土	後期新入会員セミナー
3 日	▼
4 月	
5 火	第71回正副理事長会議
6 水	
7 木	シニアクラブ第2回総会
8 金	
9 土	第3回定時総会 12月例会
10 日	
11 月	恩出し会
12 火	第72回正副理事長会議
13 水	定例発送
14 木	
15 金	第31回財コ
16 土	日本理事会
17 日	
18 月	
19 火	第73回正副理事長会議
20 水	
21 木	第32回財コ
22 金	
23 土	
24 日	
25 月	
26 火	第74回正副理事長会議
27 水	
28 木	事務局閉鎖
29 金	
30 土	
31 日	▼

## 監事意見書

公益社団法人長野青年会議所定款59条1項1号2号の規定により

2023年度事業報告について閲覧し

25回の会議、6室11委員会の運営、53項目の事業

年間運動実績に関し事業計画と照合し監査したところ

内容について適正であると判断いたしました。

2024年 1月 10日

公益社団法人長野青年会議所

監事

鶴田 真央

監事

山内 孝次

### ■2023年度 公益社団法人長野青年会議所出席点数集計表（1月～12月）

監事・理事長・顧問・直前理事長・副理事長・専務理事・室長		集計点数
監事	鶴田 真央	53
監事/出向	山内 孝次	152
理事長	加藤 昇平	304
顧問/出向	伊藤 拓宗	60
直前理事長	中川 大三	112
総括副理事長	市川 亮	244
副理事長	唐木 沢正晃	194
副理事長	田上 直寿	205
副理事長	村田 雄介	219
副理事長	福島 勇太	195
副理事長	若麻 績憲義	196
専務理事	増子 桂介	273
室長	橋本 大介	203

地域創生委員会		集計点数
委員長	宮尾 龍介	73
副委員長	今井 昌実	61
副委員長	鈴木 剛	63
副委員長	武内 祐磨	58
委員	五十嵐康雅	21
委員	鶴野 裕基	23
委員/出向	大島 裕太	43
委員/出向	中川 広三	75
委員	水野 宏樹	18
2023年前期準会員	小林 巧	38
2023年前期準会員	西宮 大士	43
2023年前期準会員	和田 凌弥	23

会員拡大委員会		集計点数
委員長	小林 徹哉	89
副委員長	小山 宙航	92
副委員長/出向	平野 敬彦	10
委員	青木 裕	0
委員	高野 裕也	42
委員/出向	西澤 準	71
委員	宮沢 洋平	51
委員	田中 義一	62

総務財務委員会		集計点数
委員長	長田 雄介	85
副委員長	神林 茂雄	58
副委員長	西澤 孝仁	55
副委員長	松原 一平	59
委員	小澤 太郎	54
委員	北田 大己	0
委員	小山 美喜	0
委員	松澤 隆司	40
理事/委員	若林 裕士	71
委員	秋山 英範	68
2023年前期準会員	内田 那	16
2023年前期準会員	太田 和希	19

灯明委員会		集計点数
委員長	町田 孝幸	94
副委員長	小布施達也	68
副委員長	峯村 侑弥	60
副委員長	青野 間宏秋	69
委員	石坂 将人	37
委員	荻原 功吉	40
委員/出向	小森 穂高	64
委員	三村 拓人	46
委員	山中 雅紀	38
2023年前期準会員	小泉 深	22
2023年前期準会員	田中 裕之	7
2023年前期準会員	林部 祐也	35

びんずる委員会		集計点数
委員長	竹内 友哉	85
副委員長	北島 謙治	70
副委員長	増田 年晴	65
副委員長	柳澤 龍志	67
委員	岩井 勇樹	0
委員	長田 竜樹	53
委員	桜井 啓介	49
委員	島津 恵子	8
委員	商角 絵美	31

広報渉外委員会		集計点数
委員長	横川 歩	109
副委員長	中野 大輔	53
副委員長	西川 豪	14
副委員長/出向	山崎 義明	131
委員/出向	落合 拓	3
理事/委員	勝野 照章	72
委員	佐藤 廉	75
委員	永戸 貴大	45
委員/出向	山田 洋輔	31
2023年前期準会員	竹内 進	6
2023年前期準会員	宮澤 卓也	27

希望育成委員会		集計点数
委員長	宮澤 遼	58
副委員長	金丸 望美	41
副委員長	田中 裕樹	44
副委員長	出沢 寛崇	18
委員	加藤大太郎	0
理事/委員/出向	日下部好治	46
委員	寺澤みゆき	47
委員	戸谷 保明	29
委員/出向	原山 大樹	36
2023年前期準会員	小林 紀世希	14
2023年前期準会員	小林 圭	16
2023年前期準会員	多田 了	24

70周年レガシー委員会		集計点数
委員長	有吉 隆	59
副委員長	清水 努	44
副委員長	塚田 翠	56
副委員長	和田 卓也	42
委員/出向	伊藤 陵輔	55
委員	海野 良瑛	28
委員	徳永虎千代	0
委員	峯村 直樹	35
理事/委員/出向	宮澤 拓也	44
委員	山口 正登	40
委員	大工原遼太	63
2023年前期準会員	清水 亮	41
2023年前期準会員	長澤 瑞樹	32

例会委員会		集計点数
委員長	中村 律王	64
副委員長	飯塚 大	30
副委員長	町田 慎也	48
副委員長	松野 功	44
委員	小林 芳恵	46
委員	佐藤 太一	46
委員/出向	白土巴瑠香	210
委員	袖山 大和	36
委員	中島 秀朋	19
2023年前期準会員	内間 亘太	17
2023年前期準会員	荻原 和	6

国際交流委員会		集計点数
委員長	倉島 盛郎	89
副委員長	池田 竜一	45
副委員長	浦野 健司	35
副委員長	干川 龍馬	59
委員/出向	青木 源	64
委員	小野 重勝	25
委員	川村 真也	21
委員	小林 優輔	54
委員	徳竹 恵里香	29
委員	横田 将	25
2023年前期準会員	鈴木 晴海	33
2023年前期準会員	丸山 陽平	24
2023年前期準会員	渡辺 大輔	28

70周年ビジョン委員会		集計点数
委員長	磯 宏典	68
副委員長	福岡 正芳	64
副委員長	松本 拓城	56
委員	伊藤 新祐	19
委員/出向	春日光 雪 チャールズパーチ	33
理事/委員/出向	窪 智敬	137
委員	黒岩 龍	28
委員	小 潤 哲	1
委員	西村 奈美	39
2023年前期準会員	笠井 尚樹	13
2023年前期準会員	関原 司	22

正会員数	115
準会員数	22
会員総数	137

出向者	18
-----	----

生年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
昭和(平成)	58	59	60	61	62	63	64(1)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
卒業年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
加藤大太郎			福島 勇太															
増田 年晴			磯 宏典			松本 拓城												
竹内 友哉			伊藤 拓宗		岩井 秀樹													
伊藤 新祐 藤田 真央			宮尾 龍介															
五十嵐康雅	田上 直寿	加藤 昇平 橋本 大介			有吉 隆													
鶴野 裕基 日下部好治 小林 優輔			窪 智敬			町田 悠也												
山内 孝次 今井 昌栄 田中 裕樹			塚田 翠			宮澤 折也 若麻謙義			徳永虎千代									
市川 亮 梶野 桂介 松野 功	長田 雄介	村田 雄介	白土巴瑞香	金丸 望美 西澤 孝仁	清水 勇			佐藤 廉										
小林 芳恵 中村 松澤 松澤 隆司	青木 高達也 中野 幸宏 水野 宏樹	坂原 盛裕也 高野 裕也 徳竹恵里香	大野 潤宏 若麻謙幸	唐木沢正 若麻謙幸	鈴木 卓也	岡内 祐磨 北川 龍馬			落合 拓									
川村 貴也 平野 敦彦	石坂 将人	小林 徹哉	勝野 照幸															
神林 茂雄 出次 尚志 山崎 正登	浦野 健司 小山 正登	池田 竜一	萩原 功太	大島 裕太 西川 豪	中野 裕太 大輔 裕士	北島 謙治 小山 美穂 宮澤 遥	山崎 義明	福岡 正芳	黒岩 龍		柳澤 龍志							
青木 裕介 板山 中川 中川 秀三 西村 奈美 高島 山田	源 大和 山田 三郎 中川 秀三 西村 奈美 高島 山田	戸谷 保明	秋山 三村 宮沢 洋平	英範 拓人 大輔 洋平	小澤 大樹 伊藤 長西	藤 龍輔 清水 多田	小林 紀世希	内閣 巨太 太田 和希 小泉 深 小泉 巧 鈴木 晴海	小野 重勝									
五井 尚樹 田中 裕之	竹内 丸山	進 陽平	藤原 司 宮澤 大輔		内田 隆平 清水 多田	藤 龍輔 清水 多田			西宮 大士	小林 圭	和田 凌彦	長澤 瑞樹						
		轟 敬輔 堀内 清文		川橋 哲平		片平 大地		武野 成哉										吉池 悠汰

年度	1953 / 昭和28年	1954 / 昭和29年	1955 / 昭和30年	1956 / 昭和31年	1957 / 昭和32年	1958 / 昭和33年
期間	1953年7月22日～1954年6月30日	1954年7月1日～1955年6月30日	1955年7月1日～1956年6月30日	1956年7月1日～1957年6月30日	1957年7月1日～1958年6月30日	1958年7月1日～1958年12月31日
理事長	加藤邦太郎	中沢 敬	山本 昌平	滝沢 治助	柳沢 一郎	井田 義幸
スローガン						
組織・運営	設立総会・定款制定(7月22日) 日本JC入会認承(9月4日) 第48号 スポンサー 高崎JC	日本JC加入一時休止願提出			創立5周年 日本JC入会認承(9月12日) 日本JC認承通達(9月19日) 認承証伝達式(翌年7月6日) 第131号 スポンサー 富山JC	定款一部改正(翌年1月1日改正) 運営規定制定(不明) 事務局開設 商工会議所内 (11月25日・認可)
事業		写真コンクール 講演会(文化) 時局講演会(国政) 講演会(市政)	文化講演会	写真コンクール	街頭録音 写真コンクール	
				歳末助け合い運動慈善音楽会 若槻療養所慰問、電音他寄贈	歳末助け合い運動慈善音楽会 松代愛学園・三郷寮慰問 毛布・放送設備等寄贈	歳末助け合い運動慈善音楽会 若槻療養所・三郷寮慰問 学用品等寄贈
				植樹祭	植樹祭	芋井、小田切、浅川地区児童 に図書寄贈 福祉・受育施設児童への招待
			新潟大火救済物資発送 能登大火救済物資発送		諫早市水害見舞い	伊豆台風見舞い
						長野夏まつり協賛
						講演会2回
						国際児童画展
						JCセミナー
						視察旅行(東北地方)
						家族大会等
					長野青年会議所ニュース創刊	
褒賞					北陸信越地区会員大会初参加 第1回北陸信越地区会員大会(富山) 関東地区会員大会出席 第2回北陸信越地区会員大会主管	
各種大会 主管、主要 出向者支援	全国会員大会初参加 第1回全国会員大会(名古屋)					

1959 / 昭和34年	1960 / 昭和35年	1961 / 昭和36年	1962 / 昭和37年	1963 / 昭和38年	1964 / 昭和39年
1959年1月1日～12月31日 井田 義幸	1960年1月1日～12月31日 徳永 勝	1961年1月1日～12月31日 中村 義平	1962年1月1日～12月31日 塚田 和男	1963年1月1日～12月31日 木村 恕	1964年1月1日～12月31日 小笠原武一
					新時代策若さ指導力 (日本JCSローガン)
	定款全面改正(4月8日承認) 会員資格規定・慶弔旅費規程制定 事務局移転 商工会議所新庁舎 (11月15日・緑町1403番地) 松本JC認証伝達式(スポンサー)		創立10周年 定款一部改正(1月21日承認) 飯田JC認証伝達式(スポンサー)	上田JC認証伝達式(スポンサー) 運営規定改正(7月3日承認) 会員資格規定改正(7月3日承認)	定款一部改正(11月12日承認)
	懸賞論文 社会の谷間写真展		文化講演会		文化講演会
歳末助け合い運動慈善カクテルパーティー 遊園地を市へ寄贈	慈善カクテルパーティー 盲学校へラジオ贈呈 児童遊園地開園式(下字木)	慈善ビールパーティー 長野県看護学校(若槻)映写機贈呈	10周年記念 育英基金慈善カクテルパーティー	交通安全基金獲得慈善パーティー 身体障害者映画招待会	
記念植樹祭(皇太子御成婚記念)	植樹祭				植樹祭 都市美化器具贈呈 市北部断水JC給水隊 北海道地区冷害義捐金 新潟地農救援隊派遣
		飯田JCへ水害見舞い伝書発送			
長野夏まつり支援2年目 広告祭(前夜祭)始まる	長野夏まつり支援3年目 広告祭参加2年目 新潟JCとの児童相互受け入れ	長野夏まつり支援4年目 広告祭参加3年目	長野夏まつり支援5年目 広告祭参加4年目	長野夏まつり支援6年目 広告祭参加5年目	長野夏まつり支援7年目 広告祭参加6年目 JC主催/レレード
	働く青少年の集い	愛の鐘世論調査 雲上殿愛の鐘寄贈・愛の鐘始鐘式	10周年記念奨学育英基金設立 集団受入式	記念奨学育英基金2年目 働く青少年少女の集い	記念奨学育英基金3年目 集団受入式 働く青少年少女の集い
隠れた善行者の表彰		研修(ブレインストーミング) 「効果的な話し方」		JCサロン“上手な話し方”	
講演会1回、労働講座1回	講演会1回、研究会1回	講演会1回	講演会1回、労働問題講座1回		経営セミナー
クリアウォーターJCに手紙 西独JC会員来訪 世界児童画展	アメリカ生活体験同文交會	時局講演会(国際情勢)	英会話講座 ミス・ライオン招聘 創立10周年記念式典・祝賀パーティー 創立10周年記念ゴルフ大会 創立10周年記念エクスカーション	クリアウォーターJCより電報 インドネシア芸術の夕べ共催 クリアウォーター観光団歓迎夕食會	
講演会2回、座談会1回 視察旅行(四国方面)	講演会1回、座談会等3回 視察旅行(関東・伊豆方面)	座談会2回 視察旅行(東レ・大阪JC・東京JC) 視察団(東南アジア)・視察(小田切小)	講演会1回、座談会3回	講演会1回、座談会等 視察旅行(2回(沖繩・直江津等))	講演会1回、勉強会等 工場見学(トヨタ) 家族大会等 夫人教室等
家族大会等 婦人スクール等	家族大会等 婦人スクール等	JC夫人工場見学	家族大会等 セミナー(テーブルマナー)等	家族大会等 夫人スクール等	家族大会等 夫人教室等
長野青年会議所ニュース2年目	長野青年会議所ニュース3年目	長野青年会議所ニュース4年目	長野青年会議所ニュース5年目	長野青年会議所ニュース6年目	長野青年会議所ニュース7年目
広報委員会設置	PR懇談会 NHK番組理事長訪問				報道関係者を囲む会
					地区最優秀ローカル委員会賞受賞 JCIアジア会議最優秀LOM賞受賞 (奨学育英基金、交通安全等) 小野正孝JCI副会頭立候補途中辞退
日本JC地区担当理事 北陸信越地区協議会会長 中村義平		第5回北陸信越地区会員大会主管 関東地区会員大会及び 甲府JC10周年視察	北陸信越地区協議会会長 塚田和男		

年度	1965 / 昭和40年	1966 / 昭和41年	1967 / 昭和42年	1968 / 昭和43年	1969 / 昭和44年	1970 / 昭和45年
期間	1965年1月1日～12月31日	1966年1月1日～12月31日	1967年1月1日～12月31日	1968年1月1日～12月31日	1969年1月1日～12月31日	1970年1月1日～12月31日
理事長	山本真一郎	北野 幾造	小野 正孝	塚田 俊之	北野 吉造	松橋 昭生
スローガン	福祉国家 創るさきがけ果たせJaycee (日本JCSローガン)	Jayceeの若さで創ろう明るい未来 (日本JCSローガン)	Jayceeの勇気で築こう正しい社会 (日本JCSローガン)	日本の正しい行手 しめせJaycee (日本JCSローガン)	「全員参加」	豊かな心 厳しい自覚 貴け社会の正義 ／長野の住みよさを求めて
組織・運営	小議JC認証伝達式(スポンサー) 定款一部改正(1月1日承認)	定款一部改正(11月24日承認) 理事長選考委員会開始	定款一部変更(1月28日承認) 佐久JC認証伝達式(スポンサー) 会員カード作成開始	創立15周年 社団法人設立総会(9月1日) 設立許可・定款制定(10月1日)	須坂JC認証伝達式(スポンサー) 定款改正(翌年1月1日改正) 細則制定(翌年1月1日制定)	運営規定・会員資格規定 諸規定(旧慶弔旅費規定) 廃止(1月1日) 委員会・部会の縦横組織開始 新入会員募集年1回から年2回に 会員手帳発行
事業	社会開発計画着手 CD先進LOM視察(姫路・貝塚JC) CDを12分野に分類、個別計画着手 社会開発研修会・講演会 第1次長野市民総合アンケート 最緊急→長野電鉄線処理問題 最重要→コミュニティ意識高揚 代議士を囲む会 長野市との懇談会 市長・教育長・教育委員長訪問	CDを12分野毎の研究 社会開発講演会・懇談会・ 研究会 市・市議会へ要望決議文 にて陳情 準備調査費が市予算計上	地域社会開発講演会	CDアンケート懇談会 交通問題懇談会 交通問題アンケート調査	長野市都市計画課との懇談会 交通問題懇談会 知事・市長インタビュー 安保問題勉強会	昭和通り交差点交通公害調査 市長対話、市役所、地域との対話 -市民集会「教育に求めるもの」 善光寺日本忠霊殿落慶行事協力 ゴミ処理問題着手(アンケート調査) →住民意識開発運動
	長野夏まつり支援8年目 広告祭参加7年目 郡山JC交換教師 現場教師懇談会 記念奨学育英基金4年目 勤労青少年対策懇談会 集団受入式 非行少年補導委員5名警察に協力 中学校授業参観	長野夏まつり支援9年目 広告祭参加8年目 青少年問題タラック 記念奨学育英基金5年目 育英生自発的に「路の会」結成 集団受入式 働く青少年少女の集い	長野夏まつり支援10年目 「火と水と音楽と若ものたち」始まる (前夜祭) 奨学育英基金6年目 路の会2年目 集団受入式 世界の教育海外取材報告	長野夏まつり支援11年目 「火と水と音楽と若ものたち」2年目 奨学育英基金7年目 路の会3年目 集団受入式 長野少年サッカー部創設 (青少年フューチャークラブ構想) 水崎 亮 講師 長野高校サッカー部協力SBC後援	長野夏まつり支援12年目 「火と水と音楽と若ものたち」3年目 奨学育英基金8年目 路の会4年目 長野少年サッカー部創設 水崎 亮 講師 長野高校サッカー部協力SBC後援	長野夏まつり支援13年目 「火と水と音楽と若ものたち」4年目 長野市市民祭の長期計画検討 長野青少年グループ連絡協議会発足 奨学育英基金9年目 路の会5年目 長野少年サッカー部2年目 交通安全のつどい 交通安全母の会市内各地に発足 交通安全母の会に働きかけ 交通安全母の会との協力 実践指導力開発研修会 LIAテキストによる研究 新入会員セミナー 経営セミナー 経済懇談会 台中JC経済考察団来訪 台中JCと友好JC調印 イギリス大学生受入 ソ連通商団との経済懇談会 新入会員放談会 新入会員放談会 先遣地視察研修旅行 趣味の会 趣味の会 長野JC内報13年目 長野青年会議所ニュースは広報紙に
		コミュニティ意識形成の基盤として タラック(Tugging)推進 (クリスチャンアカデミー共済)	市民話し合いの会(タラック継続) タラック継続が結実、 交通安全母の会市内各地に発足	交通安全のつどい 交通安全母の会に働きかけ 交通安全母の会との協力	交通安全のつどい 交通安全母の会に働きかけ 交通安全母の会との協力	交通安全問題懇談会 交通安全母の会との協力
	JC研修会、茶道研修会(LT) JCスクール	LT委員会 ロバート講法パンフレット作成 新入会員セミナー	ロバート講法スライド・ 動議リスト作成(LTをLDに改称) 新入会員セミナー 企業経営セミナー 中小企業経営者懇談会	ロバート講法法の継続研究と徹底 LDセミナー 新入会員セミナー 経営セミナー 経済懇談会	LIA リーダーシップイン アクション 導入 LDセミナー 新入会員セミナー 経営セミナー 経済懇談会	実践指導力開発研修会 LIAテキストによる研究 新入会員セミナー 経営セミナー 経済懇談会
	英会話セミナー ソフィア・マクミン招聘 市内中学英語教室へ派遣	英会話セミナー ソフィアマクミン2年目・豪華申請支援 国際親善使節団派遣 (クリアウォーター・カンザシティー) 花柳万利助一行	国際生活体験学生と インターナショナルナイト開催 モンリオール写真展	英会話教室 エリザベスシールズ招聘 イギリス大学生受入	台中JC経済考察団来訪 台中JCと友好JC調印 英会話教室 ソ連通商団との経済懇談会 新入会員放談会	台中JC友好JC2年目 サマーディスカッションツアー 東南アジア留学生対話 題名の無い例会
	講師例会11回 研修旅行 室内競技交流 家族旅行・パーティー等 夫人スクール	社会開発分野毎の例会 研修旅行 囲碁将棋大会等 家族パーティー等 JC夫人の会	研修旅行 趣味の会結成・囲碁将棋大会 家族大会等 JC夫人の集い	趣味の会結成・囲碁将棋大会 家族大会等 JC夫人の集い	先進地視察研修旅行 趣味の会 趣味の会 家族慰安大会	長野JC内報13年目 長野青年会議所ニュースは広報紙に
	長野青年会議所ニュース8年目	長野青年会議所ニュース9年目 月刊定期化・CD特集通年	長野青年会議所ニュース10年目	長野青年会議所ニュース11年目	長野青年会議所ニュース12年目	「若いわれら」長野青年会議所ニュース 対外広報紙始まる
	新聞記者を囲む会 第一次総合アンケート報告記者会見			交通問題アンケート記者会見		
褒賞	県協議会ローカルJC賞受賞	地区最優秀ローカルCD委員会賞受賞 日本JC最優秀CD委員会賞受賞 JCアジア会議最優秀CD賞受賞 JCI世界会議 CD賞第1位受賞	地区優秀LD委員会賞受賞 日本JC最優秀LD委員会賞受賞 JCI世界会議 LD賞第1位受賞 JCI特別個人賞(北野幾造)		地区特別賞(定款改正の方向性)	
各種大会 主管、主要 出向者支援	小野正孝 JCI副会頭当選	JCI副会頭(プログラム担当) 小野正孝	日本JC常任理事 北陸信越地区協議会会長 北野幾造	第12回北陸信越地区会員大会主管 日本JC常任理事(指導力開発室) 小野正孝	日本JC専務理事 小野正孝	日本JC副会頭 小野正孝

1971 / 昭和46年	1972 / 昭和47年	1973 / 昭和48年	1974 / 昭和49年	1975 / 昭和50年	1976 / 昭和51年
1971年1月1日～12月31日 土屋 磯司	1972年1月1日～12月31日 仁科 恵敏	1973年1月1日～12月31日 鈴木宗太郎	1974年1月1日～12月31日 青木恵太郎	1975年1月1日～12月31日 塩沢 聖吉	1976年1月1日～12月31日 鷲澤 正一
豊かな心 厳しい自覚 築こうアジアの進帯感 (日本JCスローガン)	考える、行動する 若い力が未来をひらく (日本JCスローガン)	新しい風かよう 「まち」とJCのために	「明るい健康な 私たちのまちづくりを・・・」 みんなで考え、 みんなでつくりまよう。	育てよう じょうぶな体と 豊かな心の子供たちを	みんなで築こう 参加社会
総括副理事長設置 初女性会員入会(転籍) 中野JC認証伝達式(スポンサー)	篠ノ井JC認証伝達式(スポンサー)	創立20周年	定款一部改正(翌年1月1日改正) 細則一部改正(翌年1月1日改正)	細則一部改正(1月25日承認) 預託金制度開始	会員手帳(名簿)に写真付加 (翌年1月1日制定)
第2次長野市民総合アンケート (訪問面接調査)	第2次長野市民総合アンケート分析 市民討論会 北陸新幹線により長野はどうか変わるか 講師例会	連続公開例会 「五年後の長野市を考える」 (交通・都市計画・商業・環境)	報告レポート 長野都市圏の現状と将来展望 広報特別講座 言論の自由をめぐる問題点	講演会 「岐路に立つ我国の現状と将来」 「自由主義社会に生きる 青年に望むこと」	「国鉄スト権を考える」公聴会 長野市再開発地域代表者への提言 長野市の医療体制を考える」市民集会
				小坂徳三郎氏と特別朝食会	
				地域改善懇談会	地域改善懇談会2年目
	長野篠ノ井連絡協議会 ふるさとハイク	歩行者天国(テスト実施)参加 長野大通り分離帯記念植樹	歩行者天国2年目 市民サイクリング・ハイク	歩行者天国3年目	歩行者天国4年目
					陽気でゆかいな音楽会
					ながの市民健康まつり1回目
長野びんずる創設	第2回長野びんずる	第3回長野びんずる	第4回長野びんずる	第5回長野びんずる	第6回長野びんずる
					講演会「子供のしつけについて」 よりよき放送のためのシンポジウム 教育講座4回
青連協活動	青連協活動	重度障害者生活圏拡大運動 (青連協共催)	JC・ブロック協・長野県 青連協活動支援	青連協活動支援	青連協活動支援
奨学育英基金10年目	奨学育英基金11年目	記念奨学育英基金廃止	仮称「コミュニティ財団」設立方向研究	コミュニティ基金設立	コミュニティ基金2年目OBS推進
路の会6年目	路の会7年目	路の会8年目	路の会9年目	路の会10年目	路の会11年目
AOY基金設立	AOY基金2年目	AOY基金3年目	AOY基金4年目	AOY基金5年目	AOY基金6年目
長野少年サッカースクール3年目	長野少年サッカースクール4年目	長野少年サッカースクール5年目	長野少年サッカースクール6年目	長野少年サッカースクール7年目	長野少年サッカースクール8年目
	一般参加例会 スポーツを通じた青少年育成	働く若者交流事業 静岡JC・静岡体文協・青連協・長野JC	高校入試制度総合選抜制検討	OBSフィルムTV放映・OBS実施協力 幼児交通安全指導	ミニOBSスキー・夏スクール 講演会「現代に生きる」 信州青年希望の船第3船支援
					信州青年希望の船第2船支援
					新入会セミナー・早朝セミナー 模擬団交・賃金調査 経済ビジョン小冊子作成
新入会セミナー	KJ法セミナー 新入会セミナー 労務管理と其の将来像講師例会	新入会セミナー	新入会セミナー	新入会セミナー	新入会セミナー・早朝セミナー 模擬団交・賃金調査 経済ビジョン小冊子作成
台中JC友好JC3年目	台中JC友好JC4年目	台中JC友好JC5年目	台中JC友好JC6年目	台中JC友好JC7年目	台中JC友好JC8年目
					台中JC友好JC9年目
					台中JC友好JC10年目 10周年記念交流
					台中JC友好JC11年目 創立20周年記念式典参加
					台中JC友好JC12年目 韓国ソウル西江JC姉妹提携締結
					台中JC友好JC13年目 ソウル西江JC姉妹JC2年目
					台中JC友好JC14年目 ソウル西江JC姉妹JC3年目 ソウル西江JC姉妹JC4年目 日本JC青年の船
					20周年記念式典・祝賀会 全国JC物故会員法要
スポーツ交流等					
夫人の集り					長野JC内報19年目
長野JC内報14年目	長野JC内報15年目	長野JC内報16年目	長野JC内報17年目	長野JC内報18年目	長野JC内報19年目 (内報委員会設置、定期化)
					青年会議所アワーTV放映 コミュニティながの6年目
「コミュニティながの」創刊 信濃毎日新聞折込	コミュニティながの2年目	コミュニティながの3年目	コミュニティながの4年目	コミュニティながの5年目	コミュニティながの6年目
					青年会議所アワーTV放映 コミュニティながの6年目
					信濃毎日新聞全頁拡大 事業史チャート発表 社会開発に関する調査アンケート 会計マニュアル作成
					定款細則改正研究報告書 中期5ヶ年計画
日本JC CD優秀賞受賞			日本JC		
日本JC 最優秀AOY賞受賞			広報活動推進賞優秀賞受賞		
JCI AOY1位賞受賞					
日本JC監事 小野正孝	日本JC会頭 小野正孝	日本JC直前会頭 小野正孝	長野ブロック協議会会長 富士原信夫	日本JC法制顧問 土屋磯司	日本JC監事 土屋磯司
長野ブロック協議会会長 久保田南(晴達)	日本JC会務担当常任理事 (開発室) 土屋磯司	日本JC副会頭 土屋磯司	北陸信越地区協議会会長 久保田南(晴達)		
小野正孝 日本JC会頭選挙当選					

年度	1977 / 昭和52年	1978 / 昭和53年	1979 / 昭和54年	1980 / 昭和55年	1981 / 昭和56年	1982 / 昭和57年
期間	1977年1月1日～12月31日	1978年1月1日～12月31日	1979年1月1日～12月31日	1980年1月1日～12月31日	1981年1月1日～12月31日	1982年1月1日～12月31日
理事長	石田治一郎	高波 謙二	丸山 永樹	久保田輝男	小林 邦雄	春日 英廣
スローガン	ともに学ぼう 明日(あした)のために	深めよう進帯 燃やそう情熱 創ろう 築こう 心豊かな ふるさと長野	きり拓こう 展望しよう 若い力で あすの社会を あすの長野を	自覚した個人 認めあう社会 語る文化 探るう未来 ふるさと長野	「Heart in Nagano」 成熟の時代(とき) いま私たちは・・・	深めようJayceeの和 築こう郷土(ふるさと)の未来
組織・運営	基金運用規定制定 預託金規定制定 (翌年1月1日制定)	創立25周年			商工会議所ビル落成(12月23日)	事務局移転 商工会議所ビル (1月5日・七瀬中町276番地)
	市民アンケート みんなでつろう1日広場	市民は何を望んでいるか 市民アンケート結果発表 医療アンケート 「長野市の医療体制を考える」市民集会	経済問題シンポジウム	高齢者社会問題アンケート 生きがい問題調査 文化シンポジウム 善光寺を中心とした長野の文化展 ふるさとの味 おふくろ料理の集い 郷土食文化アンケート	第3次長野市民総合アンケート 行政改革講演・勉強会 公開シンポジウム 心のこもった郷土長野市の明日を求めて	教育問題分析 行政問題「長野市の健康診断」 テレビシンポジウム 21世紀の郷土づくり
	地域改善懇談会3年目 歩行者天国5年目	地域改善懇談会4年目 歩行者天国6年目	地域改善懇談会5年目 歩行者天国7年目	地域改善懇談会6年目 歩行者天国8年目	地域改善懇談会7年目 歩行者天国9年目	地域改善懇談会8年目
				マスタープラン(市街地再開発)参画 マスタープラン参画2年目	マスタープラン参画3年目	マスタープラン参画4年目
						千曲川さけの会結成 千曲川さけの会協力2年目
						空港問題を考える会結成2年目 「北陸新幹線・間越道上越線建設促進」 「中央道長野建設促進」 沿線青年会議所連盟3年目 沿線青年会議所連盟4年目
						統一テーマによる朝食会 統一テーマによる朝食会2年目 宝塚歌劇団公演 沿線青年会議所連盟
						国際障害者年事業協力 マスタープラン参画3年目 マスタープラン参画4年目 沿線青年会議所連盟3年目 沿線青年会議所連盟4年目 高速度交通網早期実現に向け 更埴市長・市議会議長へ陳情 冬季オリンピック誘致を提言
						ながの市民健康まつり4回目
						ながの市民健康まつり5回目 (やまびこ国体記念行事)
						ながの市民健康まつり6回目
						ながの市民健康まつり7回目
						ながの市民健康まつり8回目
						ながの市民健康まつり9回目
						第7回長野びんずる
						少年少女絵画スクール 小天狗の森建設
						第9回長野びんずる
						第10回長野びんずる
						第11回長野びんずる
						第12回長野びんずる
						江戸みこし参加
						江戸みこし参加
						青連協活動支援
						コミュニティ基金3年目
						コミュニティ基金4年目
						コミュニティ基金5年目
						コミュニティ基金6年目
						コミュニティ基金7年目
						コミュニティ基金8年目
						コミュニティ基金9年目
						コミュニティ基金10年目
						コミュニティ基金11年目
						コミュニティ基金12年目
						コミュニティ基金13年目
						コミュニティ基金14年目
						コミュニティ基金15年目
						コミュニティ基金16年目
						コミュニティ基金17年目
						コミュニティ基金18年目
						コミュニティ基金19年目
						コミュニティ基金20年目
						コミュニティ基金21年目
						コミュニティ基金22年目
						コミュニティ基金23年目
						コミュニティ基金24年目
						コミュニティ基金25年目
						コミュニティ基金26年目
						コミュニティ基金27年目
						コミュニティ基金28年目
						コミュニティ基金29年目
						コミュニティ基金30年目
						コミュニティ基金31年目
						コミュニティ基金32年目
						コミュニティ基金33年目
						コミュニティ基金34年目
						コミュニティ基金35年目
						コミュニティ基金36年目
						コミュニティ基金37年目
						コミュニティ基金38年目
						コミュニティ基金39年目
						コミュニティ基金40年目
						コミュニティ基金41年目
						コミュニティ基金42年目
						コミュニティ基金43年目
						コミュニティ基金44年目
						コミュニティ基金45年目
						コミュニティ基金46年目
						コミュニティ基金47年目
						コミュニティ基金48年目
						コミュニティ基金49年目
						コミュニティ基金50年目
						コミュニティ基金51年目
						コミュニティ基金52年目
						コミュニティ基金53年目
						コミュニティ基金54年目
						コミュニティ基金55年目
						コミュニティ基金56年目
						コミュニティ基金57年目
						コミュニティ基金58年目
						コミュニティ基金59年目
						コミュニティ基金60年目
						コミュニティ基金61年目
						コミュニティ基金62年目
						コミュニティ基金63年目
						コミュニティ基金64年目
						コミュニティ基金65年目
						コミュニティ基金66年目
						コミュニティ基金67年目
						コミュニティ基金68年目
						コミュニティ基金69年目
						コミュニティ基金70年目
						コミュニティ基金71年目
						コミュニティ基金72年目
						コミュニティ基金73年目
						コミュニティ基金74年目
						コミュニティ基金75年目
						コミュニティ基金76年目
						コミュニティ基金77年目
						コミュニティ基金78年目
						コミュニティ基金79年目
						コミュニティ基金80年目
						コミュニティ基金81年目
						コミュニティ基金82年目
						コミュニティ基金83年目
						コミュニティ基金84年目
						コミュニティ基金85年目
						コミュニティ基金86年目
						コミュニティ基金87年目
						コミュニティ基金88年目
						コミュニティ基金89年目
						コミュニティ基金90年目
						コミュニティ基金91年目
						コミュニティ基金92年目
						コミュニティ基金93年目
						コミュニティ基金94年目
						コミュニティ基金95年目
						コミュニティ基金96年目
						コミュニティ基金97年目
						コミュニティ基金98年目
						コミュニティ基金99年目
						コミュニティ基金100年目
						コミュニティ基金101年目
						コミュニティ基金102年目
						コミュニティ基金103年目
						コミュニティ基金104年目
						コミュニティ基金105年目
						コミュニティ基金106年目
						コミュニティ基金107年目
						コミュニティ基金108年目
						コミュニティ基金109年目
						コミュニティ基金110年目
						コミュニティ基金111年目
						コミュニティ基金112年目
						コミュニティ基金113年目
						コミュニティ基金114年目
						コミュニティ基金115年目
						コミュニティ基金116年目
						コミュニティ基金117年目
						コミュニティ基金118年目
						コミュニティ基金119年目
						コミュニティ基金120年目
						コミュニティ基金121年目
						コミュニティ基金122年目
						コミュニティ基金123年目
						コミュニティ基金124年目
						コミュニティ基金125年目
						コミュニティ基金126年目
						コミュニティ基金127年目
						コミュニティ基金128年目
						コミュニティ基金129年目
						コミュニティ基金130年目
						コミュニティ基金131年目
						コミュニティ基金132年目
						コミュニティ基金133年目
						コミュニティ基金134年目
						コミュニティ基金135年目

Table with columns for years from 1983 to 1988, detailing organizational activities, board members, and milestones.

Table with columns for years from 1989 to 1994, detailing organizational activities, board members, and milestones.

Table with columns for years (1995-2012) and various organizational activities, milestones, and reports.

Table with columns for years (2001-2018) and detailed descriptions of business activities, projects, and awards.

2007 / 平成19年	2008 / 平成20年	2009 / 平成21年	2010 / 平成22年	2011 / 平成23年	2012 / 平成24年
2007年1月1日～12月31日	2008年1月1日～12月31日	2009年1月1日～12月31日	2010年1月1日～12月31日	2011年1月1日～12月31日	2012年1月1日～12月31日
鈴木 隆治	高澤 曜宏	五明 久昇	山本 修	加藤 恵美子	植木 宏一
It's my Opportunity! 機会を貪欲に求めよう そして真摯に取り組もう	利他一心 思いやりの心を結集し 壮大な夢を実現しよう	Take The Lead! おもいやりと魅力・活力 溢れる未来を目指して	自他敬愛 ～まち・人・自分を愛し大切に 社会の実現に向けて～	Pride & Heart ～自ら率先して行動し、 笑顔と活気溢れる長野にしよう！～	長野魂伝承 ～我ら未来への懸け橋とならん～
	創立55周年 2009JCI-ASPAC長野大会実行委員会設立 ASPAC開催記念基金設立 ASPAC準備に伴う「社団法人設立記念基金」取崩し 会費未納者対応に伴う定款及び細則改正	2009JCI-ASPAC長野大会実行委員会 ASPAC開催記念基金設立 社団法人長野青年会議所基金運用規定改正	BBBながのプロジェクト 実行委員会	災害対策本部	2012年12月25日 公益社団法人へ移行
長野市における 「都市内分権」調査 道州制について研修	公益法人制度セミナー 思いやりフォーラム開催	衆議院選挙・長野市長選挙 公開討論会 環境セミナー	たしかなたちプロジェクト・ 2ndステージ ながのB級グルメコンテスト	長野市民討論会 長野しぐさ たからまち・たからマップ 公益社団法人移行セミナー 公益社団法人制度対応セミナー	長野市民討論会 市民パートナーシップ交流会(CPS) 長野国際フェスタ 市民連携フォーラム 長野市との災害協定締結
			中山間地の休耕田を利用した 農業体験プログラム「信州里山塾」	信州里山塾 第2期	信州里山塾 第3期
リーダーシップ研修プログラム 研修会(創志塾)開催	人間力開発セミナー 55周年記念誌「刻(とき)」発行	リーダーシップセミナーI、II 「ディベート」セミナー The ワークショップ「みんなで考えよう 協働のイロハ」	とっておきのアイデアを語り 2010オープン会議		
RINX-4 12年目	RINX-4 13年目	RINX-4 14年目 広域連携フォーラム	RINX-4 15年目 15周年記念式典	RINX-4 16年目 広域交流フォーラム	RINX-4 17年目
善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営
第4回長野灯明まつり	長野オリンピック10周年記念 第5回長野灯明まつり	第6回 長野灯明まつり	第7回長野灯明まつり	第8回長野灯明まつり	第9回長野灯明まつり
長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会	長野灯明まつり実行委員会 ながの紙園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援
第37回長野びんずる 全員で正調びんずるタイム びんずる総踊り 受賞連演舞披露	第38回長野びんずる 少人数参加連の受け入れ 全員で正調びんずるタイム びんずる総踊り	第39回長野びんずる ゆるキャラ「れん君」登場 全員で正調びんずるタイム びんずる総踊り	第40回長野びんずる 国道406号線の通行止め 連の進行を一方通行に変更 GPSによる連の進行管理	第41回長野びんずる	第42回長野びんずる 常設スピーカーの刷新
コミュニティー基金33年目	コミュニティー基金34年目	コミュニティー基金35年目	コミュニティー基金36年目	コミュニティー基金廃止	
長野少年サッカースクール運営会議支援 JCメンバーが身近な責任ある大人 として総合学習の中で先生を担当 出張先生通常版(国内) 出張先生特別版(海外)	長野少年サッカースクール運営会議支援 JCメンバーが身近な責任ある大人 として総合学習の中で先生を担当 出張先生通常版 11月公開例会「可くみ共育～人びとが出来ること」	長野少年サッカースクール運営会議支援 設立40周年記念事業の支援 JCメンバーが身近な責任ある大人として 総合学習の中で先生を担当 出張先生通常版 共育シンポジウム	長野少年サッカースクール 運営会議支援	長野少年サッカースクール 運営会議支援	長野少年サッカースクール 運営会議支援
Jayceeオリエンテーションプログラム 新入会員セミナー ビジネスセミナー ビジネスネットワーク構築 経営品質プログラム	Jayceeオリエンテーションプログラム 新入会員セミナー フォローアップセミナー フォローアップセミナー	Jayceeオリエンテーションプログラム 新入会員セミナー フォローアップセミナー ステップアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー スキルアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー 会員開発セミナー
台中JC友好39年目	台中JC友好40年目	台中JC友好41年目	台中JC友好42年目	台中JC友好43年目	台中JC友好44年目
ソウル江北JC姉妹JC29年目 アイドルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC30年目 アイドルミッション訪韓	ソウル江北JC姉妹JC31年目 アイドルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC32年目 アイドルミッション訪韓	ソウル江北JC姉妹JC33年目	ソウル江北JC姉妹JC34年目 アイドルミッション訪韓
ASPACジャパンナイトステージアトラクション セネターゴルフ設置協力 ASPACVIPランチョン運営 地区69LOMへASPAC PR活動	ASPACジャパンナイトステージアトラクション セネターゴルフ設置協力 ASPACVIPランチョン運営 地区69LOMへASPAC PR活動 10地区協議会へASPAC PR活動	セネターゴルフ運営協力 ASPAC記念事業運営	セネターゴルフ運営協力 ASPAC長野大会 記念植樹式		
ファイヤーネット(f-net)12年目 「事業速報」開始 (HTML方式)	ファイヤーネット(f-net)13年目 「事業速報」2年目	ファイヤーネット(f-net)14年目 「事業速報」3年目	ファイヤーネット(f-net)15年目 「事業速報」4年目	ファイヤーネット(f-net)16年目 「事業速報」5年目	ファイヤーネット(f-net)17年目 「事業速報」6年目
NJC9年目 g-station7年目	NJC10年目 g-station8年目	NJC11年目 g-station9年目	naganojc12年目 g-station10年目	naganojc13年目 g-station11年目	naganojc14年目 g-station12年目
事業検証システム構築	事業検証システム2年目	事業検証システム3年目	事業検証システム4年目	事業検証システム5年目	事業検証システム6年目
WEBサイト12年目	WEBサイト13年目	WEBサイト14年目	WEBサイト15年目	WEBサイト16年目	WEBサイト17年目 Facebook運用開始
				基金運用規定改正 公益法人格移行に伴う定款・規程策定	公益社団法人移行に伴う細則廃止 及び各種規程作成
JCI ASPACシニア世代グループ協議会地域交流プロジェクト実施 人間力大賞 進歩クラブ賞受賞	2008JCI-ASPAC山大会大会賞3部門申請-環境・健康・LOM賞受賞 日本JC全国大会大会賞松大会賞3部門申請	日本JC人間力大賞申請	ASPACシンガポール大会アワード2部門申請 長野707 伝大賞アワード2部門申請 55周年 植樹式	ASPACマニラ大会 アワード3部門申請 日本JC全国大会大会賞松大会 受賞9部門申請	ASPAC香港大会賞 3部門表彰申請 日本JC全国大会大会賞松大会 4部門表彰申請
日本JC東海3部門/教育・青少年関係推進部課長受賞 JCI世界会議アンタリヤ大会賞4部門申請	JCI世界会議ニューデリー大会賞1部門申請		全国大会銀賞・小田原大会2部門申請 会員開発部部長 優秀賞 JCI世界会議ジャカルタ大会 賞賞2部門申請	JCI 世界会議台北大会 2部門表彰申請	
日本JCOMOYAI運動推進会議議長 五明久昇 JCI APDCカウンセラー 室内藤太	JCI APDCカウンセラー 五明久昇	2009JCI-ASPAC長野大会主管 大会スローガン 「和-Making Smiles, Cherishing Harmony-」 サマコン、北陸信越地区フォーラム、プロ ック会員大会、JCI世界会議ブース出展	JCIグローバルパートナーシップサミット議長 五明久昇 JCI APDCカウンセラー 土屋陽平 日本JC 監事 五明久昇 日本JC OMOYAI運動推進会議議長 堀田裕一郎	JCI APDCカウンセラー 土屋陽平 JCI APDCカウンセラー 土屋陽平 委員会委員長 大日方哲也	JCI会議特別補佐スポンサーシップ担当 大日方哲也
ASPAC、サマコン、全国大会ブース出展 ASPAC議決準備実行委員会に改称 2009年ASPAC国際BD権獲得	ASPAC山大会、サマコン、北陸信越地区 フォーラム、JCI世界会議ブース出展		ASPAC、北陸信越地区フォーラム、 JCI世界会議ブース出展	ASPAC、全国大会、ブロック会員大 会、JCI世界会議ブース出展	ASPAC、全国大会、ブロック会員大 会、JCI世界会議ブース出展

年度	2013 / 平成25年	2014 / 平成26年	2015 / 平成27年	2016 / 平成28年	2017 / 平成29年	2018 / 平成30年
期間	2013年1月1日～12月31日	2014年1月1日～12月31日	2015年1月1日～12月31日	2016年1月1日～12月31日	2017年1月1日～12月31日	2018年1月1日～12月31日
理事長	土屋 陽平	宮岡 謙介	和田 貴幸	中島 政宏	野村 和正	中沢 匠
スローガン	創 地域の未来を子どもたちのために	「ONE Direction ～ともに踏み出そう 未来に向けた新たな一歩～」	熱き青への挑戦	「磨く」 自らがまちの希望となれ	「夢」無限大 ～希望あふれる未来へ向けて～	結 ～未来への懸け橋となれ～
組織・運営	創立60周年					創立65周年
	市民パートナーシップ交流会(CPS) 長野市との災害協定締結	ながのJCフェスタ	・移職住フェア	長野市 移職住フェア IN TOKYO ～N-Turnのすめ～ Take action! ～市民が創る地方創生～	NAGANO EXPO 2017	NAGANO EXPO 2018
	信州里山塾 第4期	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村2年目	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村3年目	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村4年目	中山間地域活性化事業 ヤングブルー村5年目
	郷土醸成プロジェクト ながのまちシエルジュ	「御開帳参画事業」 ・「もんぜん」フェスタ ・信州三大市民祭り	「御開帳参画事業」 ・「もんぜん」フェスタ ・移職住フェア ・信州三大市民祭り 若者まちづくりカフェ ～長野の未来が今動き出す～	「御開帳参画事業」 ・「もんぜん」フェスタ ・移職住フェア ・信州三大市民祭り 若者まちづくりカフェ ～長野の未来が今動き出す～	ビジネス討論会	移住・定住討論会 ビジネス討論会
RINX-4 18年目	RINX-4 19年目	RINX-4 20年目	RINX-4 21年目	RINX-4 22年目	RINX-4 23年目	
善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局運営
第10回長野灯明まつり	第11回長野灯明まつり	第12回長野灯明まつり	第13回長野灯明まつり	第14回長野灯明まつり	第15回長野灯明まつり	
		長野国際フェスタ	長野国際フェスタ	国際関係諸団体との連携事業		
長野灯明まつり実行委員会 ながの紙園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの紙園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの紙園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの紙園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの紙園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの紙園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援	ながの紙園祭 御祭礼屋台巡行実行委員会支援
			子育てセミナー「生きる力」			
第43回長野びんずる	第44回長野びんずる	第45回長野びんずる	第46回長野びんずる 常設スピーカーの刷新 紙媒体を利用した広報の社会実験 「J-Times」発行	第47回長野びんずる	第48回長野びんずる	
長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール 運営会議支援
出張先生 防災先生	ながの未来育成塾 出張先生	出張先生 あるあるドリル	出張先生 あるあるドリル	親子の学舎～本気でチャレンジ～		
新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー 準会員セミナー 会員開発セミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー
台中JC友好45年目	台中JC友好46年目	台中JC友好47年目	台中JC友好48年目	台中JC友好49年目	台中JC友好50年目	
ソウル江北JC姉妹JC35年目 アイドルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC36年目 アイドルミッション訪韓	ソウル江北JC姉妹JC37年目 アイドルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC38年目 アイドルミッション訪韓	ソウル江北JC姉妹JC39年目 アイドルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC40年目 アイドルミッション受入	
ファイヤーネット(f-net)18年目 「事業速報」7年目	ファイヤーネット(f-net)19年目 「事業速報」8年目	ファイヤーネット(f-net)20年目 「事業速報」9年目	ファイヤーネット(f-net)21年目 「事業速報」10年目	ファイヤーネット(f-net)22年目 「事業速報」11年目	ファイヤーネット(f-net)23年目 「事業速報」12年目	
naganojc15年目 g-station13年目	naganojc16年目 g-station14年目	naganojc17年目 g-station15年目	naganojc18年目 g-station16年目	naganojc19年目 g-station17年目	naganojc20年目 g-station18年目	
事業検証システム7年目	事業検証システム8年目	事業検証システム9年目	事業検証システム10年目	事業検証システム11年目	事業検証システム12年目	
WEBサイト18年目 Facebook運用2年目	WEBサイト19年目 Facebook運用3年目	WEBサイト20年目 Facebook運用4年目	WEBサイト21年目 Facebook運用5年目	WEBサイト22年目 Facebook運用6年目	WEBサイト23年目 Facebook運用7年目	
ASPAC広州大会 2件申請 全国大会 奈良大会 5件申請 リオデジャネイロ世界会議 2件申請	ASPAC山形 2件 全国大会松大会 2件	ASPACコタキナバル大会 2件 全国大会八戸大会 2件 世界会議金沢大会 4件	ASPAC高雄大会 2件 全国大会広島大会 4件 ケベック世界会議 2件	ASPACウランバルトル大会 2件 全国大会埼玉中央大会 2件 (企業賞受賞) アムステルダム世界会議 2件	ASPAC鹿児島大会 2件 全国大会宮崎大会 2件 ゴア世界大会 2件	
各種大会 主管、主要 出向者支援	APDC財政顧問 井上 博登	APDC財政顧問 井上 博登	JCI世界会議金沢大会(副主幹)、 JCI-ASPACコタキナバル大会、 全国大会東北八戸大会ブース出展	ASPAC高雄大会、 ケベック世界会議 ブース出展	ASPACウランバルトル大会 全国大会埼玉中央大会 ブース出展	ゴア世界会議 ASPAC鹿児島大会、 全国大会宮崎大会 ブース出展 RINX-4 ブース出展

2019 / 平成31年・令和元年	2020 / 令和 2年	2021 / 令和 3年	2022 / 令和 4年	2023 / 令和 5年
2019年 1月1日～12月31日	2020年 1月1日～12月31日	2021年 1月1日～12月31日	2022年 1月1日～12月31日	2023年 1月1日～12月31日
伊藤 拓宗	百瀬 衛	中川 大三	加藤 昇平	
躍動 一人ひとりが主役となり 新たな時代を切り拓く先駆者となれ	革新 矜持を胸に 志高き開拓者となれ	挑戦 能動者よ、 今ふたたび未来への起点となれ	PAY IT FORWARD 動け、 すべては未来のために	青嶽 ～想いを繋ぎ、未来を仕掛ける～
オープン会議 「第72回全国大会主管立候補検討会」	オープン会議 「規程・規則変更及び遊休資産活用に関するオープン会議」	オープン会議 「灯まつり存続に関するオープン会議」		創立70周年 「炎の法被」新デザイン制作
「NAGANO CONFERENCE2019」 ～あなたの行動が持続可能な長野市をつくる～	「ONE NAGANO フェスタ 2020」 ～活気あふれる長野市SAIKOU～	「NAGANO EXPO2021」 ～長野ってすごい～	長野みらい環境フェス～チャレンジ・ゼロカーボン！長野の四季を守ろう～	創立70周年記念式典及び祝賀会
NAGANOデザイン会議			未来まちづくり事業「プロジェクトN」	ながのハロウィンフェスティバル
若者に対する政治啓発運動		政治啓発事業	アントレプレナーシップ育成事業「アントレプレナーシップで環境課題を解決しよう！」	
RINX-4 24年目	RINX-4 25年目	RINX-4 26年目	RINX-4 27年目	RINX-4 28年目
善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営	善光寺の世界遺産登録をすすめる会事務局運営
第16回長野灯まつり 長野市民平和の日のつどい オープン委員会「長野灯まつりの未来について」	第17回長野灯まつり	第18回長野灯まつり	第19回長野灯まつり 中止	第20回長野灯まつり
ながの祇園祭 御祭礼屋台実行委員会支援		ながの祇園祭 御祭礼屋台実行委員会支援 中止	ながの祇園祭 御祭礼屋台実行委員会支援 国際化活性化事業「飲食店多言語化推進事業」	ながの祇園祭 御祭礼屋台実行委員会支援 国際化活性化事業「飲食店多言語化推進事業」
第49回長野びんずる	第50回長野びんずる 中止	第51回長野びんずる 中止	第52回長野びんずる	第53回長野びんずる
長野少年・少女サッカースクール運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援 中止	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援 中止	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援	長野少年・少女サッカースクール運営会議支援
共生事業 スポーツのちから～同じ土壌で～ 共生社会の実現を目指した勉強会出張先生～政治啓発編～ 絆学習事業 おやこのためのおはなし会	乗り越えて行く！JCI長野～暮らしに役立つ情報の宝庫～ 献血協力による医療支援実施 子ども食堂支援 えきまえコロナ感染拡大予防プロジェクト まちなかコロナ感染拡大予防プロジェクト	青少年育成事業「ながのみらいラボ」 献血協力による医療支援実施 シトラスリボンプロジェクト 出張先生	社会人基礎力育成事業「魅力発見！シャキソクエストin長野」 献血協力による医療支援実施	子どもの居場所づくり応援プロジェクト～地域で広げる想いでつなぐ～
会員拡大会議 新入会員セミナー ステップアップセミナー フォローアップセミナー	副委員長セミナー 新入会員セミナー ステップアップセミナー アップグレードセミナー	副委員長セミナー 会員資質向上セミナー 新入会員セミナー ステップアップセミナー アップグレードセミナー	会員資質向上セミナー 新入会員セミナー ステップアップセミナー アップグレードセミナー	新入会員セミナー
広報勉強会 SDGsセミナー 知的サロン～激論、全国大会～ 共生社会の実現を目指した勉強会 台中JC友好51年目	居酒屋の青春 語らう！全国大会 おうちで青春！ 全国大会招致に向けて	居酒屋の青春 LGBTQ交流会 法人格セミナー 長野の隠れた魅力発掘・発信事業	広報勉強会 居酒屋の青春	広報勉強会 居酒屋の青春
台中JC友好51年目	台中JC友好52年目	台中JC友好53年目	台中JC友好54年目	台中JC友好55年目
ソウル江北JC姉妹JC41年目 アイドゥルミッション受入	ソウル江北JC姉妹JC42年目	ソウル江北JC姉妹JC43年目	ソウル江北JC姉妹JC44年目	ソウル江北JC姉妹JC45年目 アイドゥルミッション訪韓
ファイヤernet (f-net) 24年目 廃止				
「事業速報」13年目 「BOX」の運用開始 1年目 記者会見開催 広報誌「躍動」配布	「事業速報」14年目 「BOX」の運用開始 2年目	「事業速報」15年目 「BOX」の運用開始 3年目	「事業速報」16年目 「BOX」の運用開始 4年目	「事業速報」17年目 「BOX」の運用開始 5年目
naganojc 21年目	naganojc 22年目	naganojc 23年目	naganojc 24年目	naganojc 25年目
g-station 19年目	g-station 20年目	g-station 21年目	g-station 22年目	g-station 23年目
事業検証システム13年目	事業検証システム14年目	事業検証システム15年目	事業検証システム16年目	事業検証システム17年目
WEBサイト24年目 Facebook運用 8年目	WEBサイト25年目 Facebook運用 9年目	WEBサイト26年目 Facebook運用 10年目	WEBサイト27年目 Facebook運用 11年目	WEBサイト28年目 Facebook運用 12年目
		Instagram運用 1年目	Instagram運用 2年目、Twitter運用再開	Instagram運用 3年目、Twitter運用再開 2年目
JCI ASPAC 韓国済州大会 世界会議と同様に3部門申請	JCI ASPAC 台中大会 JCI 世界会議ヨハネスブルグ大会 エントリーなし	JCI ASPAC 堺高石大会 JCI 世界会議香港大会 「最優秀LOM個人開発プロジェクト」エントリー	JCI ASPAC 堺高石大会 JCI 世界会議香港大会 「最優秀LOM個人開発プロジェクト」エントリー	JCI ASPAC ジャカルタ大会 JCI 世界会議チューリッヒ大会 「最優秀LOM地域社会向上プロジェクト」エントリー
JCI 世界会議エストニア大会 「最優秀LOM 個人能力開発プログラム」エントリー 「最優秀LOM 長期型地域社会開発プログラム」エントリー	JCI 世界会議横浜大会 「最優秀LOM 持続可能な開発目標プロジェクト」エントリー 「最優秀LOM 経済開発プログラム」エントリー 「最優秀LOM 地域社会向上プロジェクト」最優秀賞 「最優秀LOM 事業」最優秀賞	AWARDS JAPAN2021 「最優秀LOM 個人能力開発プロジェクト」優秀賞 「最優秀新型コロナウィルス対応実践プロジェクト」エントリー 「最優秀LOM 地域社会向上プロジェクト」エントリー	AWARDS JAPAN2022 「最優秀LOM 起業家精神プログラム」エントリー 「最優秀LOM 地域社会向上プロジェクト」エントリー	AWARDS JAPAN2023 「最優秀LOM 地域社会向上プログラム」エントリー
AWARDS JAPAN2019 「優秀LOM 長期型地域社会開発プログラム」優秀賞	AWARDS JAPAN2020 「みんなのNIPPON 共生社会プロジェクト」受賞			
ASPAC 済州大会、 全国大会富山大会 ブース出展	ASPAC 台中大会 ブース出展	世界会議香港大会 ブース出展	JCI ASPAC ジャカルタ大会 ブース出展 JCI 世界会議チューリッヒ大会 ブース出展	

# LOM年表

年	1953 (初代)	1954 (2代)	1955 (3代)	1956 (4代)	1957 (5代)
理事長	加藤邦太郎	中沢 敬	山本 昌平	滝沢 治助	柳沢 一郎
副理事長	副理事長／鷺澤 平六 副理事長／塚田 和男	副理事長／笠原 隆一 副理事長／井田 義幸	副理事長／中村 義平 副理事長／徳永 勝	副理事長／柳沢 一郎 副理事長／宮島 正豊	副理事長／中野 善孝 副理事長／小笠原武一
監事	監事／宮島 正豊 監事／中沢 敬	監事／山田 国衛 監事／滝沢 治助	監事／佐藤 次朗	監事／鷺沢 勇蔵 監事／藤井 裕	監事／滝沢 善五郎 監事／仁科 道人
組織名および役職者名	常理／山本 昌平 常理／井田 義幸 常理／西沢 達雄 常理／笠原 隆一 常理／小笠原武一 理 事／山田 国衛 理 事／中野 善孝 理 事／長沢 勝 理 事／柳沢 一郎 理 事／宇都宮 元	企画委員会／笠原 隆一 運営委員会／井田 義幸 理事 事／塚田 和男 理 事／山本 昌平 理 事／長沢 勝 理 事／徳永 真一 理 事／西沢 達雄 理 事／柳沢 一郎 理 事／中村 義平 理 事／塚田 俊之 理 事／池田 竜雄	第一部会 (工業)／井田 義幸 第二部会 (商業)／伊東 広文 第三部会／理事 全員 理 事／丸田 安栄 理 事／小林 栄一 理 事／藤井 基成 理 事／古平 可肖 理 事／小林 俊明 理 事／品川 正志 理 事／宮島 正豊 理 事／清水 保雄 理 事／菅原 保治 理 事／中沢 孝治	工業部会／山下 喜三 商業部会／佐藤 次朗 PR部会／山田吉之助 文化部会／丸田 安栄 理 事／佐藤 次朗 理 事／山本 喜三 理 事／山田吉之助 理 事／丸田 安栄 理 事／中島 良夫 理 事／中野 善行 理 事／星野 堯 理 事／山本真一郎 理 事／高橋 寛 理 事／伊東 広文	トレーニング委員会／山本 喜三 サービス委員会／木村 恕 PR委員会／丸田 安栄 工業委員会／藤井 裕 商業委員会／西沢 達雄 理 事／西沢 達雄 理 事／丸田 安栄 理 事／山本 喜三 理 事／木村 恕 理 事／笠井 幾造 理 事／竹内 茂雄 理 事／伊東 広文 理 事／池田 竜雄 理 事／藤井 裕 理 事／太田 久夫

年	1958 (6代) 1月～6月	1959 (6代) 7月～12月	1960 (7代)	1961 (8代)	1962 (9代)
理事長	井田 義幸	井田 義幸	徳永 勝	中村義平	塚田 和男
副理事長	副理事長／山本真一郎 副理事長／藤井 裕	副理事長／山本真一郎 副理事長／藤井 裕	副理事長／丸田 嘉雄 副理事長／中島 嘉雄 副理事長／近山與士郎	副理事長／山本 喜三 副理事長／木村 恕 副理事長／竹内 茂雄	副理事長／依田佳主朗 副理事長／北野 吉造 副理事長／小野 正孝
監事	監事／小野 常三 監事／山崎 登	監事／小野 常三 監事／山崎 登	監事／袖山 清 監事／丸山 久夫	監事／太田 久夫 監事／近山與四郎	監事／藤沢 良一 監事／河原 悠二
組織名および役職者名	トレーニング委員会／滝沢 善五郎 サービス委員会／竹内 茂雄 フレンドシップ委員会／木村 恕 広報委員会／山本真一郎 理 事／木村 恕 理 事／山崎 登 理 事／竹内 茂雄 理 事／丸田 嘉雄 理 事／滝沢 善五郎 理 事／仁科 道人 理 事／小笠原武一 理 事／中島 良夫 理 事／塚田 武司 理 事／近山與士郎 理 事／中沢 孝治 理 事／井合 貞雄	トレーニング委員会／滝沢 善五郎 サービス委員会／竹内 茂雄 フレンドシップ委員会／木村 恕 広報委員会／山本真一郎 理 事／木村 恕 理 事／山崎 登 理 事／竹内 茂雄 理 事／丸田 嘉雄 理 事／滝沢 善五郎 理 事／仁科 道人 理 事／小笠原武一 理 事／中島 良夫 理 事／塚田 武司 理 事／近山與士郎 理 事／中沢 孝治 理 事／井合 貞雄	広報委員会／依田 和雄 総務委員会／菅原 保治 社会福祉委員会／長谷川 秀治 青少年問題委員会／神津 昭平 特設委員会／松橋 昭生 婦人スクール委員会／笠井 邦夫 フレンドシップ委員会／加藤 竹治郎 財務委員会／袖山 清 経済活動委員会／北村 修一 文化活動委員会／牧野 亮太郎	広報委員会／池田 竜雄 サービス委員会／中野 善孝 フレンドシップ委員会／山崎 登 トレーニング委員会／山本真一郎 会 計 監 査／太田 久夫 理 事／小野 正孝 理 事／中野 善孝 理 事／北野 吉造 理 事／中島 靖夫 理 事／鈴木 忠雄 理 事／山本真一郎 理 事／小笠原武一 理 事／塩沢 莊吉 理 事／山崎 登 理 事／井田 雅雄 理 事／袖山 清 理 事／池田 竜雄 理 事／依田佳主朗 理 事／内山與四郎 理 事／太田 久夫	広報委員会／松橋 昭生 会員委員会／中島 靖夫 奉仕委員会／井合 貞雄 修練委員会／笠井 邦夫 理 事／田中 保 理 事／菅原 保治 理 事／中島 靖夫 理 事／長谷川 秀治 理 事／塚田 武 理 事／井合 貞雄 理 事／鹿熊 肇 理 事／久保田 甫 理 事／鈴木 俊貞 理 事／松橋 昭生 理 事／袖山 清 理 事／池田 謙造

年	1963 (10代)	1964 (11代)	1965 (12代)	1966 (13代)	1967 (14代)
理事長	木村 恕	小笠原武一	山本真一郎	北野 幾造	小野 正孝
副理事長	副理事長／山崎 登 副理事長／松橋 昭生 副理事長／中島 靖夫	副理事長／袖山 清 副理事長／宇都宮 元 副理事長／池田 謙造	副理事長／北野 幾造 副理事長／塚田 俊之 副理事長／塚田 佐	副理事長／太田 久夫 副理事長／西沢 彰敏 副理事長／塩沢 荘吉	副理事長／池田 竜雄 副理事長／久保田晴達 副理事長／北村 修一
監事	監事／小笠原武一 監事／依田佳主朗	監事／北野 吉造 監事／井合 貞雄	監事／伊東 広文 監事／菅原 保治	監事／小野 亨 監事／中島 良夫	監事／神津 昭平 監事／加藤竹治郎
組織名および役職者名	広報委員会／塩沢 荘吉 役員委員会／塚田 佐 奉仕委員会／池田 謙造 修練委員会／山田古之助 理事／小野 正孝 理事／西沢 彰敏 理事／宇都宮 肇 理事／井田 雅雄 理事／山田 忠男 理事／笠井 邦夫 理事／宇都宮 保 理事／鹿熊 肇 理事／水内 盛雄 理事／小出 博治	広報委員会／塚田 武司 役員委員会／久保田 肇 奉仕委員会／鹿熊 肇 修練委員会／塚田 俊之 理事／塚田 俊之 理事／塩沢 荘吉 理事／西沢 彰敏 理事／久保田晴達 理事／井田 雅雄 理事／宇都宮 登 理事／鹿熊 肇 理事／伊東 広文 理事／山田 忠雄 理事／塚田 武司	広報委員会／木下 浩一 総務委員会／加藤竹治郎 社会福祉委員会／塩沢 荘吉 教育青少年委員会／井田 雅夫 役員委員会／井合 卓雄 LT委員会／西沢 彰敏 経済活動委員会／土屋 磯司 国際関係委員会／小出 博治 理事／小野 由隆 理事／塩沢 荘吉 理事／酒本 文隆 理事／井田 雅夫 理事／水内 盛雄	広報委員会／岩崎 和夫 総務委員会／鈴木宗太郎 社会福祉委員会／木下 慎一 教育青少年委員会／林部 篤司 役員委員会／北村 修一 LT委員会／宇都宮 保 経済活動委員会／小野 由隆 国際関係委員会／土屋 磯司	広報委員会／井出 敏 総務委員会／河原 悠二 社会開発委員会／仁科 恵敏 教育青少年委員会／若麻績好美 役員委員会／橋本 浩 LD委員会／矢島 一 企画室／藤井 裕 経済活動委員会／宮本 肇 国際交流委員会／荻原 弘也 企画担当理事／近山興士郎 企画担当理事／土屋 良平 企画担当理事／鹿熊 肇 企画担当理事／塚田 喜幸 企画担当理事／鈴木宗太郎 企画担当理事／塚田 佐 企画担当理事／鷺沢 正一

年	1968 (15代)	1969 (16代)	1970 (17代)	1971 (18代)	1972 (19代)
理事長	塚田 俊之	北野 吉造	松橋 昭生	土屋 磯司	仁科 恵敏
副理事長	副理事長／仁科 恵敏 副理事長／宮本 肇 副理事長／土屋 磯司	副理事長／鈴木宗太郎 副理事長／木下 雅博 副理事長／矢島 一 事務局長／富士原信夫	副理事長／橋本 浩 副理事長／富士原信夫 副理事長／鹿熊 肇 副理事長／塚田 喜幸 副理事長／小林 俊雄 副理事長／河原 悠二	副理事長／山口 文男 副理事長／藤沢 博 副理事長／鷺澤 正一 副理事長／酒本 文隆 副理事長／塩沢 堅吉	副理事長／青木恵太郎 副理事長／高木 勇 副理事長／石黒 正夫 副理事長／岩崎 和夫 副理事長／原 庸生 副理事長／藤井 一章
監事	監事／北村 修一 監事／塩沢 荘吉	監事／宮本 肇 監事／久保田晴達	監事／鈴木宗太郎 監事／仁科 恵敏	監事／塚田 喜幸 監事／木下 雅博	監事／藤沢 博 監事／鹿熊 肇
組織名および役職者名	広報委員会／山崎 行夫 総務委員会／堀 邦彦 社会開発委員会／鷺澤 正一 教育青少年委員会／松本 昭夫 役員委員会／宇都宮 保 指導力開発委員会／工藤 憲一 企画室／小野 正孝 経済活動委員会／酒本 文隆 国際交流委員会／太田 秀夫 国際関係委員会／河原 悠二 経済活動委員会担当／鈴木宗太郎 指導力開発委員会担当／久保田晴達 教育青少年委員会担当／橋本 浩 社会意識委員会担当／池田 竜雄 広報委員会担当／矢島 一 中野坂山地区社大委員会／近山興士郎 須坂地区社大委員会／北野 吉造 篠ノ井地区社大委員会／藤井 裕	広報委員会／林部 篤司 総務委員会／鷺澤 正一 社会開発委員会／藤沢 博 教育青少年委員会／近山興士郎 役員委員会／山崎 行夫 指導力開発委員会／塚田 喜幸 企画室／鹿熊 肇 経済活動委員会／石黒 正夫 国際交流委員会／高橋 寛 中野坂山地区社大委員会／近山興士郎 須坂地区社大委員会／北野 吉造 篠ノ井地区社大委員会／北村 修一 篠ノ井地区社大委員会／千葉 潤雄	広報部会／三井製薬治 社会開発部会／長坂 剛 青少年問題委員会／鈴木 健二 国家問題特別部会／土屋 良平 役員開発部会／北村 修一 役員サービス部会／水品 錦和 市民祭企画委員会／塩沢 堅吉 指導力開発部会／福田 泰章 企画部会／若麻績好美 経営者開発部会／西澤 彰敏 交通問題委員会／宮沢 浄 都市計画委員会／青木恵太郎 国際交流委員会／山口 和彦 市民意識委員会／加藤 久雄 少年育成委員会／中島 庸介 環境整備委員会／諏訪部正二 市民の健康委員会／増田 博隆 観光開発委員会／山口 信行 流通問題委員会／荻原 弘也 労働問題委員会／堀 邦彦	広報委員会／滝沢 功 総務委員会／山田 誠 青少年開発委員会／深沢 博 役員開発委員会／井出 敏 役員サービス委員会／井田 雅夫 市民祭企画委員会／青木恵太郎 指導力開発委員会／笠井 孝英 企画室／池田 謙造 財務委員会／植木 修一 経営者開発委員会／鈴木 健二 交通問題委員会／高木 勇 国際交流委員会／宮川 礼二 第1部会／柄沢 重登 第2部会／高波 謙二 第3部会／原 雅邦 第4部会／小出 雅志 第5部会／松下 利雄 第6部会／宮崎 一治 第7部会／原 信広 第8部会／小林 武 第9部会／滝沢 信久 第10部会／仁科 恵敏 第11部会／竜野 晃一	広報委員会／星野 達夫 総務委員会／高波 謙二 社会開発委員会／笠井 孝英 青少年交流委員会／中島 庸介 役員開発委員会／加藤 久雄 役員サービス委員会／中島 康俊 市民祭企画委員会／竜野 晃一 指導力開発委員会／山崎 行夫 企画室／木下 雅博 財務委員会／深沢 慶一 経営開発委員会／塚田 悦也 都市計画委員会／笠井 孝英 第1部会／塚田 喜幸 第2部会／石田 修一 第3部会／水品 錦和 第4部会／石橋 正雄 第5部会／若林 栄一 第6部会／滝沢 芳一 第7部会／松沢 一男 第8部会／宮澤 浄 第9部会／千野 潤雄 第10部会／石田治一郎

年	1973 (20代)	1974 (21代)	1975 (22代)	1976 (23代)	1977 (24代)
理事長	鈴木宗太郎	青木恵太郎	塩沢 堅吉	鷺澤 正一	石田治一郎
副理事長	副理事長／宇都宮 保 副理事長／井出 敏 副理事長／山崎 行夫 副理事長／諏訪部正二 副理事長／山口 和彦 副理事長／松本 昭夫	副理事長／鷺澤 正一 副理事長／高波 謙二 副理事長／深沢 博 副理事長／岡宮 照行 副理事長／小林 邦雄 副理事長／若麻績佑孝	副理事長／石田治一郎 副理事長／花岡 照夫 副理事長／山ノ井大治 副理事長／宮崎 一治 副理事長／丸山 永樹 副理事長／久保田輝男	副理事長／米山 一之 副理事長／中越 紀雄 副理事長／山口 信行 副理事長／小林 邦雄 副理事長／中嶋やすとし	副理事長／柄澤 重登 副理事長／西条 毅 副理事長／荒井 豊 副理事長／加藤 久雄 副理事長／渡辺 晃一 副理事長／倉石 邦男
監事	監事／岩崎 和夫 監事／塩沢 堅吉	監事／松本 昭夫 監事／石黒 正夫	監事／深沢 博 監事／井出 敏	監事／石田治一郎 監事／若麻績佑孝	監事／山ノ井大治 監事／米山 一之
組織名および役職者名	広報委員会／木下 雅博 総務委員会／小林 貞 社会開発委員会／浅野 勝男 青少年開発委員会／青木 誠 サッカースクール委員会／中島 庸介 役員開発委員会／高池 忠克 市民祭企画委員会／小出 雅志 指導力開発委員会／宮沢 建治 企画室／岡宮 照行 財務委員会／宮野尾 敏 経営開発委員会／丸山 永樹 第1部会／山口 高雄 第2部会／長坂 剛 第3部会／小林 信吾 第4部会／柄沢 醒一 第5部会／杉浦 暢保 第6部会／倉石 邦男 第7部会／塚田 佐 第8部会／堀 邦彦 第9部会／木島 英明 第10部会／町田伍一郎	広報委員会／瀬戸 長義 総務委員会／滝沢 功 社会開発委員会／山口 信行 教育青少年委員会／山口 富雄 サッカースクール委員会／高木 勇 役員開発委員会／町田伍一郎 市民祭企画委員会／中島 康俊 指導力開発委員会／久保田輝男 企画室／深堀 久男 財務委員会／田中 隆 経営開発委員会／村山 忠義 地域対策委員会／土屋 磯司 商業近代化部会／渡辺 英夫 公共施設部会／守谷 紘一 長野ビジョン部会／宮崎 一治 リクエション部会／力 芳明 環境部会／花岡 照夫 コミュニティ部会／山ノ井大治 スポーツ部会／中越 紀雄 福祉部会／野本 勉 ふるさと部会／福沢 亘洋 交通部会／小林 邦雄 教育部会／千野 義英	広報委員会／羽生田宇多子 総務委員会／塚田 義利 青少年開発委員会／宮沢 建治 青少年開発委員会／荒井 豊 サッカースクール委員会／宮川 礼二 役員開発委員会／倉石 公雄 コミュニケーション委員会／岡宮 秀明 市民祭企画委員会／石田治一郎 指導力開発委員会／清水 武雄 企画室／原 庸生 財務委員会／柄澤 重登 経営開発委員会／石橋 正雄 経済問題委員会／瀬戸 長義 地域対策委員会／藤 純裕 交通問題委員会／松林 毅 内報委員会／宮野尾 敏 地域活動第一委員会／塩沢 英一 地域活動第二委員会／小林 武 コミュニティ部会／堀 邦彦 第1部会／堀 邦彦 第2部会／小林 武 第3部会／青木 誠 第4部会／酒本 文隆 第5部会／町田伍一郎 第6部会／中越 紀雄 第7部会／柄沢 醒一	広報委員会／小林 昌助 総務委員会／瀬戸 長義 青少年開発委員会／樋口 泰一 サッカースクール委員会／春日 英廣 役員開発委員会／倉石 邦男 コミュニケーション委員会／角田 勝繁 市民祭企画委員会／高波 謙二 指導力開発委員会／吉田總一郎 総合企画委員会／清水 武雄 企画室／藤井 紀昭 財務委員会／藤井 紀昭 経営開発委員会／長坂 剛 経済問題委員会／小林 紘 地域対策委員会／藤 純裕 交通問題委員会／松林 毅 内報委員会／宮野尾 敏 地域活動第一委員会／塩沢 英一 地域活動第二委員会／小林 武 例会委員会／滝沢 功 OBS研究委員会／小林 邦雄 25周年企画委員会／高木 勇 出向者委員会／山崎 行夫 市民スクール事務局／山口 和彦 談話室／深沢 博	広報委員会／北山 文敏 総務委員会／藤井 紀昭 社会開発委員会／笠井 孝英 青少年開発委員会／中島 道生 サッカースクール委員会／中沢 勝 役員開発委員会／小林 忠雄 コミュニケーション委員会／松本 克幸 市民祭企画委員会／滝沢 芳一 指導力開発委員会／高橋 英司 企画室／青木 誠 財務委員会／小林 一義 経営開発委員会／一由 邦保 交通問題委員会／大井 正信 内報委員会／渡辺 茂光 地方自治問題委員会／河合 博良 教育問題委員会／水島 英明 例会委員会／滝沢 功 OBS研究委員会／小林 邦雄 25周年企画委員会／高木 勇 出向者委員会／山崎 行夫 市民スクール事務局／山口 和彦 談話室／深沢 博

年	1978 (25代)	1979 (26代)	1980 (27代)	1981 (28代)	1982 (29代)
理事長	高波 謙二	丸山 永樹	久保田輝男	小林 邦雄	春日 英廣
副理事長	副理事長／瀬戸 長義 副理事長／藤井 紀昭 副理事長／塩沢 英一 副理事長／春日 英廣 副理事長／倉島 護 副理事長／吉田總一郎	副理事長／滝沢 信広 副理事長／鈴木 健二 副理事長／倉田 剛 副理事長／真岸 武史 副理事長／守谷 紘一 副理事長／滝沢 芳一	副理事長／小林 一義 副理事長／宮澤 建治 副理事長／植木 修一 副理事長／松沢 一男 副理事長／深堀 久男 副理事長／中島 道生	副理事長／山口 富雄 副理事長／小林 紘 副理事長／塚田 義利 副理事長／中沢 勝 副理事長／酒井 正晃 副理事長／丸山 繁夫	副理事長／滝沢 功 副理事長／青木 元吉 副理事長／中島嘉一郎 副理事長／柳沢 一夫 副理事長／渡辺 敬六 副理事長／小山 健英
監事	監事／西条 毅 監事／中越 紀雄	監事／藤井 紀昭 監事／渡辺 晃一	監事／鈴木 健二 監事／塩沢 英一	監事／倉田 剛 監事／植木 修一	監事／山口 富男 監事／松沢 一男
組織名および役職者名	広報委員会／長沢 朋廣 総務委員会／宮野尾 敏 開発委員会／松本 克幸 青少年開発委員会／内山 貞三 サッカースクール委員会／植木 修一 会員開発委員会／松山 功業 コミュニケーション委員会／渡辺 敬六 市民祭企画委員会／山口 信行 指導力開発委員会／鷹野 義博 企画委員会／丸山 永樹 財務委員会／池田 策彦 経営開発委員会／中村 千春 地域対策委員会／真岸 武史 内報委員会／小林 昌助 国際関係委員会／湯本 正善 文通問題研究会／竹内 功 環境問題研究会／宮内 義人 都市問題研究会／清水 貢 社会福祉問題研究会／中島 嘉一郎 教育問題研究会／酒本 文隆 行政問題研究会／土屋 明道 25周年企画委員会／高木 勇 市民スクール推進委員会／北山 文敏	総務委員会／飯田 弘巳 財務委員会／小山 一武 内報委員会／柳沢 一夫 会員開発委員会／小林 一義 会員サポーター委員会／松橋 孝夫 青少年開発委員会／若麻 積千冬 市民スクール委員会／村山 忠義 地域対策委員会／竜野 秀邦 びんずる委員会／植木 修一 健康まつり企画委員会／徳永 公司 サッカースクール委員会／酒井 正晃 指導力開発委員会／久保田 輝男 経営開発委員会／深堀 久男 社会開発委員会／高井 新太郎 広報委員会／佐々木 修司 第一経済問題委員会／加藤 久雄 第二経済問題委員会／瀬戸 長義 第三経済問題委員会／北村 正博 第四経済問題委員会／河井 博良 出向者委員会／山口 富雄 国際交流委員会／松沢 一男 企画委員会／倉石 邦男	総務委員会／池田 策彦 財務委員会／清住 真 企画委員会／倉田 剛 会員開発委員会／中村 千春 例会委員会／酒井 正晃 コミュニケーション委員会／丸山 繁夫 内報委員会／立野 清人 びんずる委員会／小林 邦雄 健康まつり委員会／山口 盛雄 サッカースクール委員会／高橋 俊博 指導力開発委員会／土屋 明道 経営開発委員会／竹内 功 青少年開発委員会／清水 芳夫 市民スクール委員会／塚田 貞俊 エネルギー問題委員会／加藤 孝雄 社会開発委員会／柳澤 一夫 地域対策委員会／岩井 敏 広報委員会／小林 文宗 国際関係委員会／宮原 洋一 文化委員会／諏訪部 正二 高齢化社会問題研究会／小林 紘 ふるさと再発見委員会／飯島 輝雄 生きがい問題研究会／佐藤 信行	総務委員会／黒崎 秀夫 財務委員会／倉田 修 サッカースクール委員会／松本 克幸 広報・情報委員会／加藤 孝雄 内報委員会／橋爪 陽一 コミュニケーション委員会／筒井 義寛 会員開発委員会／中島 嘉一郎 指導力開発委員会／福沢 巨洋 青少年開発委員会／中井 正明 びんずる委員会／塩沢 英一 社会開発総合企画委員会／笠井 孝英 社会開発第一委員会／大井 正信 社会開発第二委員会／飯島 輝雄 社会開発第三委員会／竜野 秀邦 社会開発第四委員会／小山 弘行 社会開発第五委員会／青木 元吉 社会開発第六委員会／藤井 弘 社会開発第七委員会／小山 健英 社会開発第八委員会／夏目 潔 社会開発第九委員会／飯田 弘巳 社会開発第十委員会／北村 隆一 社会開発第十一委員会／村田 徹 社会開発第十二委員会／武井 哲夫	総務委員会／清水 貢 財務委員会／塚田 知信 30周年企画委員会／植木 修一 例会委員会／柳沢 幸一 対外交流委員会／岩井 敏 教育問題研究会／山田 耕司 青少年開発委員会／山口 盛雄 会員交流委員会／西沢 明 行政問題研究会／鹿熊 厚 長期計画委員会／吉田總一郎 出向者委員会／福沢 巨洋 内報委員会／丸田 献次郎 社会開発委員会／甘利 陽一郎 指導力開発委員会／長沢 明廣 びんずる委員会／中村 千春 会員開発委員会／若麻 積千冬 社会開発委員会／福島 一明 サッカースクール委員会／小山 一武 第一委員会／町田 幸一 第二委員会／平塚 俊明 第三委員会／橋爪 陽一 第四委員会／田丸 照雄 第五委員会／荒井 久生

年	1983 (30代)	1984 (31代)	1985 (32代)	1986 (33代)	1987 (34代)
理事長	植木 修一	吉田總一郎	酒井 正晃	夏目 潔	黒崎 秀夫
副理事長	副理事長／笠井 孝英 副理事長／飯田 弘巳 副理事長／鹿熊 厚	副理事長／福沢 巨洋 副理事長／夏目 潔 副理事長／清水 貢 副理事長／黒崎 秀夫 副理事長／長沢 明廣 副理事長／柳沢 幸一	総括副理事長／小山 弘行 副理事長／藤原 信雄 副理事長／野村 泰久 副理事長／若麻 積千冬 副理事長／小川 一司 副理事長／佐々木 修司 事務局長／西沢 明	総括副理事長／橋爪 陽一 副理事長／藤原 俊二 副理事長／一由 邦保 副理事長／伝田 道隆 副理事長／倉田 修 副理事長／池内 道雄 事務局長／中川 信幸	総括副理事長／岩井 敏 副理事長／伊東 義次 副理事長／青木 保都 副理事長／池田 修平 副理事長／寺沢 信栄 副理事長／酒本 多佳史 事務局長／竹村 敏明
監事	監事／塚田 義利 監事／滝沢 功	監事／佐藤 信行 監事／青木 元吉	監事／笠井 孝英 監事／清水 貢	監事／小山 弘行 監事／福沢 巨洋	監事／池内 道雄 監事／野村 泰久
組織名および役職者名	総務室室長／小山 弘行 会員開発室室長／佐藤 信行 社会開発室室長／松本 克幸 事業室室長／岩井 敏 政策室室長／夏目 潔 総務委員会／竹内 功 財務委員会／深澤 慶一 内報委員会／伝田 道隆 例会委員会／藤原 信雄 会員研修委員会／長沢 明廣 社会開発委員会／一由 邦保 青少年開発委員会／青木 茂人 教育問題研究会／中野 安久 サッカースクール委員会／滝沢 憲治 地域問題研究会／山本 恒夫 びんずる委員会／吉田總一郎 対外交流委員会／南沢 憲三 長期計画研究会／酒井 正晃 出向者委員会／中島 嘉一郎 30周年委員会／深堀 久男	総務室室長／確水 勉 運営室室長／若麻 積千冬 会員開発室室長／滝沢 憲治 社会開発室室長／山本 恒夫 事業室室長／橋爪 陽一 総務委員会／丸田 献次郎 広報委員会／宮島 章郎 渉外委員会／滝澤 芳一 親と子供委員会／南 信行 内報委員会／池内 道雄 コミュニケーション委員会／滝沢 正明 経営開発委員会／日南 哲三 人とふれあい委員会／伊藤 義次 サッカースクール委員会／高木 章和 地域国際化委員会／中島 嘉一郎 地域活性化委員会／小川 一司 びんずる委員会／酒井 正晃 青少年開発委員会／井上 明彦 サッカースクール委員会／笠井 孝英 財務担当理事／原 徹爾	総務委員会／井田 寛行 財務委員会／丸田 義晴 渉外委員会／平塚 俊明 例会委員会／酒本 多佳史 内報委員会／青山 茂樹 コミュニケーション委員会／青野 功 国際委員会／藤原 俊二 会員研修委員会／寺沢 信栄 会員開発委員会／岩野 彰 指導力開発委員会／佐野 修一 経営開発委員会／日南 哲三 人とふれあい委員会／伊藤 義次 サッカースクール委員会／高木 章和 青少年開発委員会／倉田 修 広報委員会／増子 清 長期計画研究会／石坂 豊明 出向者委員会／飯島 信幸 地区大会準備委員会／中島 道生	総務委員会／高木 敏和 財務担当理事／小林 邦一 渉外委員会／大日方 俊彦 例会委員会／荒井 亮治 コミュニケーション委員会／相馬 栄治郎 内報委員会／鈴木 義夫 会員開発委員会／木村 明 指導力開発委員会／関 一朗 経営開発委員会／川浦 三郎 社会開発委員会／青木 保都 青少年開発委員会／北村 明彦 広報委員会／石田 明夫 市民祭委員会／渡辺 敬六 サッカースクール委員会／一由 宗隆 OBS委員会／宇都宮 健雄 ながの2001年構想委員会／倉島 圭三 ながの2001年構想第2委員会／関 邦則 ながの2001年構想第3委員会／松林 英 地区大会委員会／松本 克幸 日本JC担当理事／井上 明彦 地区協担当理事／黒崎 秀夫 ブロック協担当理事／吉田 幹雄	総務委員会／宗田 芳文 財務担当理事／塚田 知信 渉外委員会／吉田 幹雄 例会委員会／森山 仁 コミュニケーション委員会／小山 健英 内報委員会／松崎 芳夫 会員開発委員会／竹内 喜宣 会員研修委員会／青木 茂人 指導力開発委員会／横田 一尊 経営開発委員会／滝沢 正幸 地域文化委員会／小山 健英 地域ふれあい委員会／町田 幸一 地域国際化委員会／滝澤 純 地域活性化委員会／戸谷 光家 ながの2001年構想委員会／船尾 正康 市民祭委員会／宮島 章郎 サッカースクール委員会／青山 茂樹 青少年開発委員会／竹沢 秀喜 広報委員会／落合 伸一郎 長期ビジョン研究会／長沢 明廣 出向者委員会／若麻 積千冬 35周年企画委員会／柳澤 一夫

年	1988 (35代)	1989 (36代)	1990 (37代)	1991 (38代)	1992 (39代)
理事長	柳澤 一夫	長澤 明廣	若麻績千冬	倉田 修	中川 信幸
副理事長 事務局長	総括副理事長／滝沢 正明 副理事長／木村 明 副理事長／横田 一尊 副理事長／石坂 豊明 副理事長／関 邦則 副理事長／松林 英 事務局長／彦坂 慈良	総括副理事長／南 信行 副理事長／北村 明彦 副理事長／井田 寛行 副理事長／宗田 芳文 副理事長／徳永竹千代 副理事長／塚田 芳樹 事務局長／森山 仁	総括副理事長／高木 敏和 副理事長／宮島 章郎 副理事長／西沢 明 副理事長／宇都宮健雄 副理事長／中川 信幸 副理事長／吉田 幹雄 事務局長(専務理事)／丸田 義晴	総括副理事長／森山 仁 専務理事／荒井 久也 副理事長／宮澤 隆 副理事長／鎌田 雄三 副理事長／中川 弘 副理事長／小林 淳生 副理事長／田中 清一	総括副理事長／酒井 哲夫 専務理事／中野 欣哉 副理事長／大日方俊彦 副理事長／相馬栄治郎 副理事長／島田 和佳 副理事長／黒崎 隆彦 副理事長／小笠原康博
監 事	監 事／青木 保都 監 事／藤原 俊二	監 事／池田 修平 監 事／滝沢 正明	監 事／横田 一尊 監 事／宗田 芳文	監 事／吉田 幹雄 監 事／北村 明彦	監 事／鎌田 雄三 監 事／宮島 章郎
組 織 名 お よ び 役 職 者 名	総務委員会／勝又 潤 渉外委員会／小出 幸一 例会委員会／北原 厚 内報委員会／竹内 正樹 コミュニケーション委員会／西沢 敏明 指導力開発委員会／赤池 健 経営開発委員会／甘利陽一郎 会員開発委員会／黒澤 泰明 チャッカースクール委員会／倉田 修 青少年開発委員会／岩野 彰 ながの2001年構想委員会／武井 哲夫 まちづくりフォーラム委員会／小林 淳生 情報発信委員会／幸村 恭男 地域情報委員会／青沼 基夫 ネリピック委員会／丸田 次郎 長期計画委員会／笠井 憲 広報委員会／小林慎一郎 長期ビジョン委員会／長沢 明広 出向者委員会／関 一朗 35周年企画委員会／柳澤 幸一 財務担当理事／徳永竹千代 地区協担当理事／塚田 芳樹  <特別委員会> 喪 章／長沢 明広 世 代 交 流／鈴木 義夫 健 康 ま つ り／森山 仁 青 年 の 船／町田 幸一 ア ス ペ ン／宇都宮健雄 年 誌 編 纂／小林慎一郎	総務委員会／森山 仁 例会委員会／滝沢 純 内報委員会／宮澤 隆 渉外委員会／荒井 久也 指導力開発委員会／鎌田 雄三 経営開発委員会／林 隆夫 会員開発委員会／百瀬 逸男 会員研修委員会／奥山 法彦 サッカースクール委員会／竹内 隆文 ミニOBS委員会／中川 弘 2001年まちづくり委員会／竹澤 秀喜 教育問題委員会／中村 隆次 青少年開発委員会／粕尾 正康 広報委員会／中山 修 オリンピック委員会／田中 清一 地域国際化委員会／和田 昌宣 地域活性化委員会／久保田知幸 地域活動委員会／森山 茂樹 市民祭会議／武井 哲夫 サッカースクール会議／一由 宗隆 ミニOBS会議／日南田哲三 財務担当理事／橋本 勝祥  <特別委員会> 喪章特別委員会／粕尾 正康 青年の船特別委員会／徳刈 秀郎 年誌編纂特別委員会／小笠原康博	総務委員会／小笠原康博 財務担当理事／大日方俊彦 規則委員会／小川 一司 出向者渉外委員会／赤池 健 例会委員会／中野 欣哉 内報委員会／島田 和佳 対外交渉委員会／林 健樹 会員開発委員会／一由 宗隆 会員研修委員会／森山 仁 経営指導力委員会／橋本 康司 びんずる委員会／丸田 次郎 チャッカースクール委員会／村田 一好 青少年開発委員会／高木 秀昭 オリンピック委員会／荒井 久也 まちづくり委員会／酒井 哲夫 ひとつくり委員会／倉谷 光一 広域ネットワーク委員会／羽生田忠良 オリンピック渉外委員会／田中 清一 広報委員会／月岡 哲 長期ビジョン委員会／陸 信義 明日の長野委員会／日南田哲三 無任所理事／夏目 潔  <特別委員会> 喪章特別委員会／竹沢 秀喜 長野市青連協特別委員会／徳刈 秀郎	総務委員会／黒崎 隆彦 財務担当理事／村井 秀行 渉外委員会／室賀 豊 長期計画委員会／中川 信幸 例会委員会／松崎 芳夫 内報委員会／渡辺 達也 対外交渉委員会／金澤久仁彦 会員開発委員会／宮本 正守 会員研修委員会／小川 一司 指導力開発委員会／関口 豊 びんずる委員会／青山 茂樹 チャッカースクール委員会／小林 武 青少年開発委員会／中島 克文 21まち委員会／大田 敬堂 21ネットワーク委員会／清水 光朗 21ひと委員会／西沢 清一 オリンピック推進委員会／加藤 吉郎 オリンピック渉外委員会／荒井 秀一 国外担当理事／塚田 芳樹 広報委員会／宮野尾 宏 明日の長野を考える委員会／新井 和弘 出向者委員会／塚田 裕一  <特別委員会> 喪章特別委員会／小林 淳生 まちづくりデザイン会議／加藤 吉郎 青年の船特別委員会／中川 弘	総務委員会／高野 雅史 財務担当理事／太田三喜男 出向者渉外委員会／斎藤 安彦 40周年準備委員会／宇都宮健雄 例会委員会／山口 健一 内報委員会／美谷島寿一 対外交渉委員会／若麻績信昭 会員開発委員会／赤池 健 会員研修委員会／黒木 亮谷 指導力開発委員会／小林 義明 びんずる委員会／宮澤 与一 チャッカースクール委員会／宮林 睦典 青少年開発委員会／加藤 文俊 まちづくり委員会／宮下 和彦 まちづくりネットワーク委員会／柳 泰博 オリンピックまち委員会／塚田 裕一 広報委員会／和田 安夫 全国大会広報渉外委員会／塚田 芳樹 全国大会企画推進委員会／土屋龍一郎 明日の長野を考える委員会／服部 敏夫 日本JC担当理事／吉田 幹雄 地区担当理事／田中 清一  <特別委員会> 喪章特別委員会／小林 淳生 まちづくりデザイン会議／加藤 吉郎 青年の船特別委員会／中川 弘

年	1993 (40代)	1994 (41代)	1995 (42代)	1996 (43代)	1997 (44代)
理事長	塚田 芳樹	宇都宮健雄	田中 精一	小笠原康博	小山 光作
副理事長 専務理事	総括副理事長／森山 茂樹 専務理事／高野 雅史 副理事長／斎藤 安彦 副理事長／篠原 邦雄 副理事長／室賀 豊 副理事長／塚田 裕一 副理事長／宮野尾 宏	総括副理事長／山本 敏夫 専務理事／和田 安夫 副理事長／羽田 和弘 副理事長／羽生田忠良 副理事長／中島 克文 副理事長／小山 光作 副理事長／高木 秀昭	総括副理事長／荒井 久也 専務理事／若麻績享則 副理事長／荒井 秀一 副理事長／酒井謙一郎 副理事長／堀江 三定 副理事長／土屋龍一郎 副理事長／武野 慶仁	総括副理事長／竹村 利器 専務理事／清水 利朗 副理事長／鷺澤 幸一 副理事長／高見澤秀茂 副理事長／渡辺 聖一 副理事長／竹内 隆文 副理事長／岩崎 佳人	総括副理事長／生澤 芳夫 専務理事／松橋 幹生 副理事長／飯島 泰臣 副理事長／狩野 土 副理事長／高橋 聖明 副理事長／宮林 睦典
監 事	監 事／中野 欣哉 監 事／宮澤 隆	監 事／篠原 邦雄 監 事／大日方俊彦	監 事／中島 克文 監 事／宮野尾 宏	監 事／酒井謙一郎 監 事／羽生田忠良	監 事／島田 和佳 監 事／堀江 三定
組 織 名 お よ び 役 職 者 名	40周年委員会／小川 一司 総務委員会／山本 敏夫 財務担当理事／難波 正治 出向者渉外委員会／田中 尚登 例会委員会／羽田 和弘 内報委員会／森山 久 対外交渉委員会／小山 光作 会員開発委員会／荒井 祐司 指導力開発委員会／塚田 篤雄 経営問題委員会／太田 正雄 びんずる委員会／竹鼻 隆幸 チャッカースクール委員会／藤沢 幸雄 青少年開発委員会／若麻績享則 まちづくり委員会／宮下 和彦 まちづくりネットワーク委員会／柳 泰博 オリンピック関係委員会／服部 俊直 広域ネットワーク委員会／高見澤秀茂 長期計画委員会／田中 精一 環境委員会／岡澤 元夫 広報委員会／小林 武 明日の長野委員会／宮島 章郎 喪賞委員会／北村 明彦 全国大会議政第一委員会／土屋龍一郎 全国大会議政第二委員会／市川 雅朗  <特別委員会> 青年の船特別委員会／宮澤 与一	総務委員会／池田 龍一 財務委員会／竹村 利器 出向者渉外委員会／小池 裕孝 例会委員会／清水 利朗 渉外委員会／武井 宏道 国際交流委員会／渡辺 聖一 会員拡充委員会／武野 慶仁 会員交流委員会／狩野 土 経営指導力委員会／玉井 友雄 びんずる委員会／五明 浩之 チャッカースクール委員会／中島 伸也 青少年開発委員会／渡邊 伸和 まちづくり委員会／酒井謙一郎 JCとオリンピック委員会／松本 清 広域ネットワーク委員会／堀江 三定 環境委員会／岡澤 元夫 長期計画委員会／中川 弘 広報委員会／和田 安夫 広報委員会／山田 雅之 喪賞委員会／北村 明彦 全国大会議政第一委員会／土屋龍一郎 地区担当理事／田中 清一  <特別委員会> 信州青年連協の発展委員会／山田 雅之 年誌編纂特別委員会／池田 龍一	総務室／室賀 豊 事業室／加藤 文俊 総務委員会／松橋 幹生 財務委員会／若林 健太 大会財務室／倉田 博光 大会広報室／生澤 芳夫 大会式典室／市川 雅朗 大会運輸室／小池 裕孝 大会宿泊室／塚田 裕一 大会交流室／土屋龍一郎 広域ネットワーク委員会／生澤 芳夫 オリンピック委員会／鷺澤 幸一 環境委員会／若麻績敬史 まちづくり委員会／永井 英一 大会企画委員会／中島 清光 大会宿泊運輸委員会／宮林 睦典 大会運営サービス委員会／深澤 資弘 大会事業委員会／岩崎 佳人 びんずる委員会／太田三喜男 チャッカースクール委員会／小玉 悦夫 理事／小笠原康博  <特別委員会> EMZんこうじ [JCフォーラム] 運営特別委員会／荒井 秀一 行政・トライネット部会／小林 尊 メディア・記録部会／中澤 和久 大会式典部会／深沢 資弘 宮棟・諸行事部会／若麻績享則 大会運輸部会／林 宏道 市内交通部会／武井 宏道 大会宿泊部会／島田 和佳 諸会議部会／橋本 互司 大懇親部会／宮林 睦典 ホスピタリティ部会／加藤 文俊 大会ナイト部会／鷹見 英征 エクスカッション部会／羽田 和弘 国際協力推進部会／森山 久 地球市民ジュニア育成部会／青木 幸彦 まちづくり推進部会／小池 一夫 オリンピック関係部会／宮沢 清治 渉外委員会(副委員長)／小原 英機 渉外委員会(副委員長)／増田久仁彦 渉外委員会(副委員長)／山口 健一 財務委員会(副委員長)／八田静二郎 総務委員会(副委員長)／井出 忠吉 総務委員会(副委員長)／岡 健一郎 総務委員会(副委員長)／小林 武 びんずる特別委員会／小林 義明 チャッカースクール特別委員会／沖島 哲也	全国大会実行委員長／荒井 久也 全国大会副実行委員長／小山 光作 大会総務室／松橋 幹生 大会管理室／室賀 豊 大会財務室／倉田 博光 大会広報室／生澤 芳夫 大会式典室／市川 雅朗 大会運輸室／小池 裕孝 大会宿泊室／塚田 裕一 大会交流室／土屋龍一郎 大会サービス室／服部 敏夫 地球市民事業室／渡邊 伸和 地域支援事業室／竹内 雅昭 地域応援室／加藤 文俊 総務委員会／神津 雄平 財務委員会／小川 直樹 渉外委員会／飯島 泰臣 全国大会地区調整会議／狩野 土 びんずる委員会／太田三喜男 全国大会B/C調整会議／武野 慶仁 大会総務部会／和田 安夫 大会記録部会／池田 清光 大会ネットワーク部会／荒井 秀一 大会財務部会／岡澤 吉修 P R 部 会／倉沢 慶一 行政・トライネット部会／小林 尊 メディア・記録部会／中澤 和久 大会式典部会／深沢 資弘 宮棟・諸行事部会／若麻績享則 大会運輸部会／林 宏道 市内交通部会／武井 宏道 大会宿泊部会／島田 和佳 諸会議部会／橋本 互司 大懇親部会／宮林 睦典 ホスピタリティ部会／加藤 文俊 大会ナイト部会／鷹見 英征 エクスカッション部会／羽田 和弘 国際協力推進部会／森山 久 地球市民ジュニア育成部会／青木 幸彦 まちづくり推進部会／小池 一夫 オリンピック関係部会／宮沢 清治 渉外委員会(副委員長)／小原 英機 渉外委員会(副委員長)／増田久仁彦 渉外委員会(副委員長)／山口 健一 財務委員会(副委員長)／八田静二郎 総務委員会(副委員長)／井出 忠吉 総務委員会(副委員長)／岡 健一郎 総務委員会(副委員長)／小林 武 びんずる特別委員会／小林 義明 チャッカースクール特別委員会／沖島 哲也	総務委員会／岡 健一郎 財務運営委員会／岡澤 吉修 メディアネットワーク委員会／宮澤 徹 コミュニケーション委員会／荒井 久也 出向者・渉外委員会／小玉 悦夫 国際交流委員会／増田久仁彦 会員開発委員会／岡本 直之 アカデミー研修委員会／赤塚 正明 経営開発プログラム／今井 剛 オリンピック企画委員会／神津 雄平 KICIO委員会／青木 幸彦 オリンピック環境委員会／林 宏道 まちづくり委員会／小池 一夫 福祉政策委員会／中島 吉隆 JCネットワーク委員会／中山 晴男 長期計画委員会／鷺澤 幸一 青少年と教育委員会／鷹見 英征 45周年準備委員会／武井 宏道  <特別委員会> びんずる特別委員会／高木 將晴 チャッカースクール特別委員会／小林 富雄 広域ネットワーク特別委員会／田中 精一 喪賞特別委員会／荒井 久也

年	1998 (45代)	1999 (46代)	2000 (47代)	2001 (48代)	2002 (49代)
理事長	土屋龍一郎	鷺澤 幸一	竹内 隆文	若麻績亨則	飯島 泰臣
副理事長 専務理事	総括副理事長／小池 裕孝 専務理事／小玉 悦夫 副理事長／高木 将晴 副理事長／武井 宏道 副理事長／竹内 雅昭 副理事長／田中 尚登 副理事長／中島 伸也	総括副理事長／岩崎 佳人 副理事長／松本 清 副理事長／増田久仁彦 副理事長／小池 一夫 専務理事／千野 貴文	総括副理事長／渡辺 聖一 副理事長／橋本 圭右 副理事長／宮澤 政徳 副理事長／渡邊 伸和 専務理事／宮本 和弥	総括副理事長／室賀 豊 副理事長／近山 俊也 副理事長／若林 健太 副理事長／倉石 和明 専務理事／宮澤 徹	総括副理事長／塩沢 均 副理事長／山本 修 副理事長／石田 治 副理事長／服部 俊直 副理事長／新井 昇 副理事長／三上 淳 専務理事／倉田 浩
監事 顧問	監事／武野 慶仁 監事／中川 弘 顧問／生澤 芳夫 顧問／小笠原康博	監事／荒井 秀一 監事／中島 伸也	監事／狩野 土 監事／小池 裕孝 顧問／土屋龍一郎	監事／松本 清 監事／渡邊 伸和 顧問／土屋龍一郎 顧問／鷺澤 幸一	監事／増田久仁彦 監事／渡辺 聖一 顧問／鷺澤 幸一
組織名 および 役職者名	総務室／小林 武 運営室／羽田 和弘 ひと応援室／片桐 基博 21世紀まちづくり室／小池 一夫 地域事業推進室／永井 英一 夢創造室／渡邊 伸和 総務委員会／塩沢 均 渉外委員会／北澤雄一郎 メディアネットワーク委員会／千野 貴文 国際コミュニケーション委員会／小池 正明 アジア交流委員会／小山 和弘 会員開発委員会／小菅 孝泰 ビジネス問題委員会／沖島 哲也 まちネット委員会／木賀田俊彦 まちづくり委員会／小林 一郎 オリンピックとまち委員会／塚田 裕一 福祉ボランティア委員会／青木 宏 青少年委員会／北村 秀雄 サッカースクール委員会／深澤 資弘 45周年委員会／野本 大介 びんずる委員会／塚田まゆり  〈特別委員会〉 出向者特別委員会／鷺澤 幸一	国際交流室／橋本 圭右 ひと交流室／塚田まゆり Jaycee開発室／青木 幸彦 ニューリーダー開発室／林 宏道 地域政策室／宮澤 政徳 21世紀政策室／鷹見 英征 総務財務委員会／松澤 憲一 渉外委員会／宮本 和弥 メディアコミュニケーション委員会／藤澤 英司 国際化推進委員会／大城 日昇 アジア交流委員会／星野 善彦 「心の資産」推進委員会／竹内 隆文 例会コミュニケーション委員会／新井 昇 リーダーシップアカデミー委員会／若麻績亨則 ビジネスアカデミー委員会／若林 健太 青少年開発委員会／滝沢 家城 会員開発委員会／石田 治 コミュニティ推進委員会／小林 尊 ネットワーク推進委員会／松田 淳 環境政策委員会／宮坂 弘 福祉政策委員会／倉石 和明 市民祭支援委員会／塩沢 均 日本JC関係特別委員会／倉沢 慶一 年誌編集特別委員会／千野 貴文	会員創造室／小玉 悦夫 会員研修室／中澤 和久 JCネットワーク室／永井 英一 地域政策室／若林 健太 地球市民開発室／倉石 和明 21世紀政策室／塩沢 均 総務・財務委員会／田子 将一 出向者・渉外委員会／中島 敏行 メディアコミュニケーション委員会／宮崎 秀夫 会員開発委員会／高木 将晴 会員交流委員会／鍋本 俊樹 ビジネス研修委員会／山上 泰司 リーダーシップ研修委員会／飯島 康明 国際交流委員会／鎌倉 良取 広域ネットワーク委員会／近山 俊也 コミュニティ推進委員会／岩下 和宏 パートナーシップまちづくり委員会／羽田 和弘 青少年開発委員会／朝場祐一郎 生きがい創造社会推進委員会／竜野 泰一 JC未来ビジョン委員会／若麻績亨則 市民祭支援委員会／新井 昇 年誌編集特別委員会／田子 将一	運営室／石田 治 Jaycee創起室／岩下 和宏 Jaycee開発室／沖島 哲也 地域政策推進室／朝場祐一郎 JCプロジェクト室／松澤 憲一 新世紀創造室／青木 宏 市民共働室／宮坂 弘 総務委員会／倉田 浩 情報サービス委員会／池田 竜夫 出向者・渉外委員会／山崎雷太郎 国際交流委員会／山本 修 会員交流委員会／竹内 秀一 会員創起委員会／水島 康明 Jaycee開発プログラム委員会／涌井 和也 豊かな地域経済創造委員会／米山 慎二 広域連携推進委員会／渡邊 茂昭 長野のかたち創造委員会／小山田雄治 LOMプロジェクト委員会／飯島 泰臣 グローバルプロジェクト委員会／中嶋 秀磨 共創社会推進委員会／竹本 浩 地域共有推進委員会／五明 久昇 コミュニティ共創委員会／服部 俊直 コミュニティ共創委員会／小林 哲雄 日本JC交流委員会／小池 正明	新たなあたりまえ推進室／倉田 浩 愛しき推進室／山本 修 次世代開拓室／石田 治 長野のかたち開発室／服部 俊直 長野のかたち推進室／新井 昇 長野のかたち創造室／三上 淳 総務委員会／小山浩太郎 情報ネットワーク／徳嵩 大 情報サービス委員会／池田 竜夫 出向者・渉外委員会／長田 滋人 例会コミュニケーション委員会／高澤 曜宏 国際交流委員会／左右田 光 Jaycee開拓委員会／水野 雅義 地域開拓委員会／中村 智 起業家マインド推進委員会／倉石 和明 賑わいサポート開発委員会／松橋 達也 タカノマジノミッド企画委員会／松本 徹也 タカノマジノミッド渉外委員会／青木 幸彦 長野のかたち創造委員会／小山田雄治 びんずる委員会／宮澤 政徳 長期ビジョン委員会／橋本 圭右 理事 事／内山 幸宏 理事 事／小池 正明 理事 事／小林 宗義 理事 事／轟 道弘 理事 事／三戸部善一 理事 事／宮内 隆太 理事 事／宮崎 秀夫 理事 事／宮本 和弥 理事 事／若林 健太

年	2003 (50代)	2004 (51代)	2005 (52代)	2006 (53代)	2007 (54代)
理事長	若林 健太	倉石 和明	千野 貴文	倉田 浩	鈴木 隆治
副理事長 専務理事	総括副理事長／小池 正明 専務理事／竜野 泰一 副理事長／竹本 浩 副理事長／岩下 和宏 副理事長／水野 雅義 副理事長／小山田雄治 副理事長／松橋 達生	総括副理事長／朝場祐一郎 副理事長／池田 竜夫 副理事長／宮内 隆太 副理事長／高澤 曜宏 専務理事／五明 久昇	総括副理事長／宮崎 秀夫 副理事長／松本 徹也 副理事長／鈴木 隆治 副理事長／山ノ井大樹 副理事長／徳嵩 大 専務理事／盛田 勝幸	総括副理事長／林 宏道 副理事長／本道 正長 副理事長／鹿熊 聡 副理事長／山崎雷太郎 副理事長／小林 八郎 副理事長／水島 康明 専務理事／土屋 陽平	総括副理事長／霜田 清 副理事長／左右田 光 副理事長／倉島 正光 副理事長／植木 宏一 専務理事／増田裕一郎
監事 顧問	監事／近山 俊也 監事／服部 俊直 顧問／鷺澤 幸一	監事／新井 昇 監事／岩下 和宏 顧問／飯島 泰臣 顧問／水野 雅義 顧問／鷺澤 幸一	監事／池田 竜夫 監事／水野 雅義 顧問／飯島 泰臣 顧問／鷺澤 幸一	監事／宮内 隆太 監事／松本 徹也 顧問／倉石 和明	監事／朝場祐一郎 監事／宮崎 秀夫 顧問／千野 貴文
組織名 および 役職者名	50周年運営室／宮崎 秀夫 国際アカデミーサポート室／米山 慎二 総務委員会／盛田 勝幸 広報委員会／本道 正長 渉外委員会／高木 真 広域交流委員会／植木 宏一 国際交流委員会／宮野 悟 会員開発委員会／宮内 隆太 例会委員会／中村 正人 青少年開発委員会／小林 淳 ビジネス委員会／武田 桂征 長野の夢創造委員会／倉田 和明 長野のかたち創造委員会／水島 康明 50周年企画委員会／宮本 和弥 50周年記念誌委員会／千野 貴文 アカデミーホームステイ委員会／志川 孝之 アカデミー地域プログラム委員会／中嶋 秀磨 びんずる委員会／沖島 哲也 理事 事／野澤 敏 理事 事／深澤 資弘 理事 事／大越 真人 理事 事／山本 修	LOMサポート室／三戸部善一 Jaycee交流室／宮野 悟 未来開発室／宮坂 弘 Jaycee活力室／高木 真 教育力開発室／山上 泰司 松代コラボレート室／松本 徹也 地域共働室／高澤 曜宏 総務委員会／宮坂 和彦 広報委員会／西沢 正隆 出向者・渉外委員会／吉田 のあ 例会コミュニケーション委員会／小林 真矢 広域連携委員会／宮澤 幸彦 国際交流委員会／福澤 吉晃 会員開発委員会／高木 俊行 未来ビジョン実践委員会／千野 貴文 リーダーシップ委員会／霜田 清 ビジネス委員会／野路 美徳 地域共有推進委員会／清水 明 個性溢れる学びづくり委員会／倉田 浩 城下町魅力創造委員会／柄澤 壮重 城下町魅力推進委員会／窪田 国典 長野の夢創造委員会／鈴木 隆治 長野のかたち創造委員会／小山浩太郎 理事 事／中嶋 知文	総務広報室／志川 孝之 情報管理室／宮下 秀己 総務財務委員会／小林 八郎 広報渉外委員会／加藤 義広 内報記録委員会／山崎 千弘 日本JC関係委員会／松澤 吉剛 例会運営委員会／宮澤 貴光 人間力開発委員会／小泉 利広 共有実践委員会／鹿熊 聡 国際化推進委員会／土屋 陽平 地域「調和」委員会／小林 一雄 政治経済研究委員会／小出 浩幸 長期ビジョン委員会／鈴木 隆治 新長野構築委員会／寺島 広之 広域ネットワーク委員会／西野 一英 門前まち探求委員会／松本 桂 びんずる探求委員会／福澤 謙一 理事 事／中嶋 秀磨 理事 事／林 宏道 理事 事／霜田 清 理事 事／宮野 悟 理事 事／松橋 達生 理事 事／西沢 正隆 理事 事／山上 泰司 理事 事／高澤 曜宏	総務委員会／坂本 千尋 財務管理委員会／中野 雅章 出向者支援委員会／木戸 智幸 広報委員会／轟 健一 内報記録委員会／前川 仁史 例会交流委員会／植木 宏一 共有交流委員会／岡宮 秀治 国際交流委員会／増田裕一郎 会員開拓委員会／堀内 英二 経営品質向上委員会／宮下 正幸 人間力開発委員会／牛山 博史 長期ビジョン委員会／鈴木 隆治 新長野構築委員会／寺島 広之 広域ネットワーク委員会／西野 一英 門前まち探求委員会／松本 桂 びんずる探求委員会／福澤 謙一 理事 事／掛川 明彦 理事 事／五明 久昇 理事 事／高澤 曜宏 理事 事／竹本 浩 理事 事／樋口 敦子	運営室／柄澤 壮重 Jayceeサポート室／清水 明 <sup>(注)</sup> Jaycee開発室／山崎 千弘 市民共働室／中村 智 地域啓発室／伊藤 永嗣 Jaycee交流室／笠松 弘幸 ASPAC企画戦略室／松澤 吉剛 総務財務委員会／丸山 和俊 国際交流委員会／増田裕一郎 例会委員会／木賣 慈教 出向者渉外委員会／今村 光 会員開発委員会／大矢 洋丈 リーダーシップ委員会／長原 真一 コミュニティ活動推進委員会／小池 修弘 コミュニティ活動推進委員会／山本 博一 共有推進委員会／加藤 恵美子 ビジネスネットワーク委員会／小林 正直 国際交流委員会／鈴木 康照 広域交流委員会／徳武 信行 長野らしき探求委員会／高澤 曜宏 ASPAC事業企画委員会／小山田雄治 ASPAC渉外委員会／山本 修 褒賞特別委員会／霜田 清 理事 事／五明 久昇 理事 事／土屋 陽平

年	2008 (55代)	2009 (56代)	2010 (57代)	2011 (58代)	2012 (59代)
理事長	高澤 曜宏	五明 久昇	山本 修	加藤 恵美子	植木 宏一
副理事長 専務理事	総括副理事長／竹本 浩 副理事長／中村 智 副理事長／大矢 洋丈 副理事長／高木 真 副理事長／宮下 秀己 副理事長／志川 孝之 専務理事／松澤 吉剛	総括副理事長／村山 幸造 副理事長／加藤恵美子 副理事長／宮澤 貴光 副理事長／清水 明 専務理事／大日方哲也	総括副理事長／塚原 久幸 副理事長／小坂 禎二 副理事長／中野 雅章 副理事長／木戸 智幸 副理事長／長原 真一 副理事長／宮下 健吾 専務理事／長田 滋人	総括副理事長／宮澤 貴光 副理事長／山田 啓文 副理事長／宮岡 謙介 副理事長／山崎 千弘 副理事長／内山 剛 副理事長／渡辺 圭 専務理事／小林 正和	総括副理事長／倉島 正光 副理事長／武井 秀樹 副理事長／福澤 吉晃 副理事長／和田 貴幸 副理事長／塩沢 豪 副理事長／中島 政宏 専務理事／若麻績秋嘉
監事 顧問	監事／小山田雄治 監事／山崎雷太郎	監事／左右田 光 監事／宮下 秀己	監事／増田裕一郎 監事／宮澤 貴光	監事／小坂 禎二 監事／中村 智	監事／大日方哲也 監事／小林 八郎
組織名 および 役職者名	総務財務委員会／宮岡 謙介 広報委員会／松橋 慎也 出向者渉外委員会／原田 達矢 例会交流委員会／村山 幸造 記念誌・賞状委員会／西澤 基喜 会員開発委員会／小山 正晃 人間力開発委員会／宮下 健吾 地域共育委員会／北澤 竜二 国際交流委員会／木村 恒丸 地域共働委員会／渡辺 圭 市民共働委員会／保科 正徳 利他の心推進委員会／塚原 久幸 理事／植木 宏一 理事／柄澤 壮重 理事／五明 久昇 理事／左右田 光 理事／土屋 陽平 理事／前川 仁史 理事／増田裕一郎 理事／松浦 哲也 理事／山ノ井大樹 理事／山本 修	総務財務委員会／小林 正和 財務担当理事／若麻績秋嘉 広報・記録委員会／塩入 正充 会員サポート室／宮下 健吾 出向者渉外委員会／中村 基 例会交流委員会／安田 英哲 Jaycee開発室／武田 桂征 リーダーシップ開発委員会／太田 耕一 ビジネス開発委員会／小林 美紀 JCネットワーク室／山ノ井大樹 広域連携委員会／増田裕一郎 国際交流委員会／和田 貴幸 地域共育推進委員会／佐藤 明宏 協働事業推進委員会／小古井昭人 OMOYARI実践室／小山田雄治 環境事業推進委員会／小坂 禎二 国際協力推進委員会／土屋 陽平 市民共働室／中野 雅章 長野の魅力創造委員会／矢部 弘司 長野の活力創造委員会／宮崎 秀夫 未来創造室／長原 真一 会員開発委員会／平林 雄作 長期ビジョン委員会／山本 修	総務財務委員会／飯田 憲司 広報・記録委員会／大池 健 出向者渉外委員会／石田 彰男 例会交流委員会／小池 修弘 国際交流委員会／徳武 好春 広域交流委員会／鈴木 高幸 共育交流委員会／中島 政宏 未来ビジョン委員会／加藤恵美子 会員開発委員会／内山 剛 長野ブランドづくり委員会／塩沢 豪 長野の愛創委員会／山田 啓文 長野の夢創委員会／大日方哲也 長野の愛創委員会／山田 啓文 敬愛実践委員会／植木 宏一 理事／青木 寛文 理事／小田切康典 理事／金井 正樹 理事／神林 宏明 理事／清水 一臣 理事／左右田 光 理事／土屋 陽平 理事／中島 文晴	LOMのちから説明室／小林 八郎 総務財務委員会／神林 宏明 法人制度対策委員会／高波雄一郎 広報記録委員会／田中 慎也 出向者渉外委員会／中島 丈晴 例会運営委員会／武井 秀樹 未来ビジョン委員会／大矢 洋丈 ビジネス委員会／一由 貴行 恵愛実践委員会／宮本 光 会員開発委員会／清水 一臣 共育交流委員会／杉村 智代 国際交流委員会／宮坂 昇道 広域交流委員会／勝山 剛頼 地域環境推進委員会／高木亜矢子 地域力開発委員会／町田 竜彦 灯明まつり委員会／江遠 昌弘 長野びんずる委員会／市岡 秀教 まちづくり推進委員会／重倉 広典 理事／植木 宏一 理事／大日方哲也 理事／土屋 陽平	LOMの魂サポーター室／小池 修弘 総務財務委員会／野村 和正 広報記録委員会／赤地 正行 例会委員会／山口 博規 渉外委員会／藤沢 仁 未来ビジョン委員会／土屋 陽平 青少年育成委員会／新野 健 会員開発委員会／宮坂 雅樹 国際交流委員会／倉 大輝 広域交流委員会／ 市民連携委員会／伊藤 安芸 地域連携委員会／渡辺 康博 灯明委員会／丸山 宏城 びんずる委員会／小田切康典 理事／河合 達志 理事／木戸 智幸 理事／小山 正晃 理事／清水 明 理事／中野 雅章 理事／西澤 基善 理事／松澤 吉剛 理事／宮岡 謙介

年	2013 (60代)	2014 (61代)	2015 (62代)	2016 (63代)	2017 (64代)
理事長	土屋 陽平	宮岡 謙介	和田 貴幸	中島 政宏	野村 和正
副理事長 専務理事	総括副理事長／清水 明 副理事長／町田 竜彦 副理事長／野村 和正 副理事長／新野 健 副理事長／丸山 宏城 副理事長／北澤 竜二 専務理事／渡辺 康博	総括副理事長／松澤 吉剛 副理事長／倉 大輝 副理事長／宮崎 大吾 副理事長／宇賀田伸彦 副理事長／熊木 克明 副理事長／高澤 和幹 専務理事／小山 正晃	総括副理事長／倉 大輝 副理事長／佐藤 弘和 副理事長／中沢 匠 副理事長／竹内 克斗 副理事長／中島 丈晴 副理事長／小笠原一範 専務理事／小林 宣範	総括副理事長／竹内 克斗 副理事長／加藤 大介 副理事長／竹内 健二 副理事長／松橋 和之 副理事長／百瀬 衛 副理事長／小田切康典 専務理事／	総括副理事長／宮崎 大吾 副理事長／安田 英俊 副理事長／赤地 正行 副理事長／春日 均哉 副理事長／畑山 昇 副理事長／小林 賢行 専務理事／松澤 充朗
監事 顧問	監事／大日方哲也 監事／小林 八郎 監事／武井 秀樹 監事／松澤 吉剛	監事／福澤 吉晃 監事／渡辺 康博 顧問／植木 宏一	監事／柄澤 壮重 監事／福澤 吉晃 監事／新野 健 監事／中野 雅章	監事／柄澤 壮重 監事／新野 健 監事／熊木 克明 監事／倉 大輝	監事／柄澤 壮重 監事／熊木 克明 監事／竹内 克斗 顧問／和田 貴幸
組織名 および 役職者名	LOMのちからサポーター室／松橋 慎也 総務財務委員会／佐藤 弘和 広報委員会／中沢 匠 出向者渉外委員会／高澤 和幹 会員開発委員会／熊木 克明 例会委員会／中澤 富晃 地域交流委員会／宮崎 大吾 国際交流委員会／菅沼 郁男 市民連携委員会／宇賀田伸彦 青少年育成委員会／伊藤 有希 灯明まつり委員会／上市 真輔 60周年「伝承」委員会／宮岡 謙介 無任所理事／一由 貴行 無任所理事／井上 博登 無任所理事／黒田まき絵 無任所理事／中島 政宏 無任所理事／福澤 吉晃 無任所理事／和田 貴幸	源流室／西澤 基善 総務財務委員会／佐々木 浩 広報委員会／松橋 和之 例会委員会／広瀬加菜子 出向者渉外委員会／小笠原一範 長期ビジョン委員会／竹内 克斗 地域の活力創造委員会／龍野 伸樹 青少年育成委員会／鎌田 拓平 会員開発委員会／野村 和正 広域交流委員会／長峯 光子 郷土愛醸成委員会／加藤 大介 連携のちから伝承委員会／平林 雄作 国際交流委員会／春日 均哉 LOMの力結集委員会／市川 善隆 長野灯明委員会／畑山 昇 長野びんずる委員会／武井 秀樹 無任所理事／井上 博登 無任所理事／北村 博樹 無任所理事／小林 大 無任所理事／中島 政宏 無任所理事／若麻績秋嘉 無任所理事／和田 貴幸	想集室／一由 貴行 総務財務委員会／大前 辰憲 例会委員会／高田 弥佳 広報渉外委員会／堀内 博 会員拡大委員会／熊原 真二 エポック推進委員会／松山 直弘 新連携確立委員会／芳川 真一 地域力育成委員会／百瀬 衛 国際交流委員会／竹内 健二 JCブランド向上委員会／中島 政宏 JAYCEE結集委員会／出口 太一 夢祭伝承委員会／若麻績秋嘉 夢総和楽委員会／金箱 学 無任所理事／荒川 亘 無任所理事／宇賀田伸彦 無任所理事／熊木 克明 無任所理事／小林 大 無任所理事／小山 正晃 無任所理事／徳永 大悟 無任所理事／中森 宣明 無任所理事／野村 和正 無任所理事／増田 秀之	確かな輝きサポーター室／早川 芳弘 総務財務委員会／安田 英俊 広報委員会／篠田 光宏 例会委員会／増子 健司 会員拡大委員会／小林 賢行 渉外支援委員会／伊藤 拓宗 アカデミー委員会／小林 宣範 広域連携委員会／増田 秀之 国際交流委員会／松本 夏樹 地域の希望育成委員会／松澤 充朗 地域の魅力創生委員会／高波 浩之 長野灯明委員会／寺澤 大亮 長野びんずる委員会／塚田 研悟 無任所理事／一由 貴行 無任所理事／影嶋 広志 無任所理事／佐藤 弘和 無任所理事／田中 慎也 無任所理事／手塚 剛司 無任所理事／中島 丈晴 無任所理事／野村 和正 無任所理事／宮崎 大吾 無任所理事／吉澤 弘晴	光明室／森山アリエル 総務財務委員会／樋川 和広 広報記録委員会／武内 浩太 出向者支援委員会／伊藤 新祐 例会委員会／島田 貴規 会員開発委員会／山崎 年起 市民共働委員会／吉原進太郎 未来創造委員会／中島 丈晴 広域連携委員会／鶴田 真央 国際交流委員会／関 康児 経済研究委員会／北村 博樹 共育推進委員会／萩原 茂樹 魅力確立委員会／早川 芳弘 情熱共感委員会／田中 慎也 長野魂伝承委員会／倉 大輝 無任所理事／伊藤 拓宗 無任所理事／小田切康典 無任所理事／加藤 大介 無任所理事／鎌田 拓平 無任所理事／塚田 高大 無任所理事／ 無任所理事／松本 夏樹

年	2018 (65代)	2019 (66代)	2020 (67代)	2021 (68代)	2022 (69代)
理事長	中沢 匠	—	伊藤 拓宗	百瀬 衛	中川 大三
副理事長 専務理事	総括副理事長／安田 英俊 副理事長／関 康児 副理事長／樋川 和広 副理事長／山崎 年起 副理事長／北村 博樹 副理事長／— 専務理事／伊藤 拓宗	総括副理事長／山崎 年起 副理事長／磯 宏典 副理事長／加藤 昇平 副理事長／吉田 茂巧 副理事長／有吉 隆 副理事長／小林 大輔 専務理事／早川 芳弘	総括副理事長／松橋 和之 副理事長／寺澤 大亮 副理事長／中川 大三 副理事長／伊藤 新祐 専務理事／鶴田 真央	総括副理事長／樋川 和広 副理事長／市川 太 副理事長／池田 和樹 副理事長／長坂 洋平 副理事長／田中隆太郎 専務理事／福島 勇太	総括副理事長／鶴田 真央 副理事長／日下部好治 副理事長／宮澤 拓也 副理事長／小林 優輔 副理事長／市川 亮 専務理事／山内 孝次
監事 顧問	監事／柄澤 壮重 監事／佐藤 弘和 監事／小田切康典 監事／宮崎 大吾	監事／杉村 智代 監事／小田切康典 監事／畑山 昇 監事／丸山 宏城 顧問／野村 和正	監事／杉村 智代 監事／丸山 宏城 監事／早川 芳弘 監事／吉田 茂巧	監事／宇賀田伸彦 監事／早川 芳弘 監事／赤地 正行 監事／松橋 和之 顧問／—	監事／宇賀田伸彦 監事／赤地 正行 監事／小林 大輔 監事／寺澤 大亮 顧問／伊藤 拓宗
組織名および役職者名	協 翼 室／夏目慶太郎 総務財務委員会／小林 大輔 広報委員会／磯 宏典 例会委員会／山口 一生 出向者支援委員会／森山 翔 会員開発委員会／金澤 俊 希望育成委員会／小林 純 地域連携委員会／吉田 茂巧 国際交流委員会／市川 太 灯明委員会／石井 大輔 びんずる委員会／小林 真 65周年創力委員会／有吉 隆 65周年創伝委員会／加藤 昇平 無任所理事／池田 和樹 無任所理事／伊藤 新祐 無任所理事／小林 大登 無任所理事／鶴田 真央 無任所理事／中澤 富児 無任所理事／中島 丈晴 無任所理事／畑山 昇 無任所理事／百瀬 衛	敬 心 室／塚田 高大 総務財務委員会／田上 直寿 広報委員会／村石 雅之 例会委員会／池田 和樹 出向者支援委員会／堤 健 至 会員開発委員会／丸山 敦史 未来ビジョン委員会／中川 大三 広域連働委員会／北原 優介 国際交流委員会／小林 優輔 青少年共創委員会／田中隆太郎 スポーツのちから推進委員会／日下部好治 まつりのこころ共鳴委員会／藤沢 岳 まつりのこころ継承委員会／加藤久美子 無任所理事／赤羽 悠一 無任所理事／石井 大輔 無任所理事／市川 太 無任所理事／窪 智敬 無任所理事／関 恒外 無任所理事／増子 健司 無任所理事／松橋 和之 無任所理事／百瀬 衛 無任所理事／山口 一生	昂 然 室／鶴野 裕基 総務広報委員会／長坂 洋平 例会委員会／笠井 智 出向者支援委員会／福島 勇太 全国大会招致委員会／久保田一臣 会員開発委員会／富沢 大樹 未来育成委員会／宮澤 拓也 地域ビジョン委員会／今井 昌実 国際交流委員会／宮尾 龍介 灯明委員会／千葉 一平 びんずる委員会／中森 孝 無任所理事／有吉 隆 無任所理事／池田 和樹 無任所理事／磯 宏典 無任所理事／加藤 昇平 無任所理事／加藤 昇平 無任所理事／小林 優輔 無任所理事／島田 貴規 無任所理事／田中 裕樹 無任所理事／田中隆太郎 無任所理事／田上 直寿 無任所理事／樋川 和広 無任所理事／百瀬 衛 無任所理事／山口 一生	思いやりの心協働室／増子 桂介 総務財務委員会／村田 雄介 広報渉外委員会／山内 孝次 例会委員会／宮崎 伸孝 未来ビジョン委員会／窪 智敬 会員拡大委員会／小井土 祥 青少年育成委員会／塚田 翠 国際交流委員会／若麻績憲義 地域経済委員会／増田 年晴 灯明委員会／市川 亮 びんずる委員会／西澤 圭一 無任所理事／有吉 隆 無任所理事／磯 宏典 無任所理事／加藤 昇平 無任所理事／佐藤 廉 無任所理事／清水 努 無任所理事／白土巴瑞香 無任所理事／鶴田 真央 無任所理事／中川 大三	根 幹 立 志 室／松本 拓城 拡大戦略特別委員会／田中 裕樹 総務財務委員会／佐藤 廉 ブランディング委員会／白土巴瑞香 未来資本創造委員会／清水 努 環境ビジネス委員会／岡本 洋平 国際交流委員会／石井 隆幸 びんずる委員会／中森 孝 まち創生委員会／唐木沢正晃 無任所理事／磯 宏典 無任所理事／加藤 昇平 無任所理事／金丸 望美 無任所理事／窪 智敬 無任所理事／久保田一臣 無任所理事／田上 直寿 無任所理事／塚田 翠 無任所理事／中村 律王 無任所理事／福島 勇太 無任所理事／増子 桂介 無任所理事／若麻績憲義

年	2023 (70代)
理事長	加藤 昇平
副理事長 専務理事	総括副理事長／市川 亮 副理事長／唐木沢正晃 副理事長／田上 直寿 副理事長／村田 雄介 副理事長／福島 勇太 副理事長／若麻績憲義 専務理事／増子 桂介
監事 顧問	監事／宇賀田伸彦 監事／小林 大輔 監事／鶴田 真央 監事／山内 孝次 顧問／伊藤 拓宗
組織名および役職者名	根 幹 室／橋本 大介 総務財務委員会／長田 雄介 広報渉外委員会／横川 歩 例会委員会／中村 律王 地域創生委員会／宮尾 龍介 灯明委員会／町田 孝幸 希望育成委員会／宮澤 遥 国際交流委員会／倉島 盛朗 会員拡大委員会／小林 徹哉 びんずる委員会／竹内 友哉 70周年レガシー委員会／有吉 隆 70周年ビジョン委員会／磯 宏典 無任所理事／勝野 照章 無任所理事／日下部好治 無任所理事／窪 智敬 無任所理事／宮澤 拓也 無任所理事／若林 裕士

皆様のお力添えを頂戴し、2023年度の「事業報告書・年誌」が無事完成いたしました。

広報渉外委員会では、毎月の例会や本年度実施されたすべての事業に写真を撮りに行き、長野青年会議所の一年間の運動を非常に近い位置から拝見させていただきました。まさか、私が広報系の委員長職をお預かりするとは思いませんでしたので、大変貴重な経験をさせていただきました。

このような機会を提供してくださった加藤理事長、本当にありがとうございました。

また、一年間、広報活動にご協力いただきましたすべての皆様へ、この場をお借りし御礼申し上げます。本誌が対外の皆様にとっては当会議所の運動や様子を知っていただく契機となり、また会員の皆様にとっては長きに亘る長野青年会議所の歴史の新たな1ページとして今後の青年会議所運動に役立てていただくと同時に思い出の扉となり、末永く心に刻まれていくことをご祈念申し上げ、編集後記の結びとさせていただきます。

2023年度事業報告書・年誌編集長  
2023年度 広報渉外委員会  
委員長 横川 歩

## ANNUAL REPORT/REVIEW 2023

発行日 2024年2月3日

発行 公益社団法人長野青年会議所  
長野市大字鶴賀七瀬中町276番地  
長野商工会議所3階

発行人 加藤 昇平

監修 増子 桂介  
唐木沢正晃

編集 広報渉外委員会

編集長・  
委員長 横川 歩

副委員長 中野 大輔  
西川 豪

山崎 義明

委員 落合 拓

勝野 照章

佐藤 廉

永戸 貴大

山田 洋輔

準会員 竹内 進

宮澤 卓也

デザイン・印刷/株式会社 杏花印刷